

第3章 子ども票の調査結果

1. 子どもの生活状況

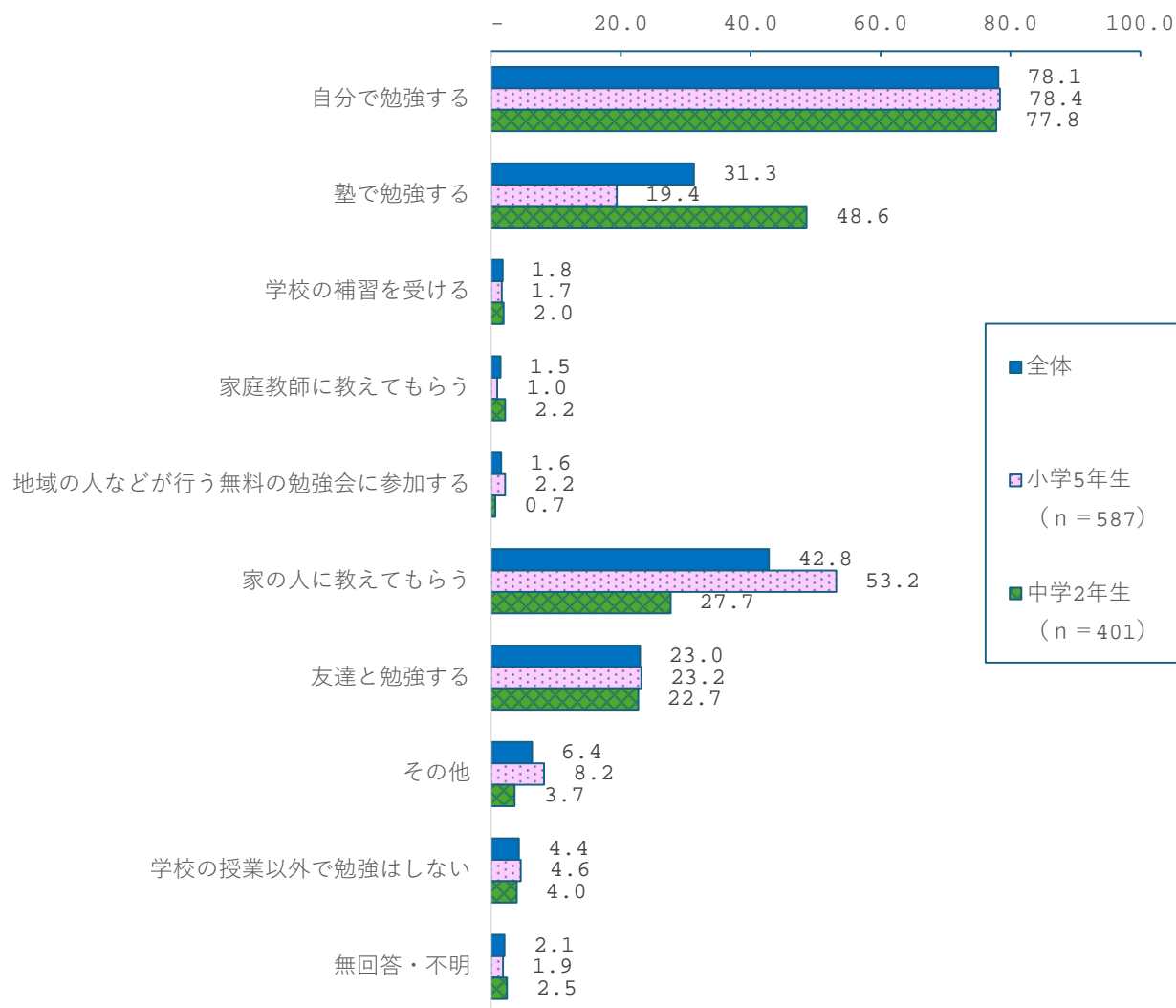
（1）ふだんの勉強の仕方

問 1 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。（1～8については、あてはまるものすべてに○）

- ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしているかについて、全体では、「自分で勉強する」が78.1%で最も多く、「家の人に教えてもらう」(42.8%)、「塾で勉強する」(31.3%)となった。小学5年生は「家の人に教えてもらう」(53.2%)、「塾で勉強する」(19.4%)であるが、中学2年生では「家の人に教えてもらう」(27.7%)、「塾で勉強する」(48.6%)となっており、小学生から中学生に成長するに当たり、勉強の場が家から塾へ変化している事が予想される。等価世帯収入別の「中央値の1/2未満」では、「塾で勉強する」、「家の人に教えてもらう」、「友達と勉強する」が「中央値の1/2以上」に比べ割合が少ないのに対して、「学校の補習を受ける」(6.5%)、「家庭教師に教えてもらう」(2.2%)、「学校の授業以外で勉強しない」(10.9%)は割合が多い結果となった。世帯の状況別では、「ひとり親世帯」において、「学校の授業以外では勉強しない」(10.5%)の割合が「ふたり親世帯」に比べ多くなっている。

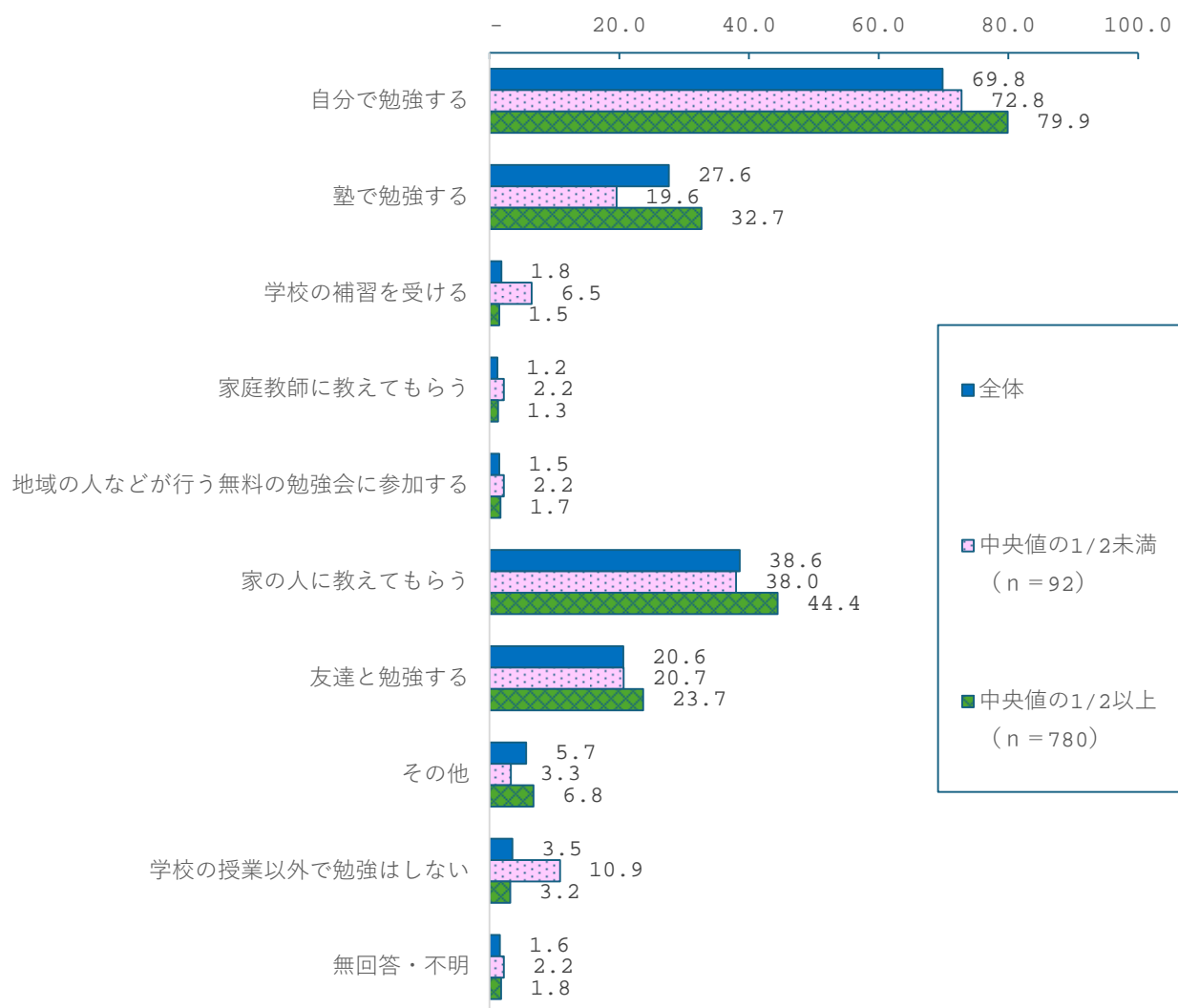
【全体（学年別）】

授業以外の勉強（n = 988）



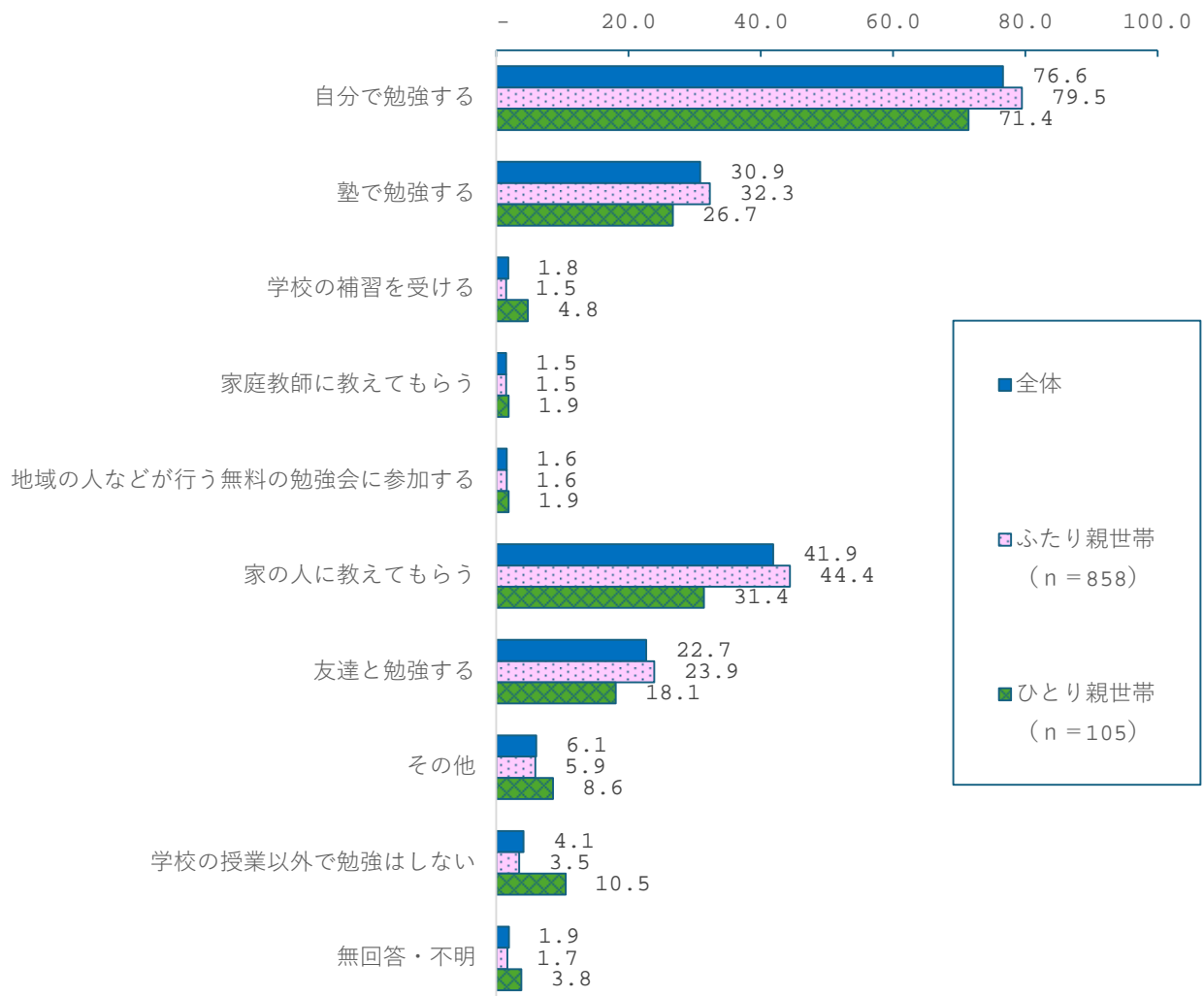
【等価世帯収入別】

授業以外の勉強（n = 872）



【世帯の状況別】

授業以外の勉強 (n = 963)



（２）１日あたりの勉強時間

問 2 あなたは、ふだん学校の授業以外に、１日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a,b それぞれについて、あてはまるもの１つに○)

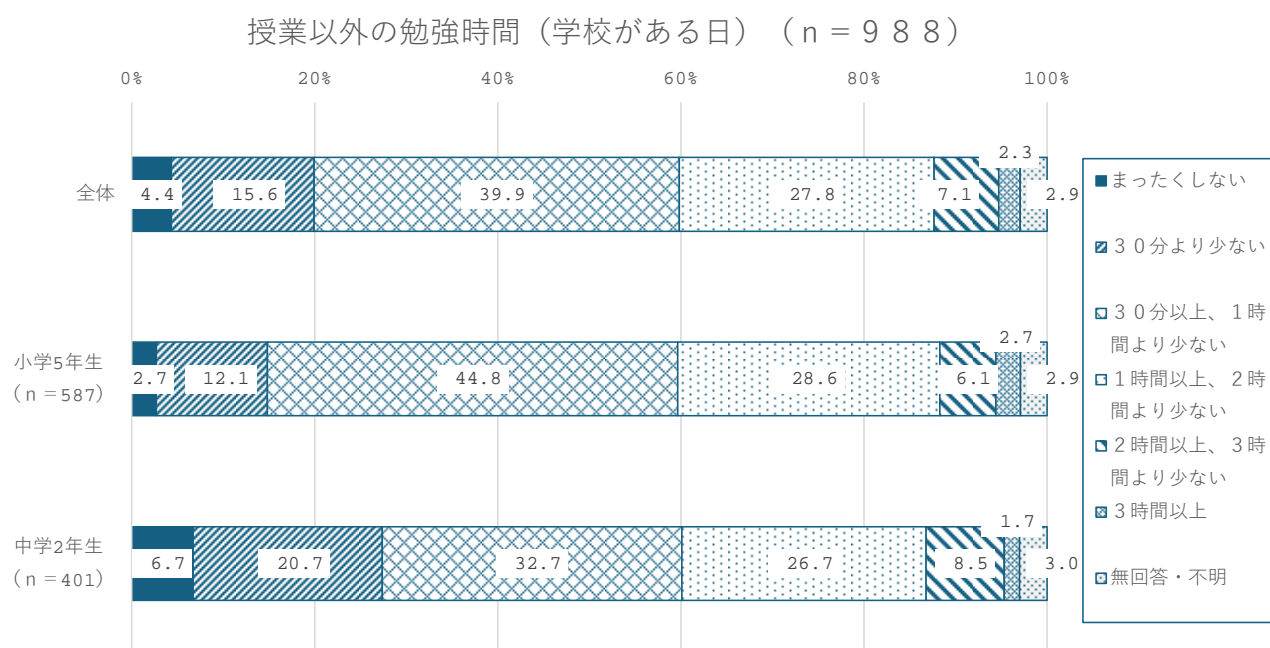
a) 学校がある日（月～金曜日）

- ふだん学校の授業以外の１日あたりの勉強時間について、全体では「まったくしない」が4.4%、「30分より少ない」が15.6%、「30分～1時間」が39.9%、「1時間～2時間未満」が27.8%、「2時間以上」は9.4%だった。

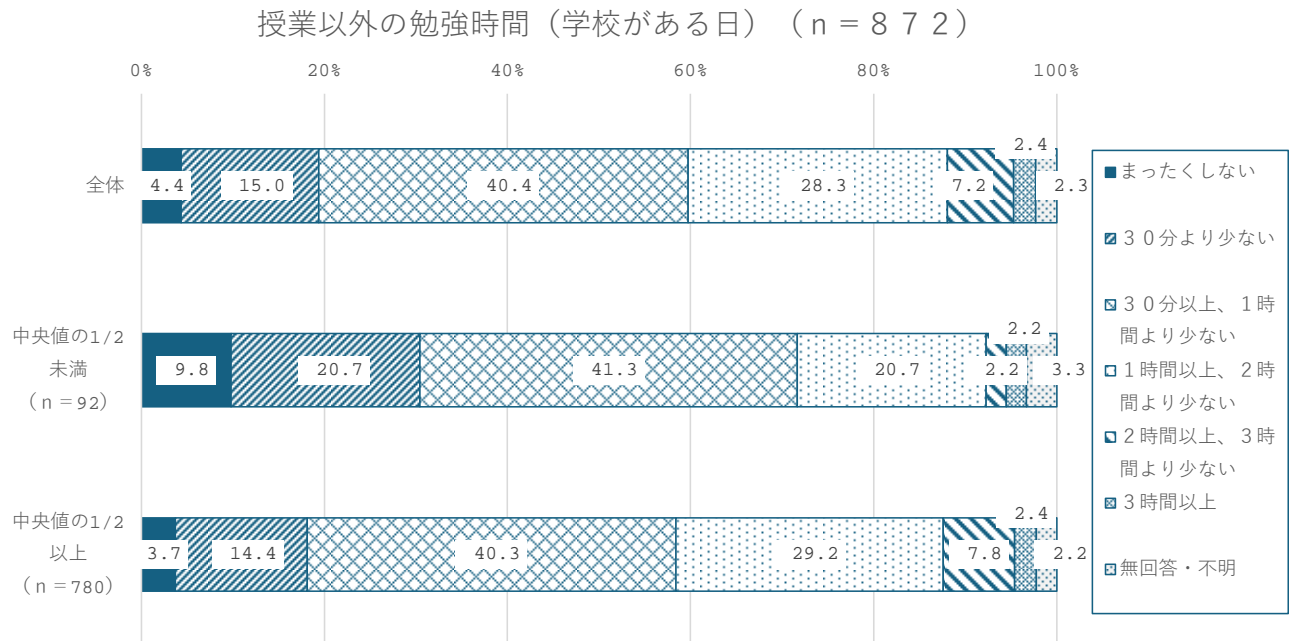
等価世帯収入別では、世帯収入が高い方が「1時間以上」の割合が増加した。

世帯の状況別では、「ふたり親世帯」に比べ、「ひとり親世帯」では「全くしない」「30分より少ない」の割合が多い傾向になっている。

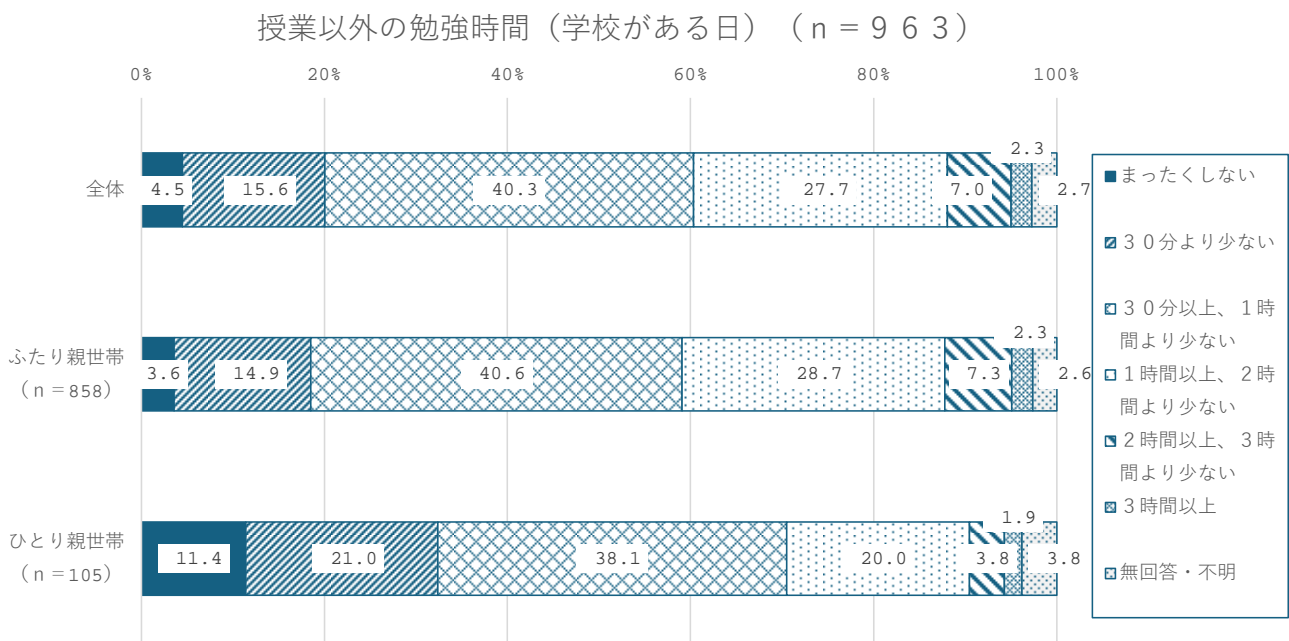
【全体（学年別）】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



問2 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

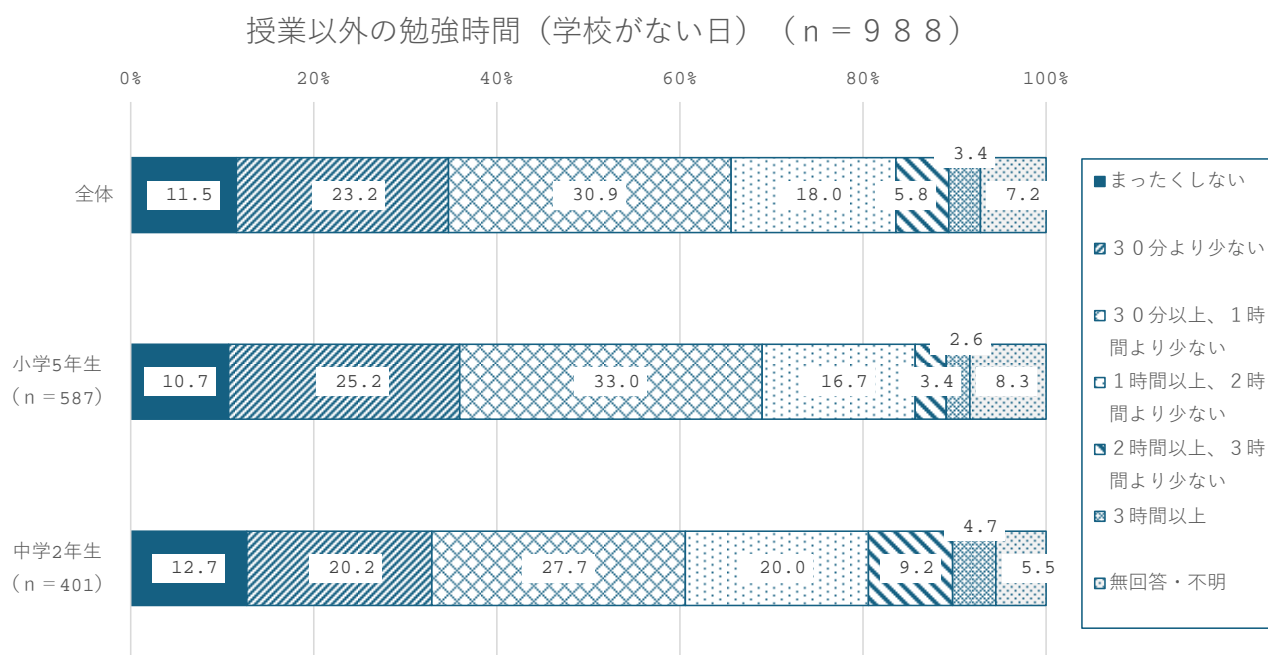
※ 学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

- 学校がない日の勉強時間について、全体では「まったくしない」が11.5%、「30分より少ない」が23.2%、「30分～1時間」が30.9%、「1時間～2時間未満」が18.0%、「2時間以上」は9.2%だった。

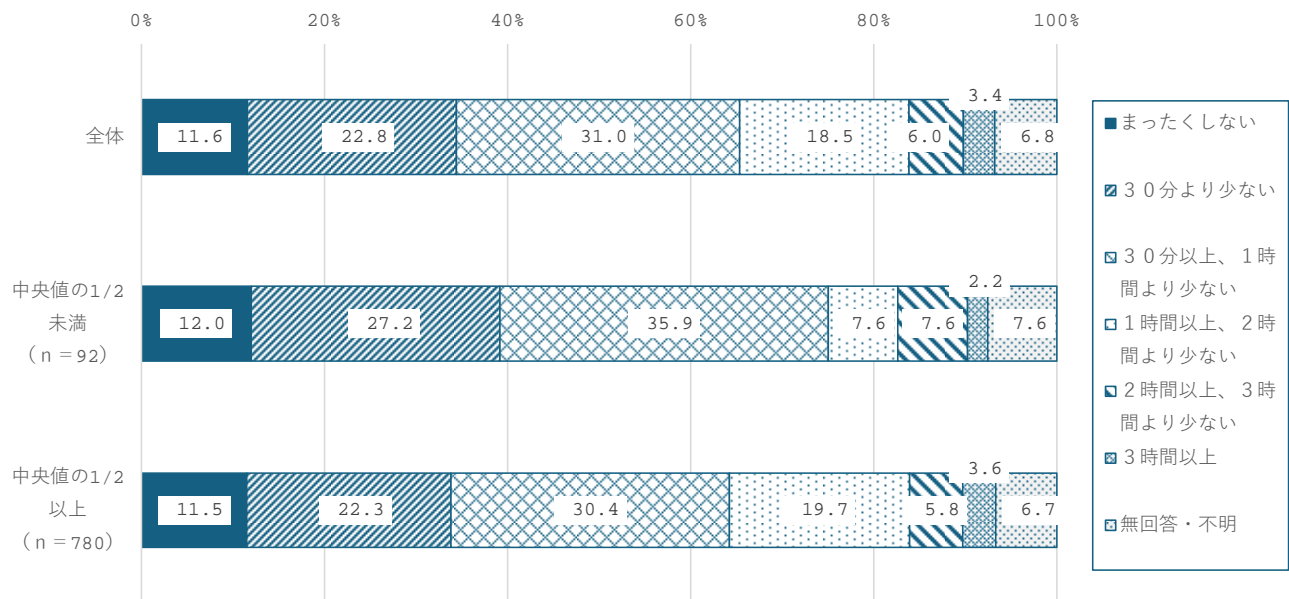
等価世帯収入別では、平日と比べ、「全くしない」「30分より少ない」の割合が多くなっている。世帯の状況別では、「ふたり親世帯」に比べ、「ひとり親世帯」では「全くしない」「30分より少ない」の割合が多い傾向になっている。

【全体（学年別）】



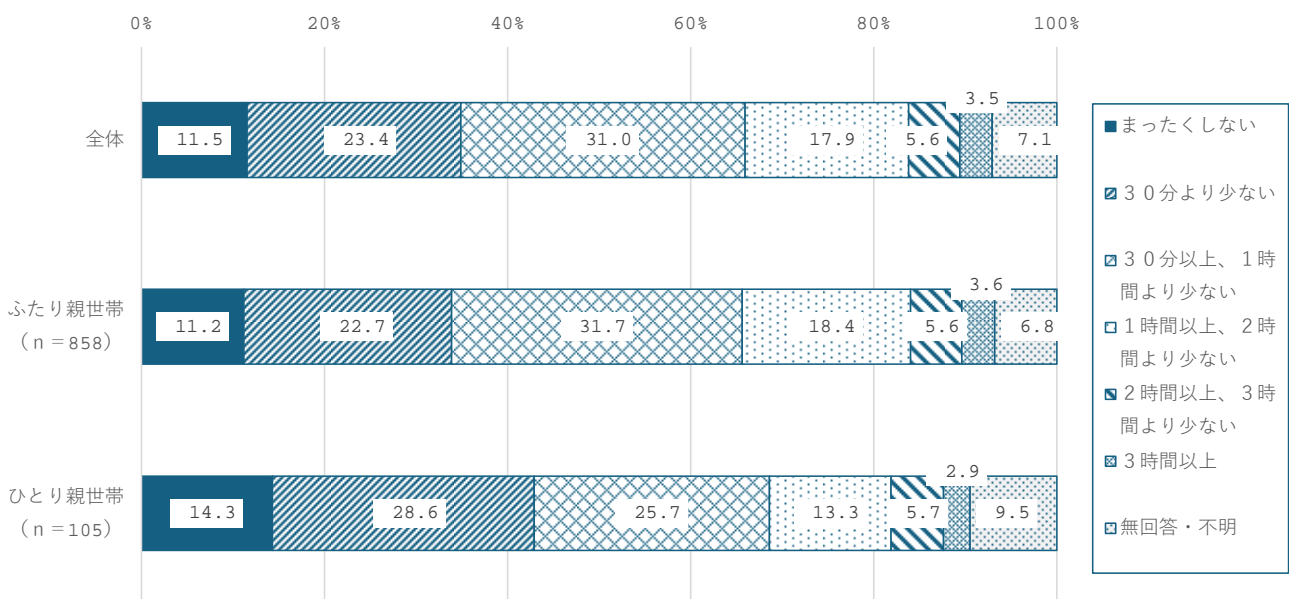
【等価世帯収入別】

授業以外の勉強時間（学校がない日）（n = 872）



【世帯の状況別】

授業以外の勉強時間（学校がない日）（n = 963）



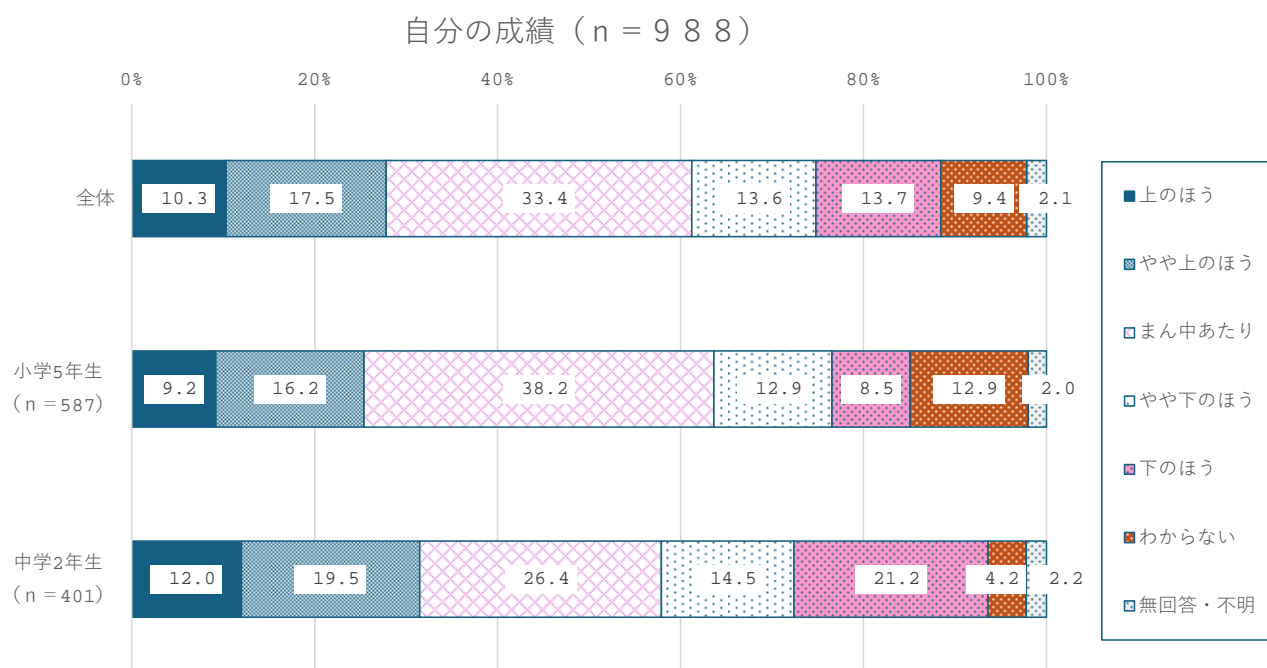
（3）クラスの中での成績

問3 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

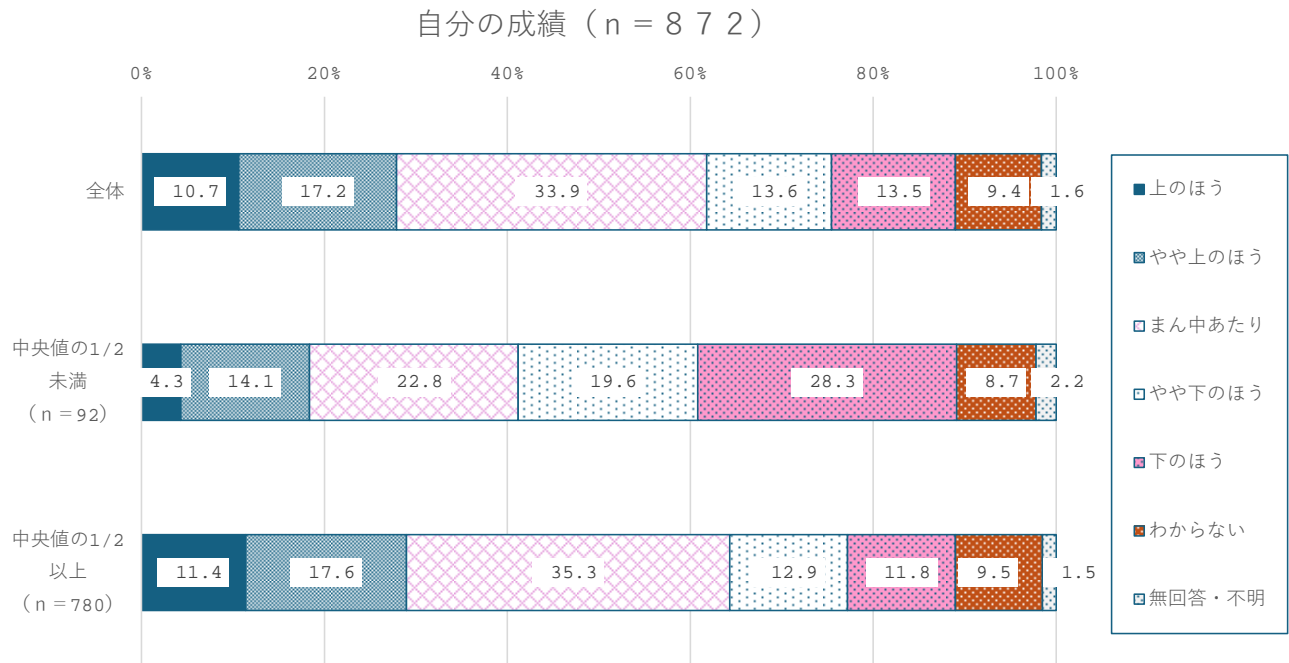
- クラスの中の成績については、全体では「まん中あたり」が33.4%と最も多い結果となった。等価世帯収入別では、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合は世帯収入が少ない方が増加する傾向となった。

世帯の状況別では、「ふたり親世帯」よりも「ひとり親世帯」の方が「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合が多くなる結果となった。

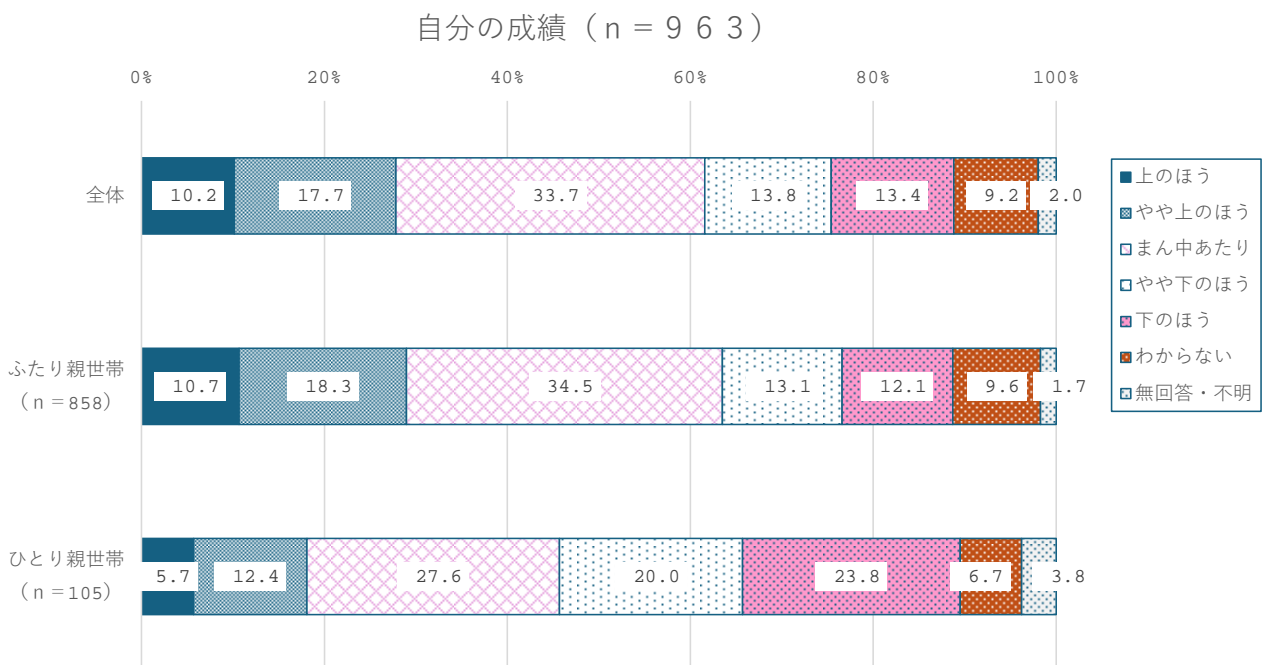
【全体（学年別）】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



（４）授業の理解度

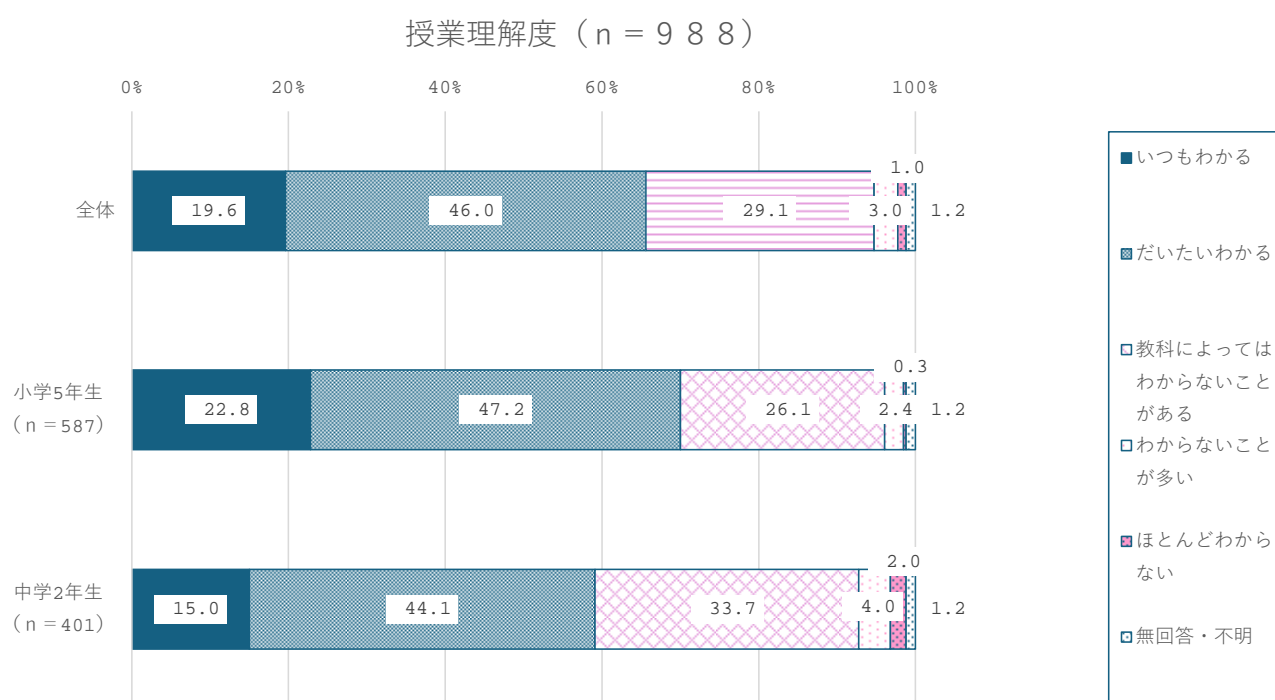
問４ あなたは、学校の授業がわかりますか。（あてはまるもの１つに○）

- 授業の理解状況では、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合は小学５年生で70.0%、中学２年生で59.1%と、10.9%下がっており、学年が上がるに従い、わからない児童生徒の割合が増加していると思われる。

等価世帯収入別では、収入が少ない方が「いつもわかる」「だいたいわかる」を合わせた割合も減少していた。

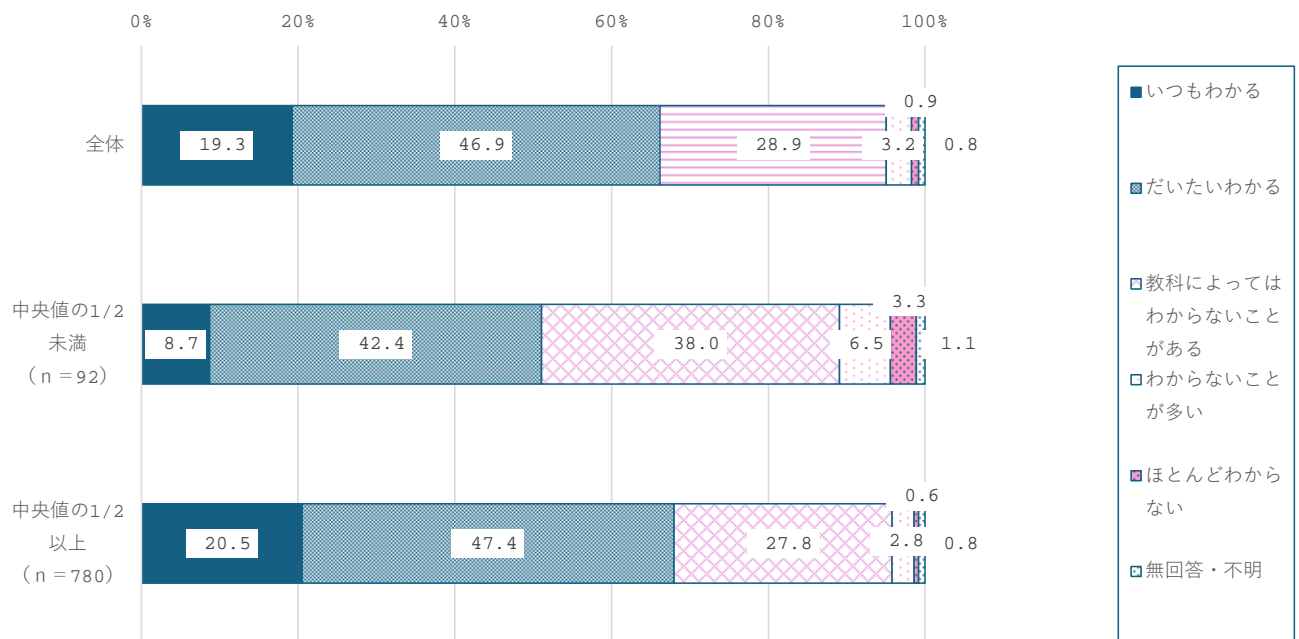
世帯の状況別では、「ひとり親世帯」において、「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合が「ふたり親世帯」よりも少ない結果となった。

【全体（学年別）】



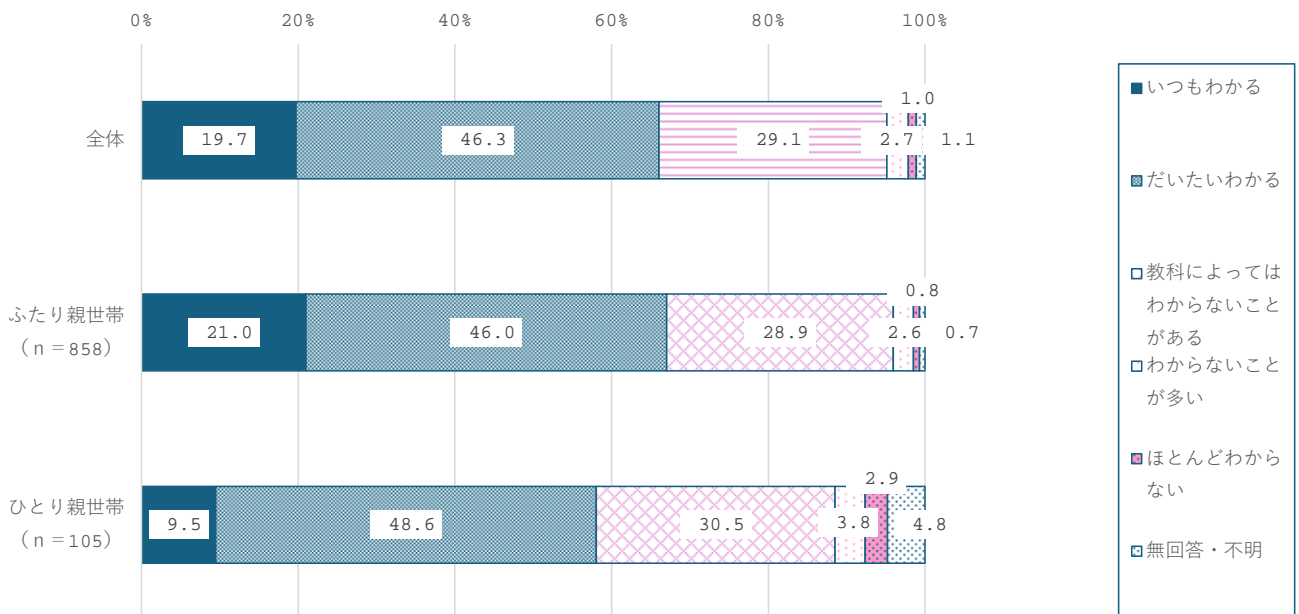
【等価世帯収入別】

授業理解度 (n = 872)



【世帯の状況別】

授業理解度 (n = 963)



（５）授業が分からなくなった時期

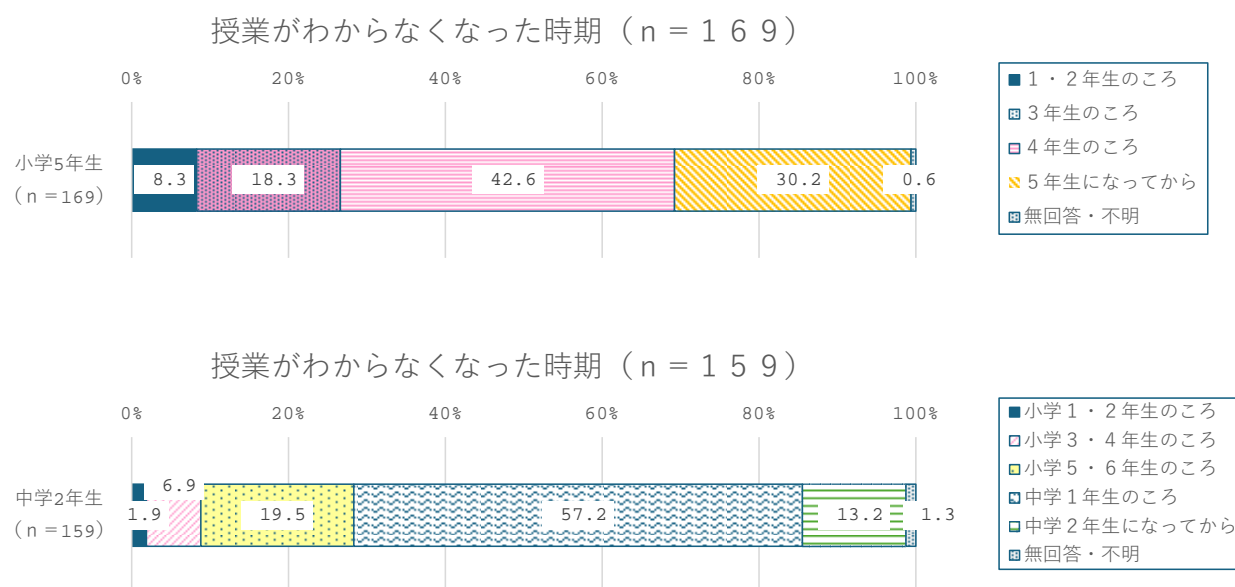
問 5 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）

- 授業がわからなくなった時期については、小学5年生では「4年生のころ」が最も多く、42.6%となった。中学2年生では、「中学1年生のころ」が57.2%で最も多くなった。

等価世帯収入別では、「中央値の1/2未満」を全体と比べると、小学5年生においては、「4年生のころ」の割合が多く、中学2年生においては、「小学5・6年生のころ」の割合が多くなった。

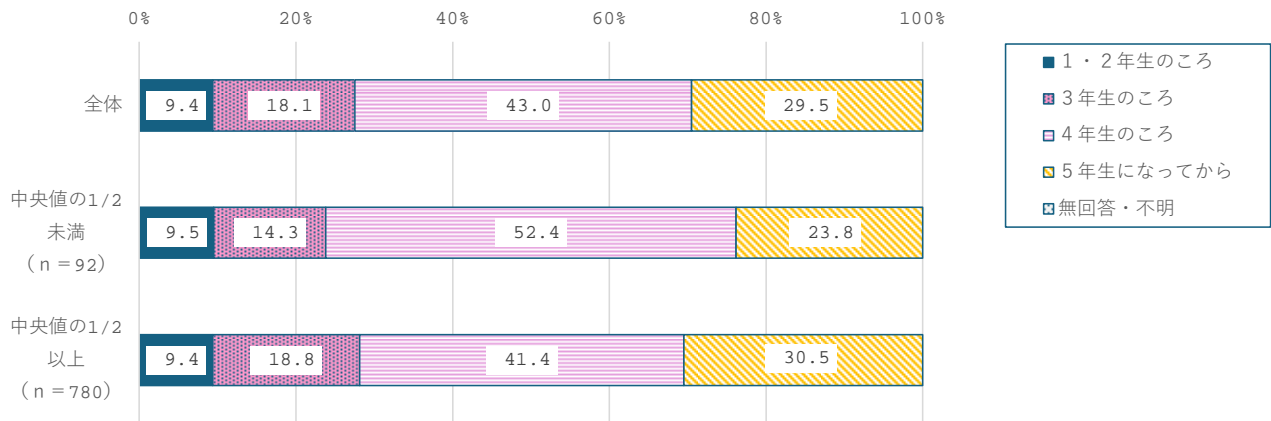
世帯収入別では、「ひとり親世帯」を全体と比べると、小学5年生においては、「1・2年生のころ」の割合が多く、中学2年生においては、「小学5・6年生のころ」の割合が多くなった。

【全体（学年別）】



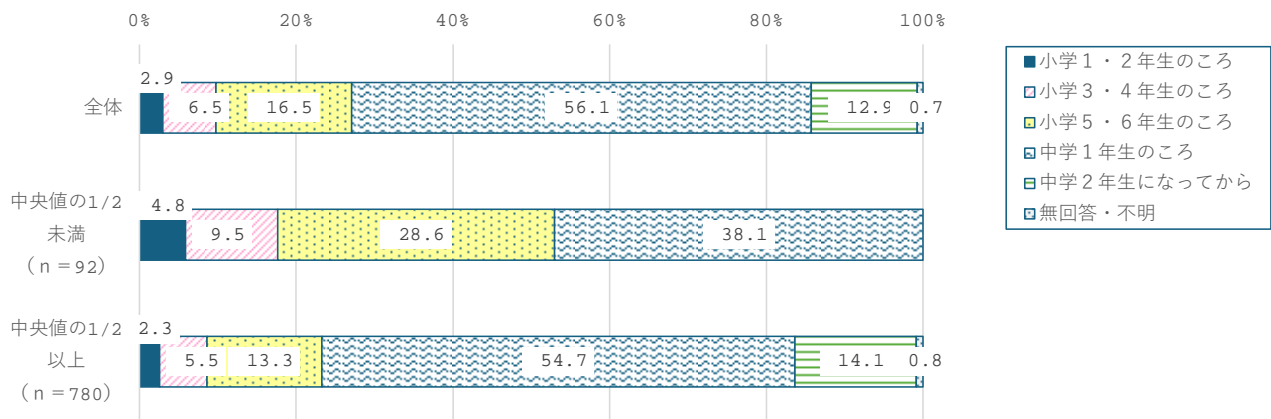
【等価世帯収入別】
(小学5年生)

授業がわからなくなった時期 (n = 149)



(中学2年生)

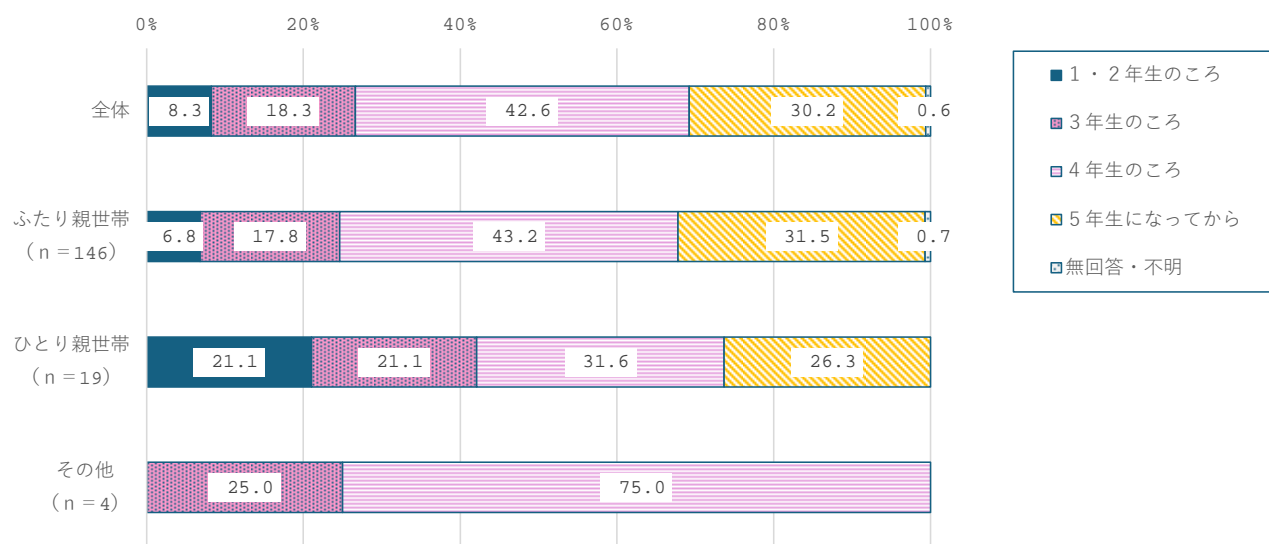
授業がわからなくなった時期 (n = 139)



【世帯の状況別】

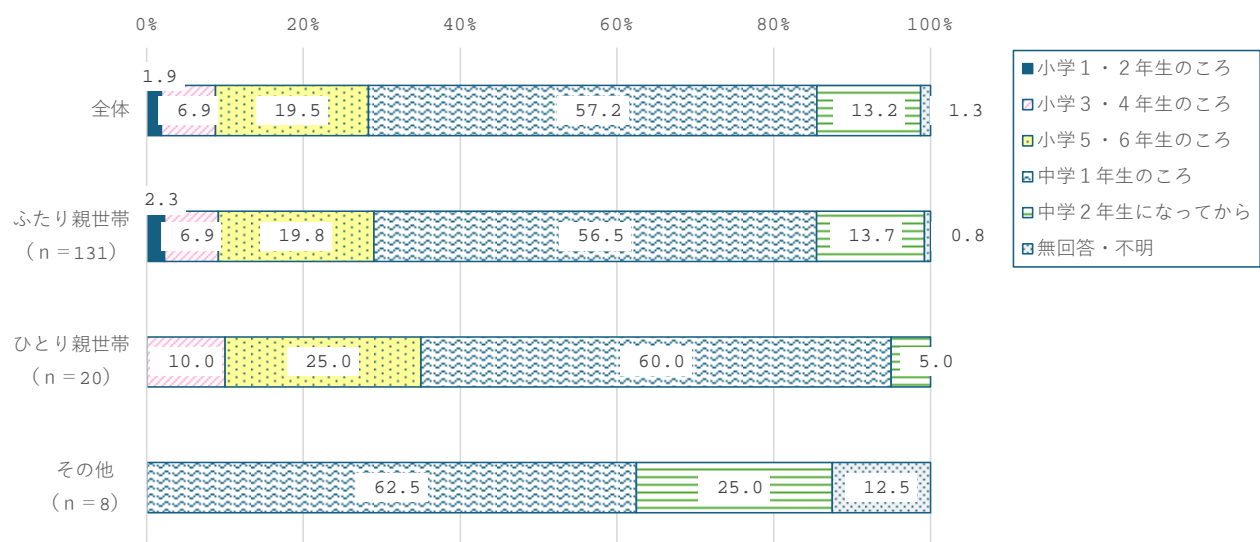
（小学5年生）

授業がわからなくなった時期（n = 169）



（中学2年生）

授業がわからなくなった時期（n = 159）



2. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

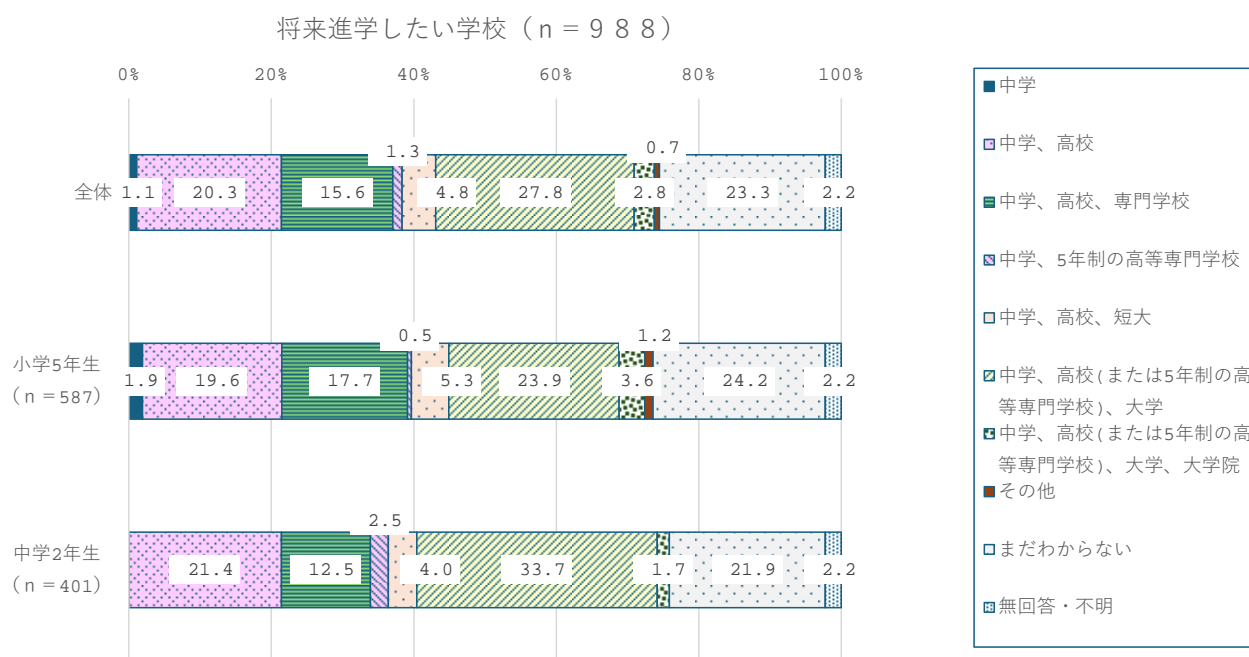
問6 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- 将来どの段階まで進学をしたいかについては、全体では、「大学またはそれ以上」が30.6%、「短大まで」が4.8%、「高等専門学校」が1.3%、「専門学校まで」が15.6%、「高校まで」が20.3%となった。

等価世帯収入別では、収入が高い方が、「大学まで」が増え、「高校まで」が減少していた。これは保護者の進学段階の希望・展望と一致した動きとなっている。

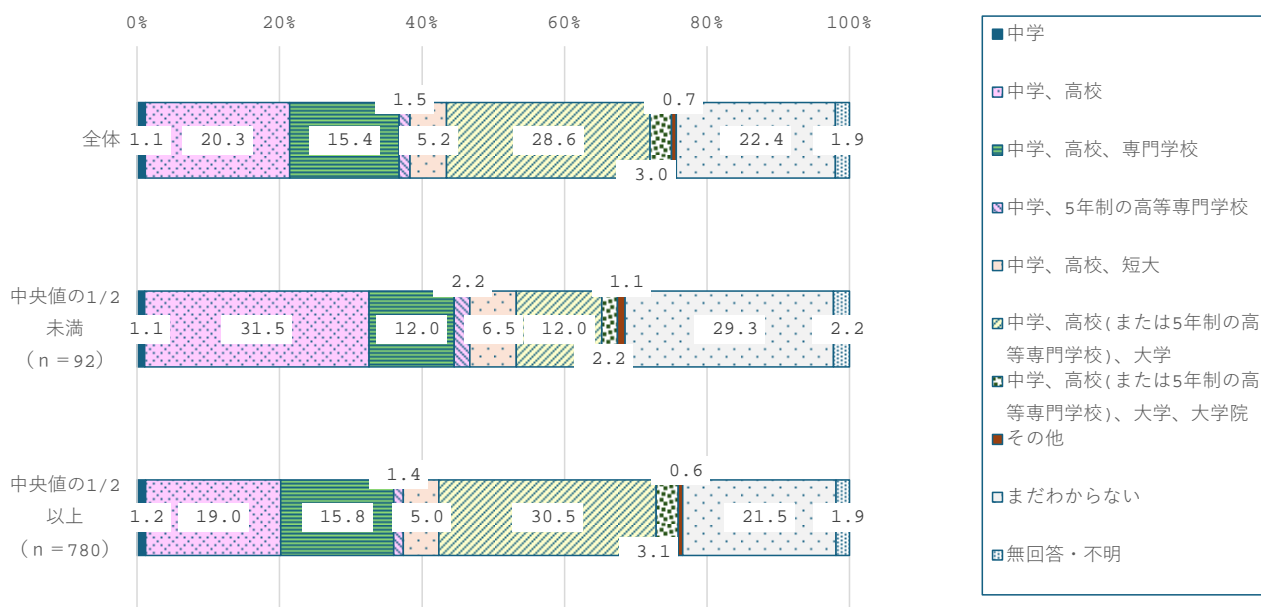
世帯の状況別では、「ひとり親世帯」と「ふたり親世帯」を比較すると、「高校、専門学校」までの割合(「中学」「中学、高校」、「中学、高校、専門学校」を合わせた割合)に大きな差がみられた。

【全体(学年別)】



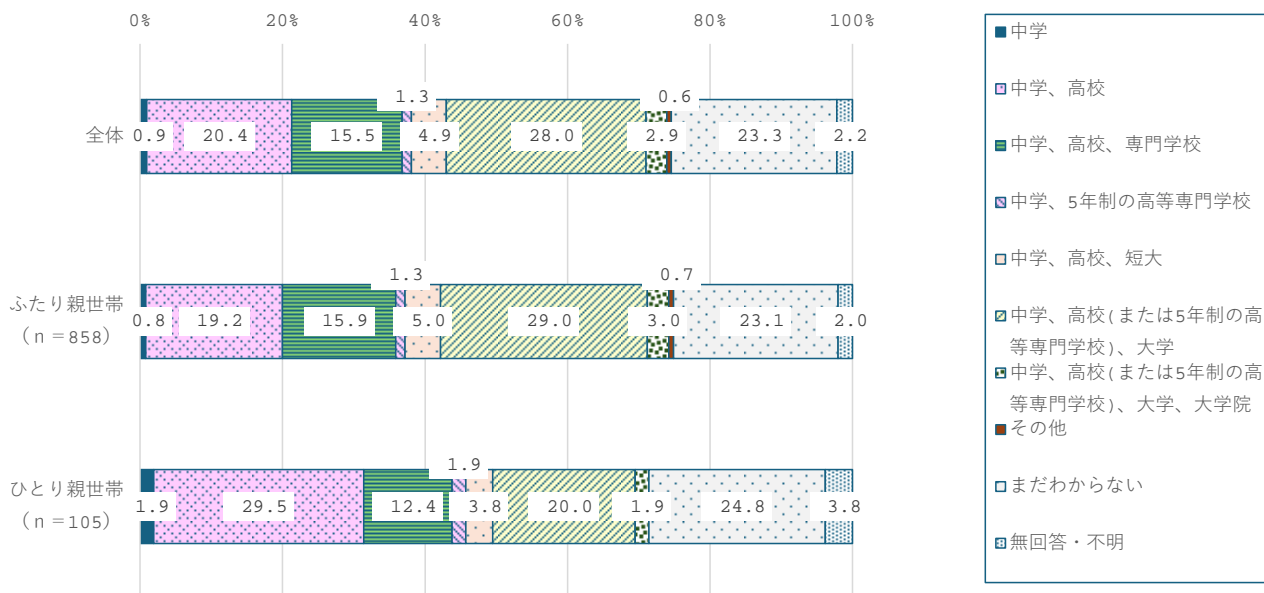
【等価世帯収入別】

将来進学したい学校（n = 872）



【世帯の状況別】

将来進学したい学校（n = 963）



(2) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

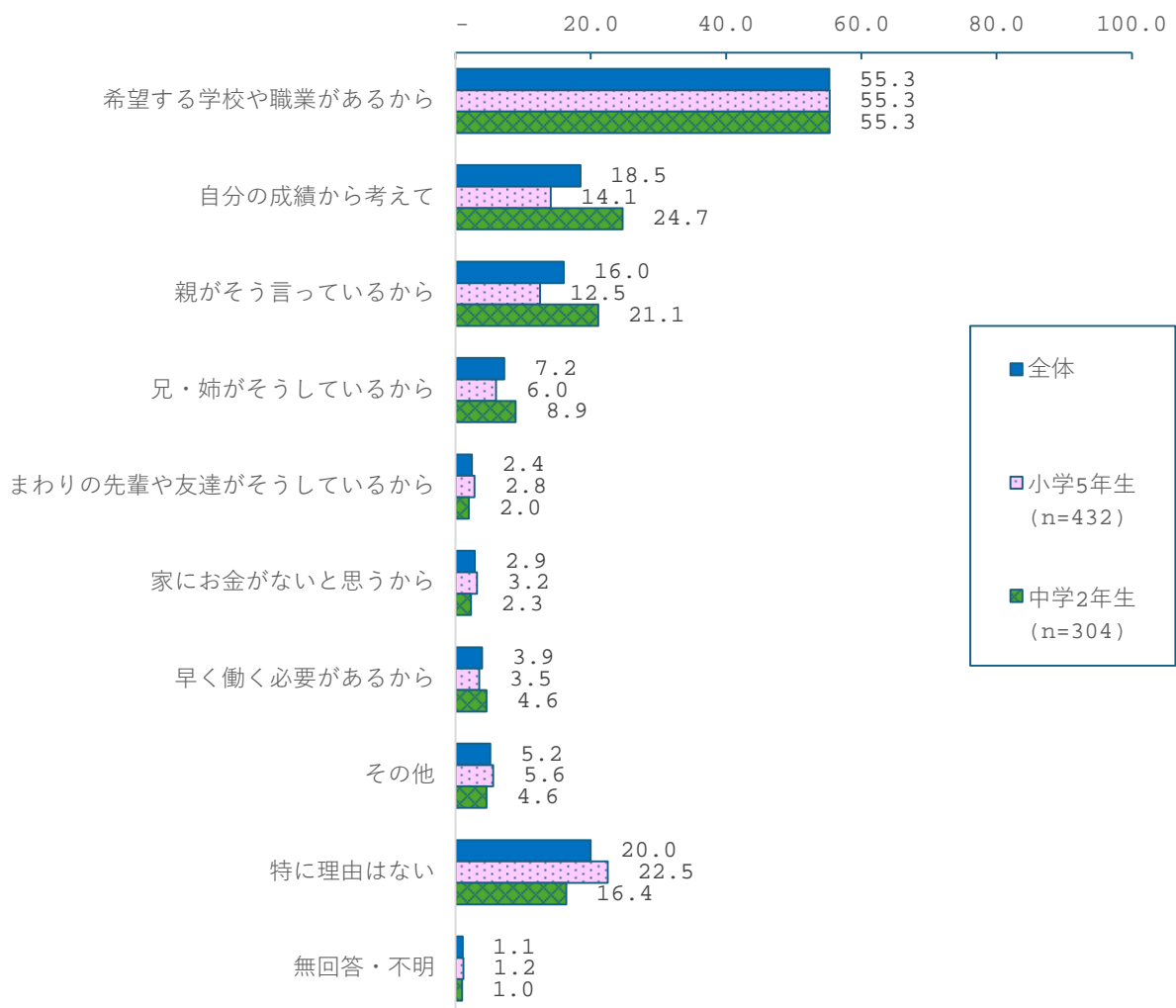
問7 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 進学希望の理由については、「希望する学校や職業があるから」が最も多く、55.3%だった。等価世帯収入別では、「自分の成績から考えて」、「兄・姉がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」の項目で「中央値の1/2未満」の割合が多い結果となった。

世帯の状況別では、「希望する学校や職業があるから」、「兄・姉がそうしているから」、「家にお金がないと思うから」、「早く働く必要があるから」の項目で「ひとり親世帯」の割合が「ふたり親世帯」よりも多い結果となった。

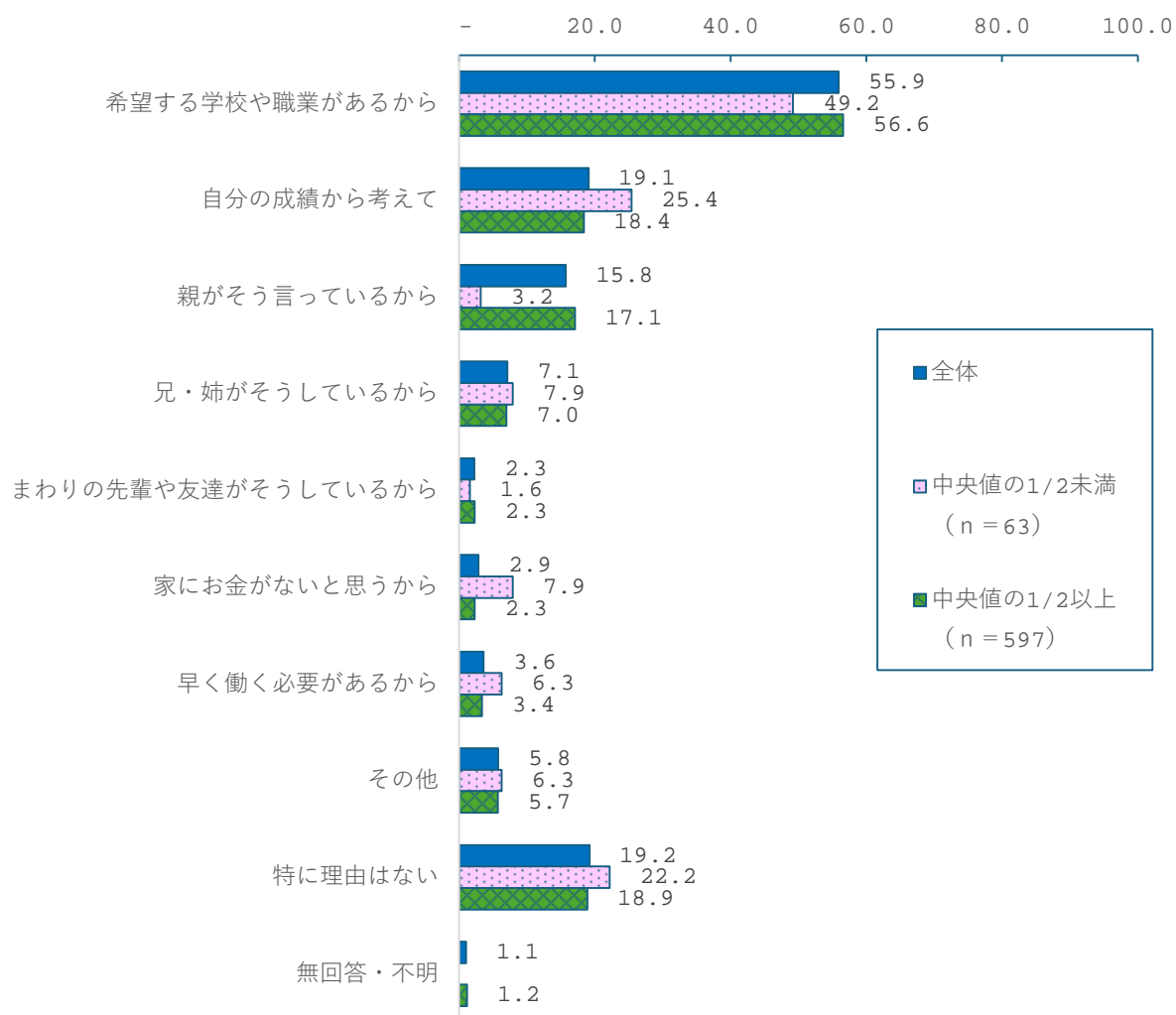
【全体（学年別）】

進学したい理由（n = 736）



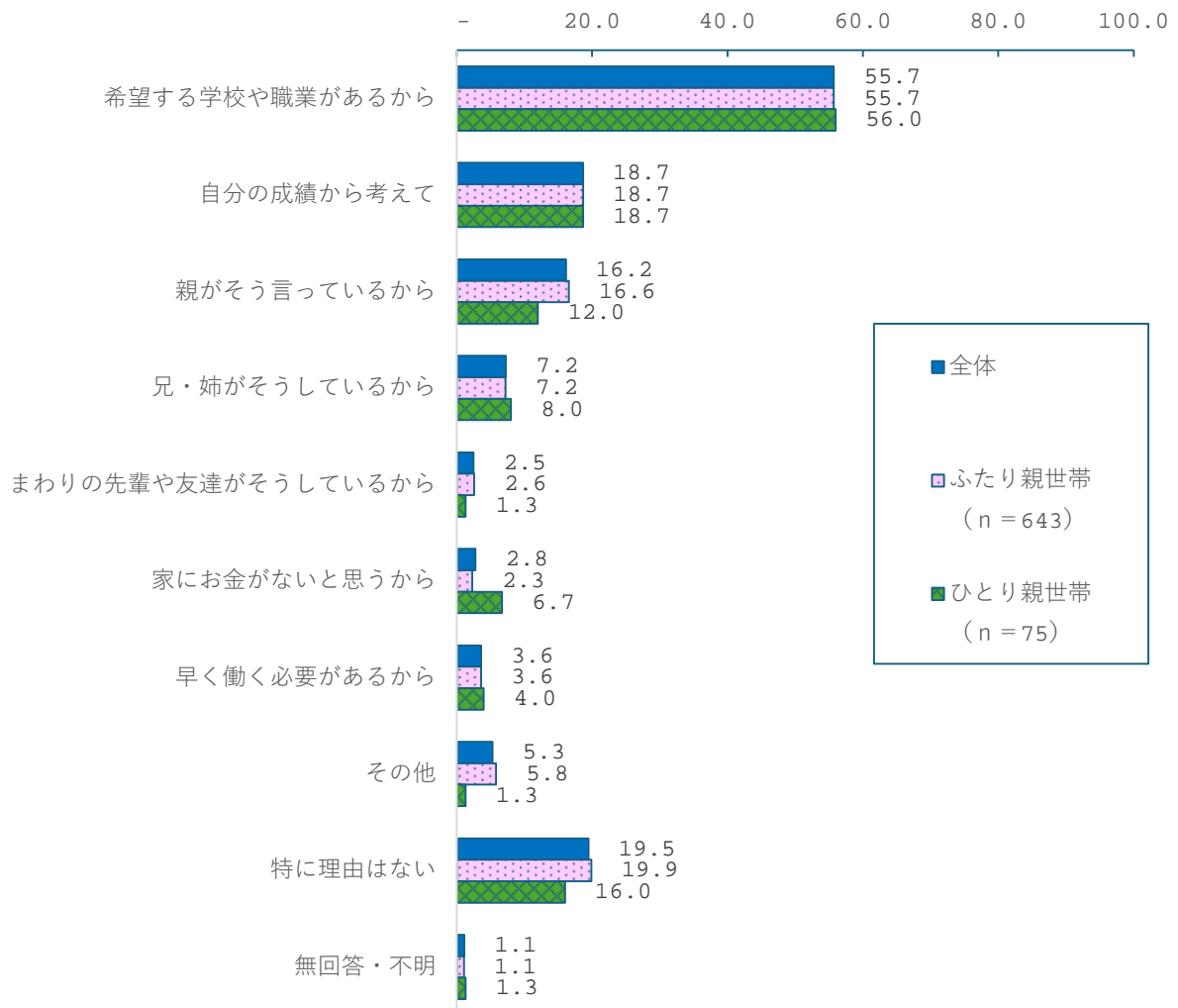
【等価世帯収入別】

進学したい理由（n = 660）



【世帯の状況別】

進学したい理由 (n = 718)



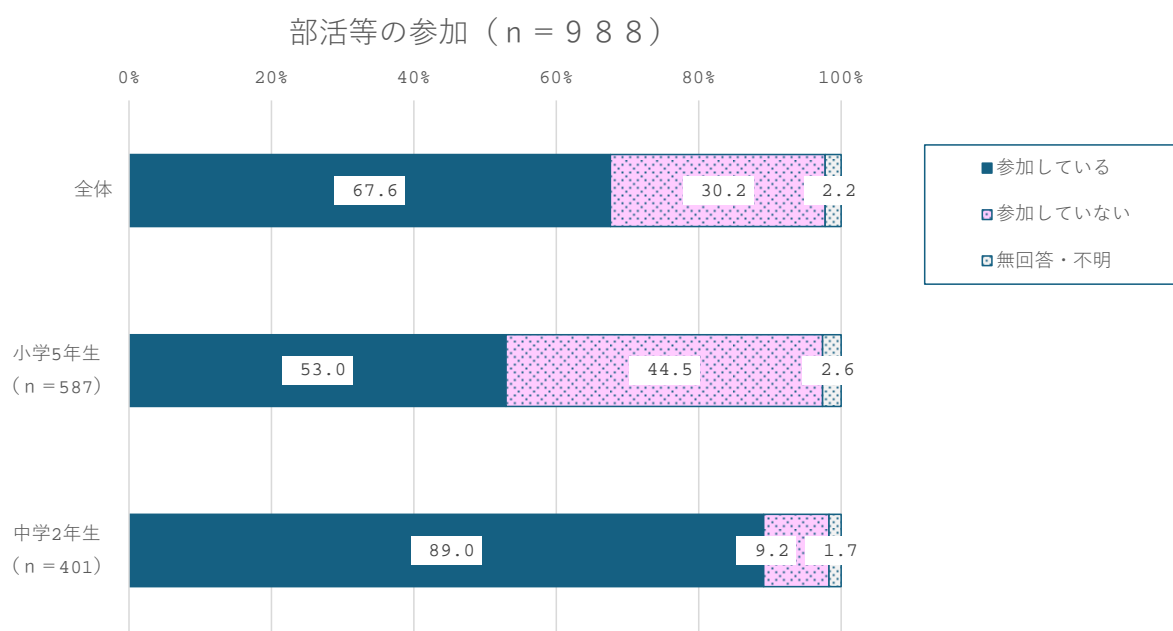
3. 部活動等への参加

（1）部活動等への参加状況

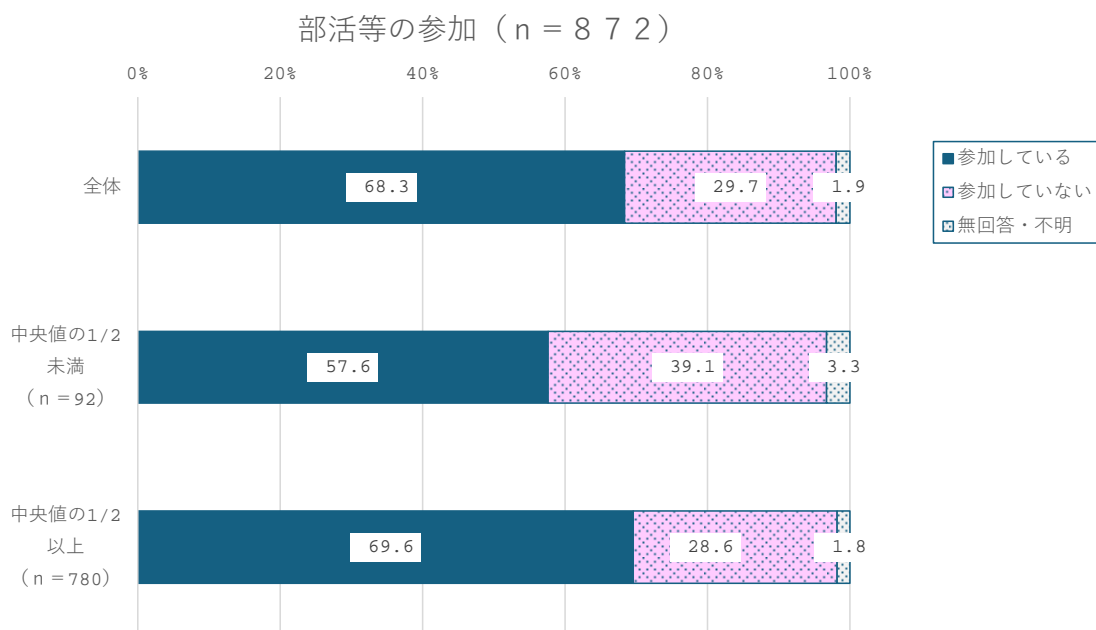
問8 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
（あてはまるもの1つに○）

- 部活動等に参加しているかの確認を行った所、「参加している」は小学5年生で53.0%、中学2年生で89.0%という結果になった。
等価世帯収入別では、世帯年収が低い方が、「参加している」の割合も減少していた。
世帯の状況別では、「ふたり親世帯」の「参加している」の割合が68.5%であるのに対して、「ひとり親世帯」は「参加している」が61.9%となった。

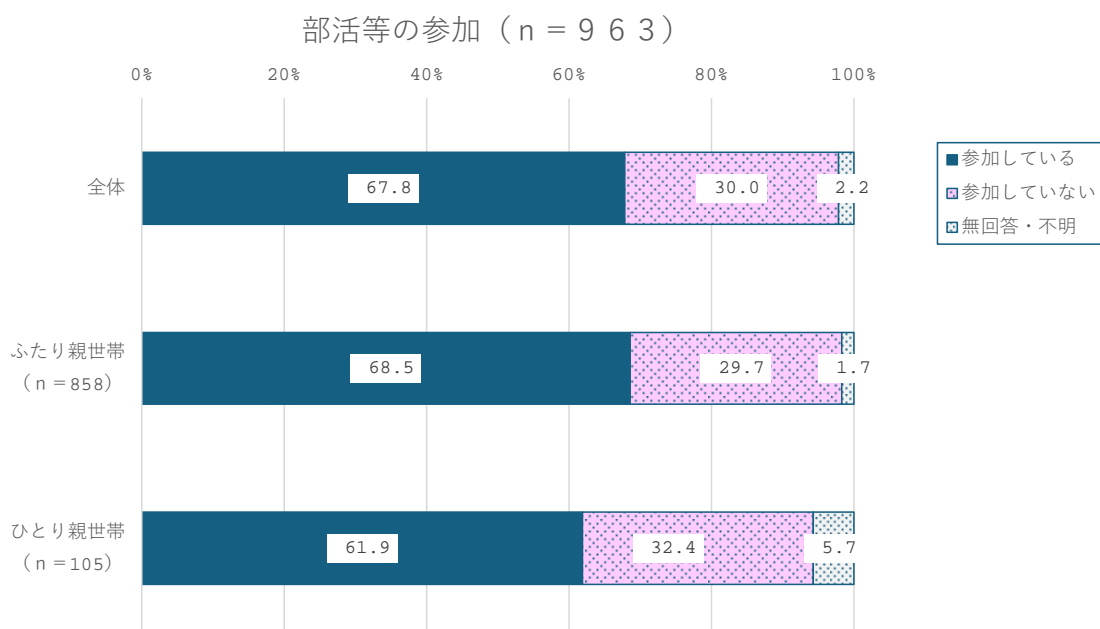
【全体（学年別）】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



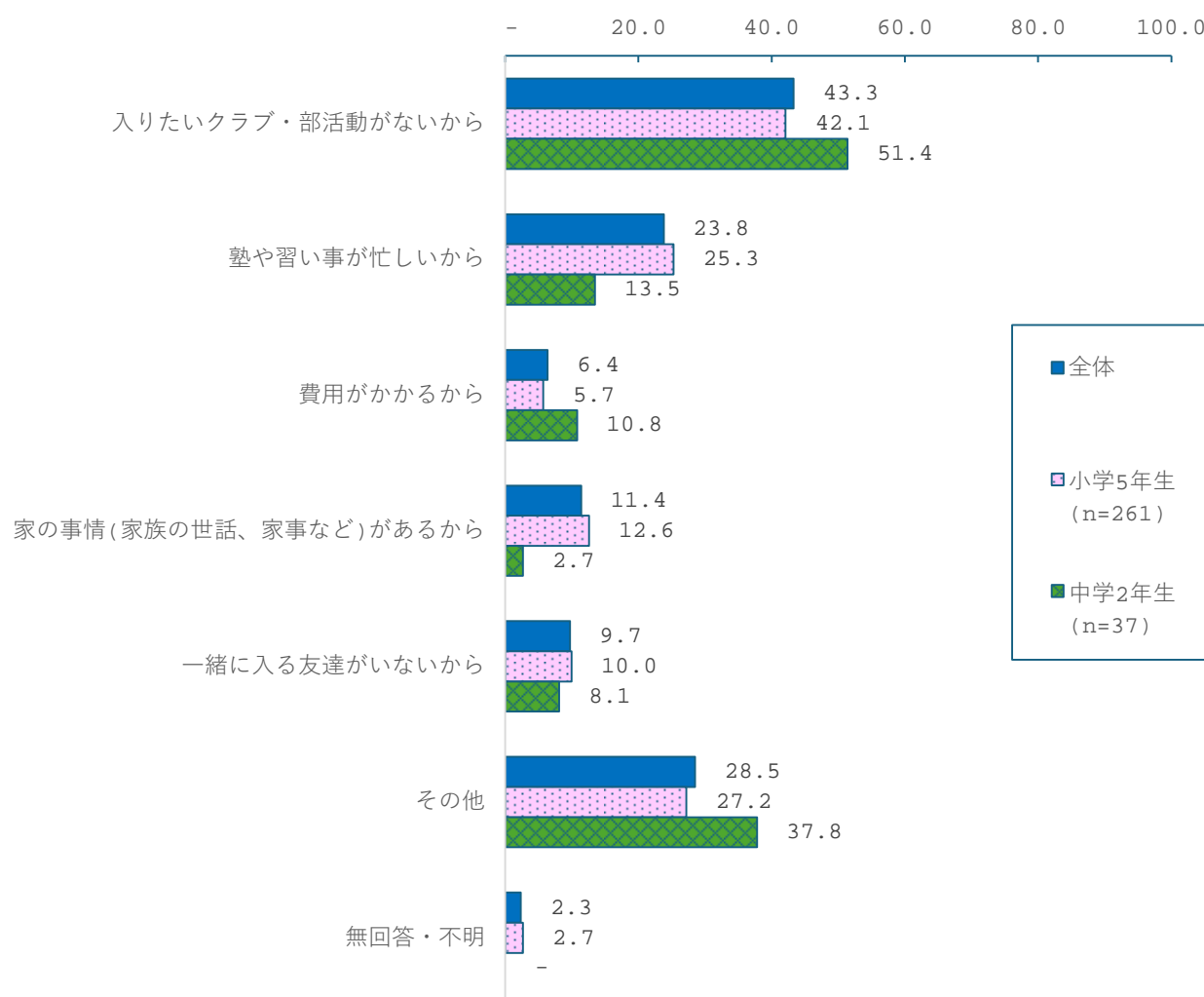
（２）部活動等に参加していない理由

問９ 前の質問で「２ 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 部活動等に参加していない理由（その他を除いた全体）では、「入りたいクラブ・部活動がないから」が最も多く 43.3%だった。
等価世帯収入別の「中央値の 1/2 未満」では、「費用がかかるから」（11.1%）、「家の事情があるから」（25.0%）が「中央値の 1/2 以上」よりも多い割合となっていた。
世帯の状況別では、「塾や習い事が忙しいから」が「ふたり親世帯」では 27.8%であるのに対して、「ひとり親世帯」では 13.9%と差がみられた。

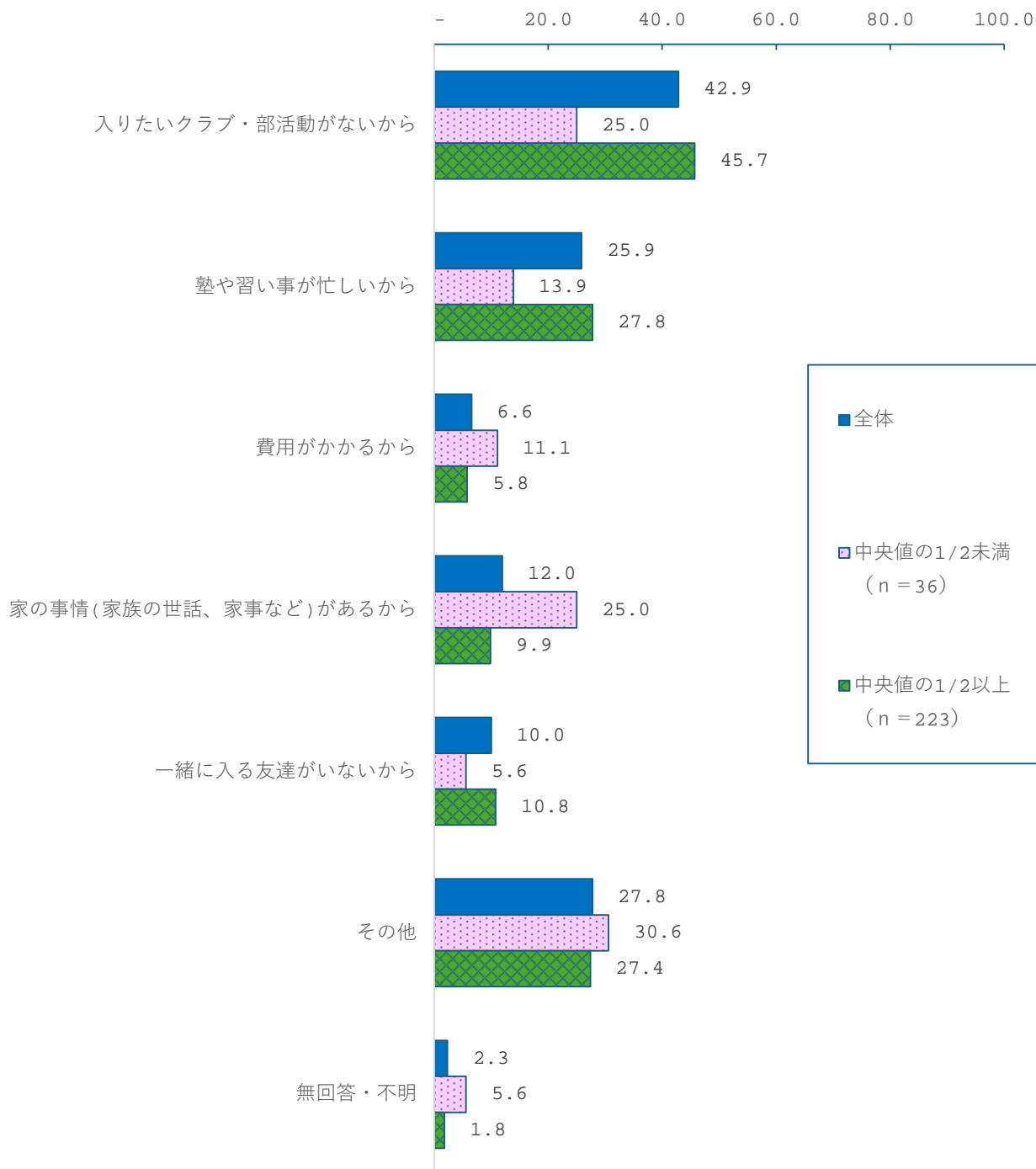
【全体（学年別）】

部活動等の不参加理由（n = 298）



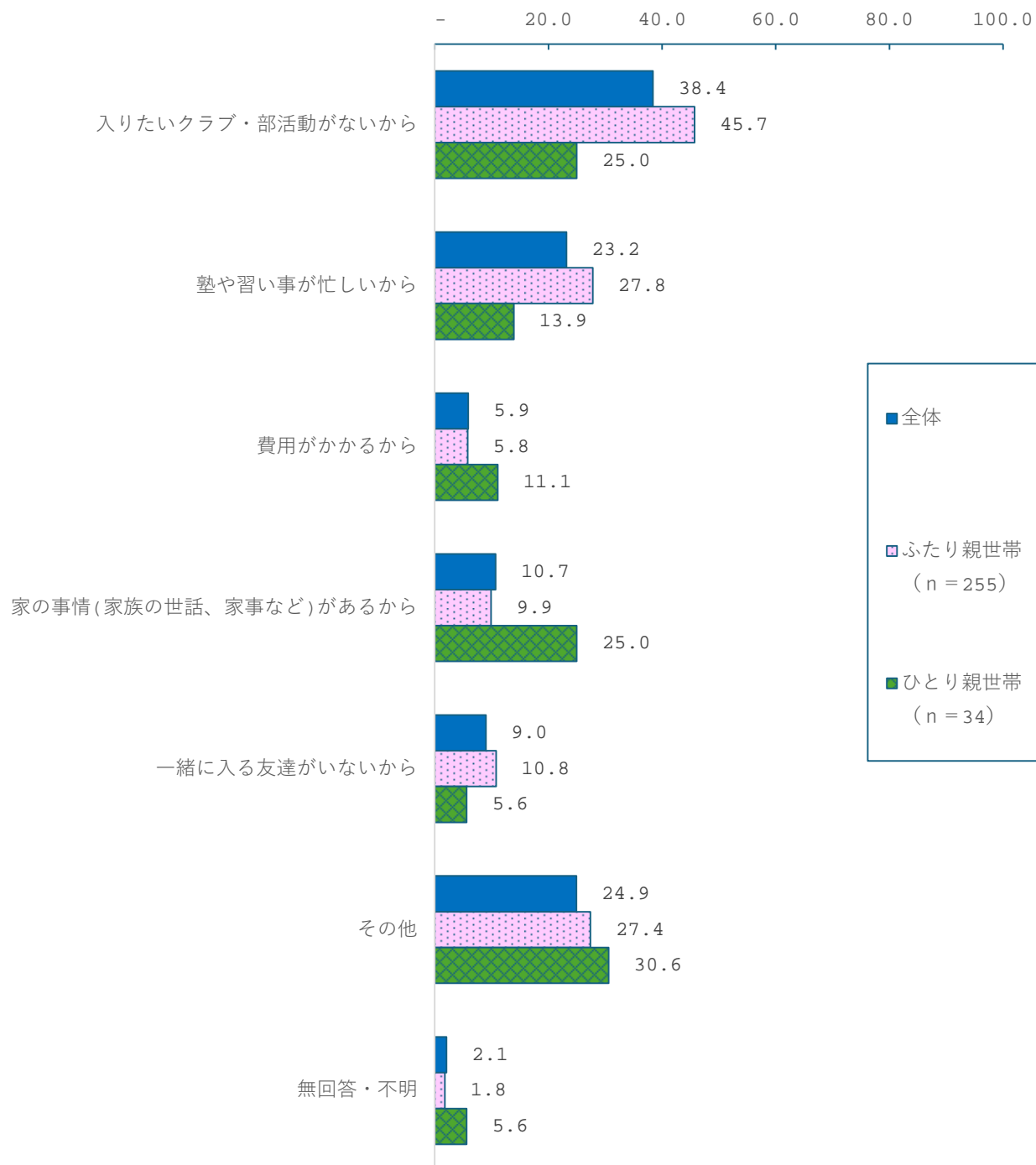
【等価世帯収入別】

部活動等の不参加理由 (n = 259)



【世帯の状況別】

部活動等の不参加理由（n = 289）



4. 子どもの日常的生活状況

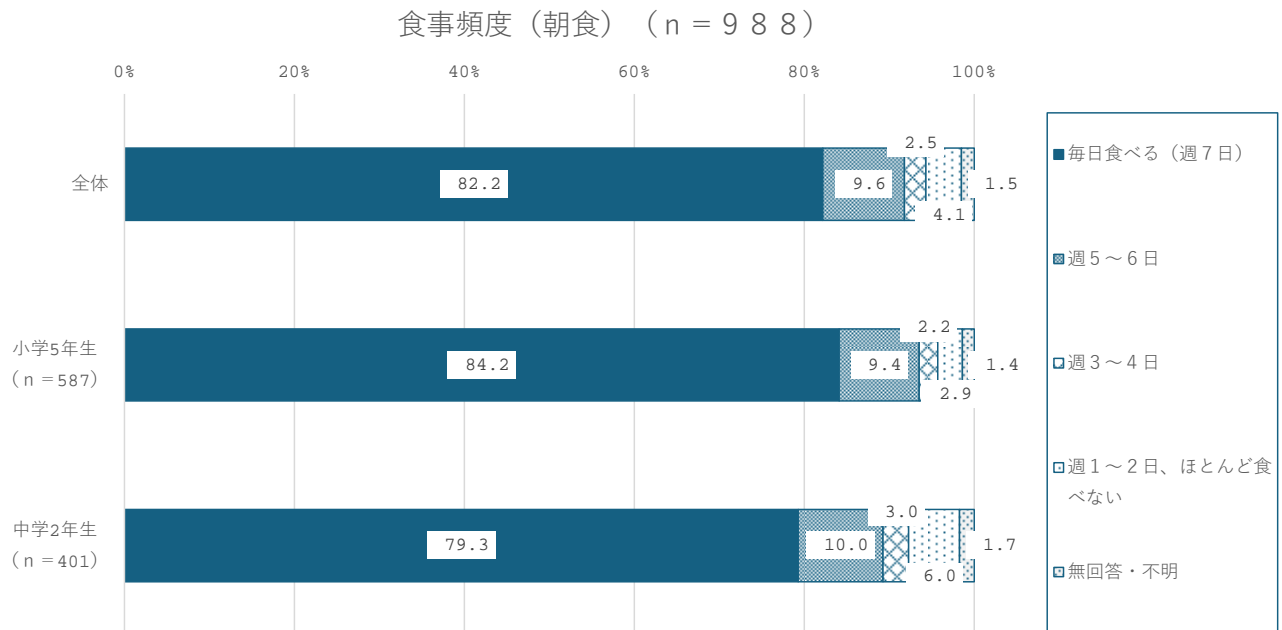
(1) 食事の状況(朝食)

問 10 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 朝食

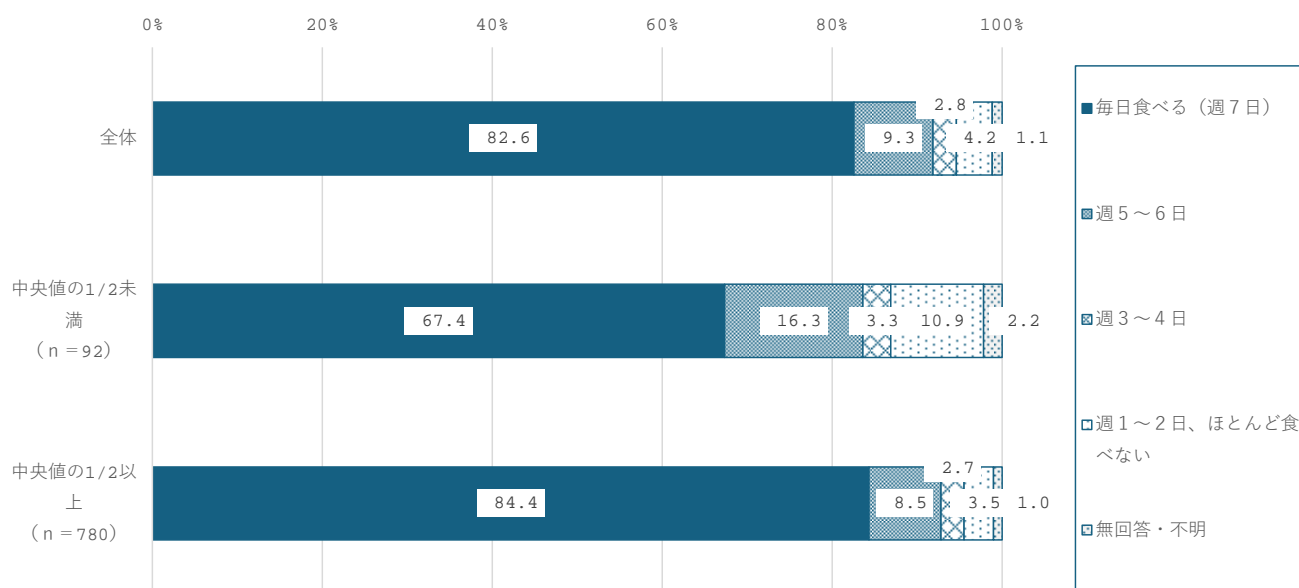
- 朝食の食事の頻度については、全体では「毎日食べる」が82.2%だった。
等価世帯収入別では、世帯収入が少ない方が、食事の頻度も減少していた。
世帯の状況別では、「ふたり親世帯」で「毎日食べる」の割合は84.0%であり、「ひとり親世帯」では66.7%だった。

【全体(学年別)】



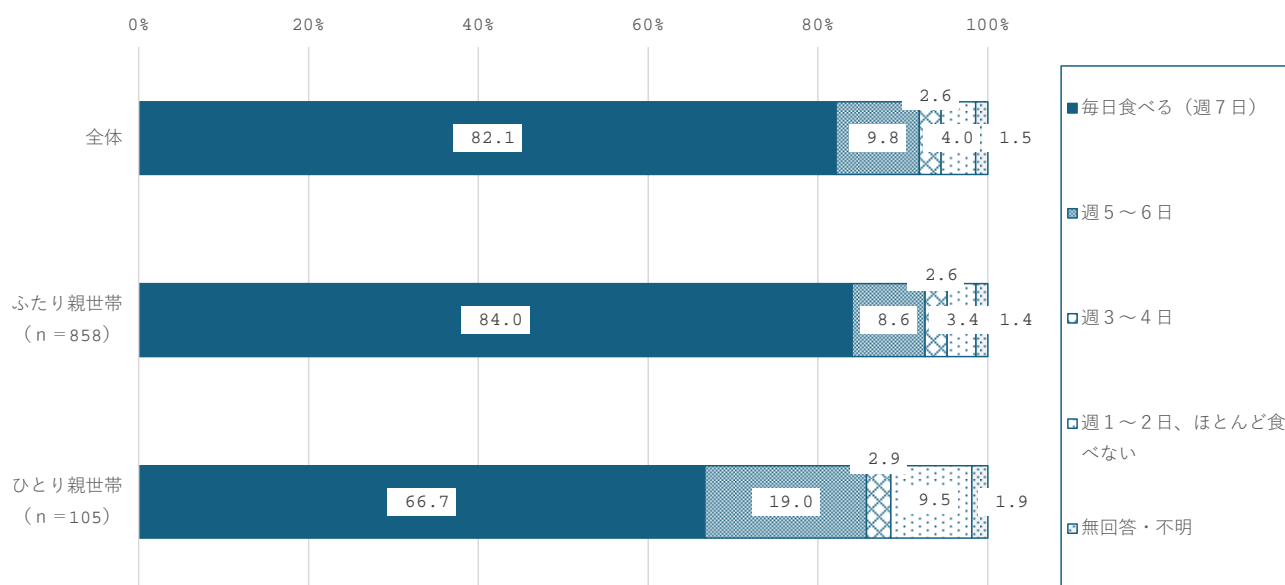
【等価世帯収入別】

食事頻度（朝食）（n = 872）



【世帯の状況別】

食事頻度（朝食）（n = 963）



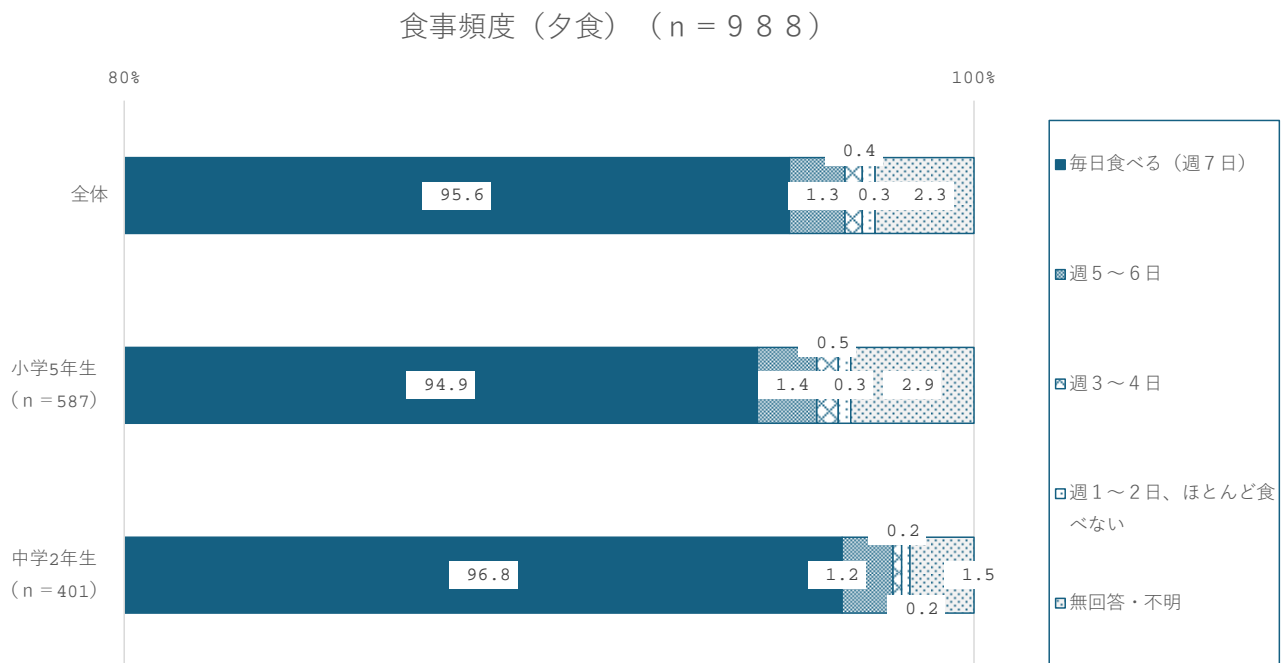
(2) 食事の状況(夕食)

問 10 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

b) 夕食

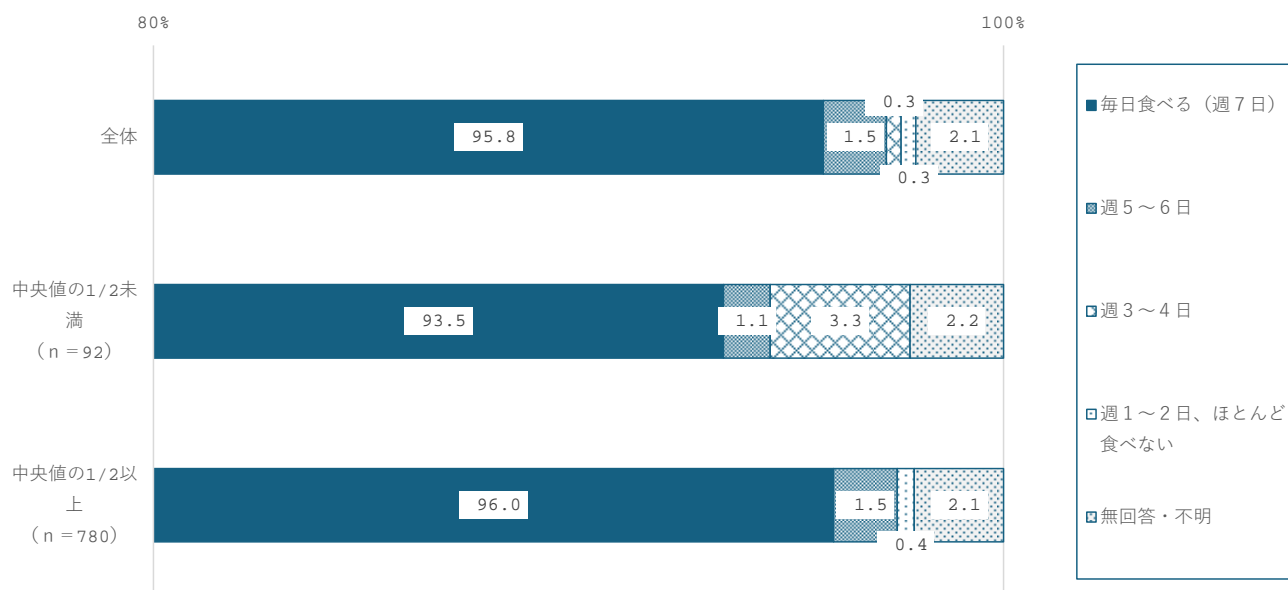
- 夕食の食事の頻度については、全体では「毎日食べる」が95.6%と高い結果となった。等価世帯収入別では、「中央値の1/2未満」においても「毎日食べる」が90%以上となっていた。世帯の状況別では、どの世帯においても「毎日食べる」が90%以上と高い割合になった。

【全体(学年別)】



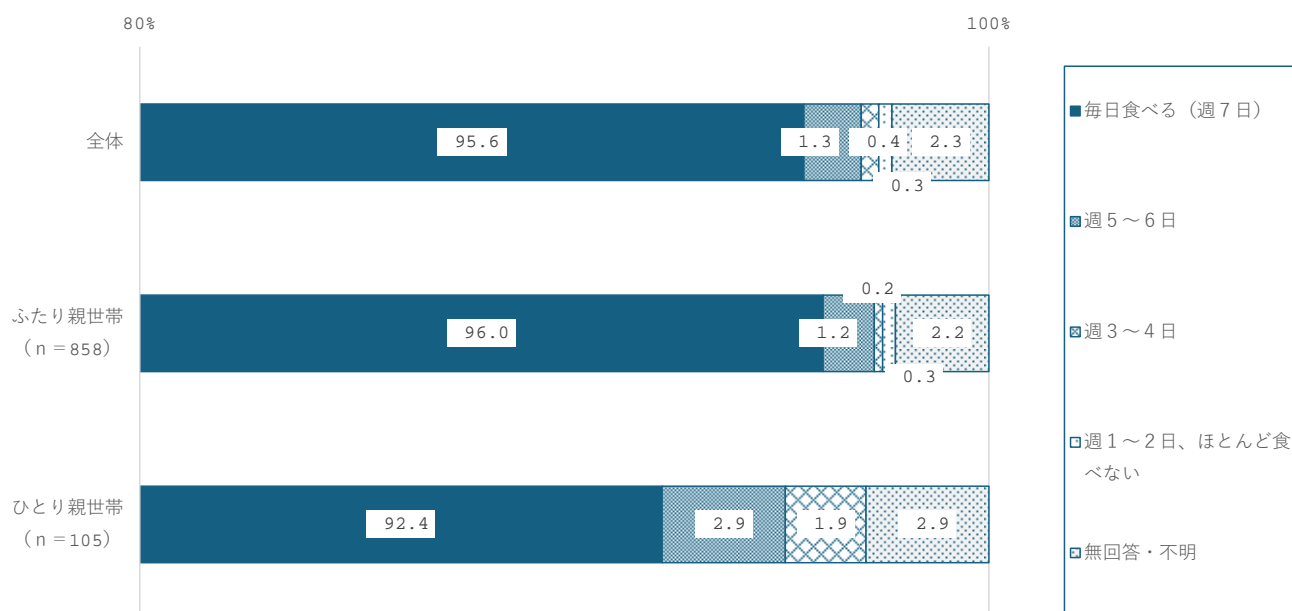
【等価世帯収入別】

食事頻度（夕食）（n = 872）



【世帯の状況別】

食事頻度（夕食）（n = 963）



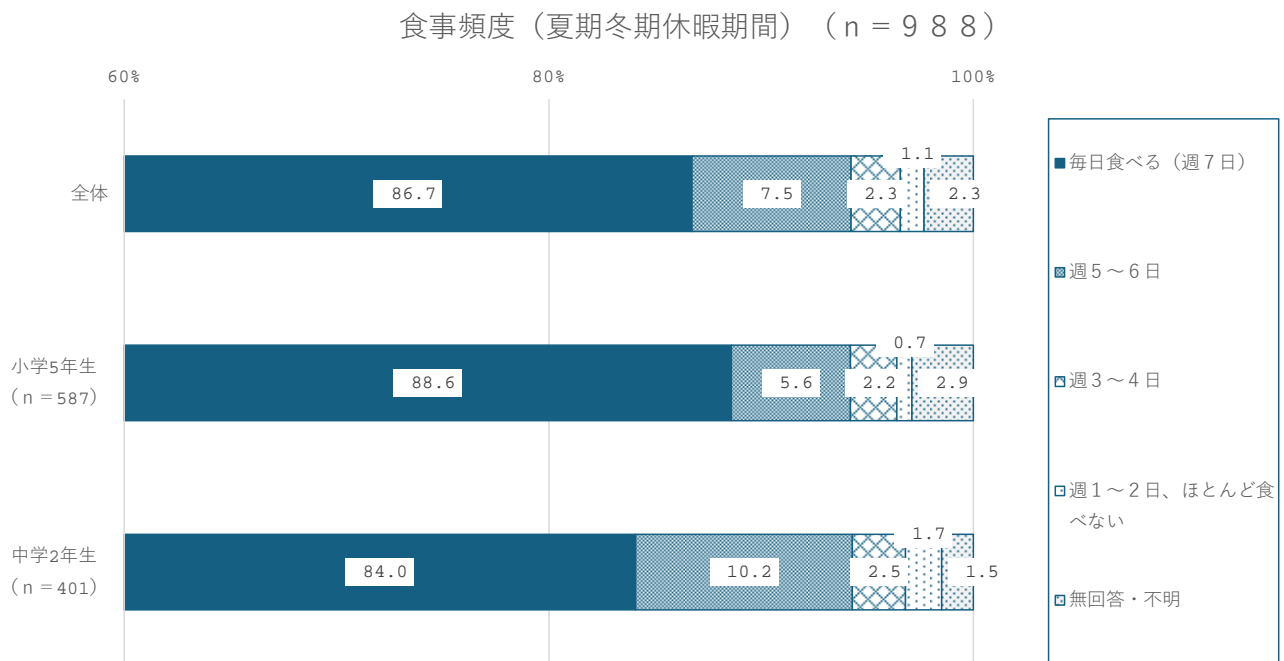
(3) 食事の状況(夏期冬期休暇期間)

問 10 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

c) 夏期冬期休暇期間

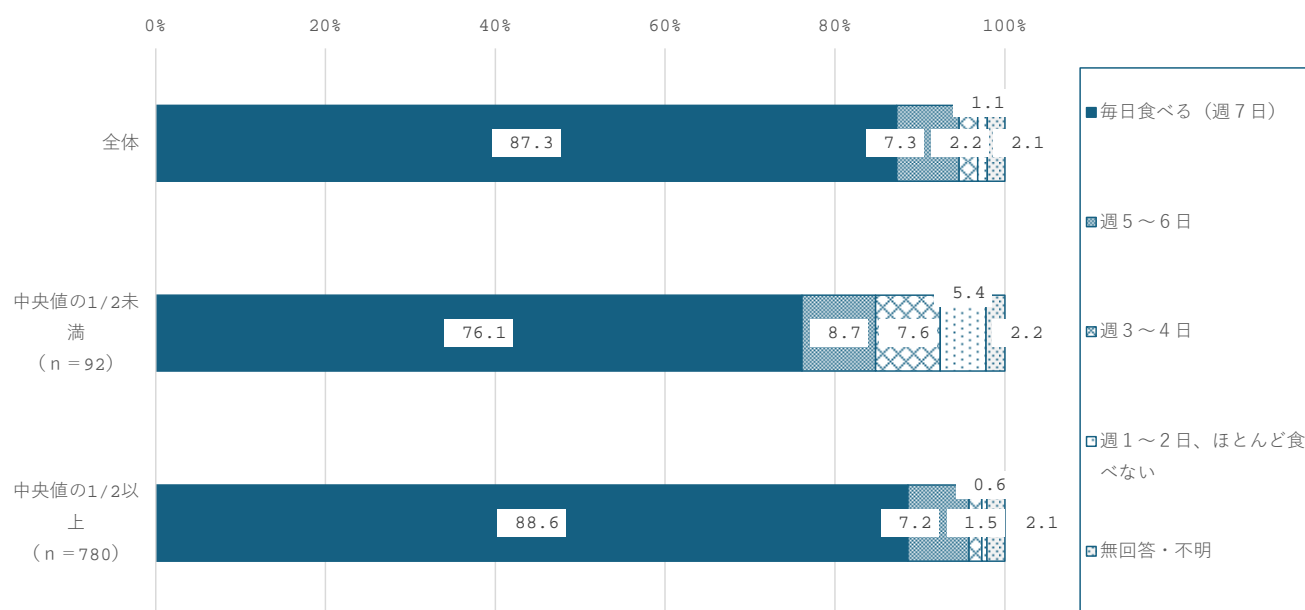
- 夏期や冬期の休暇期間の食事については、全体では「毎日食べる」が86.7%だった。
等価世帯収入別では、「毎日食べる」の割合が「中央値の1/2以上」で88.6%、「中央値の1/2未満」では、76.1%と差がみられた。
世帯の状況別では、「毎日食べる」の割合は、「ひとり親世帯」では78.1%、「ふたり親世帯」で87.9%と差がみられた。

【全体(学年別)】



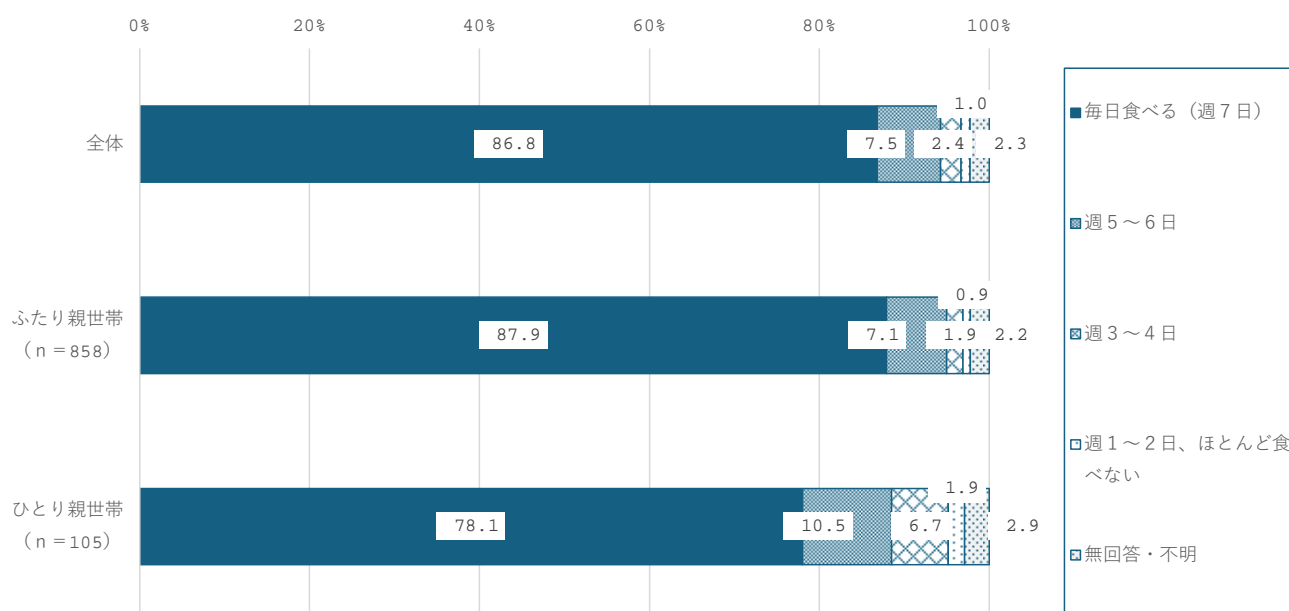
【等価世帯収入別】

食事頻度（夏期冬期休暇期間）（n = 872）



【世帯の状況別】

食事頻度（夏期冬期休暇期間）（n = 963）



(4) 就寝時間

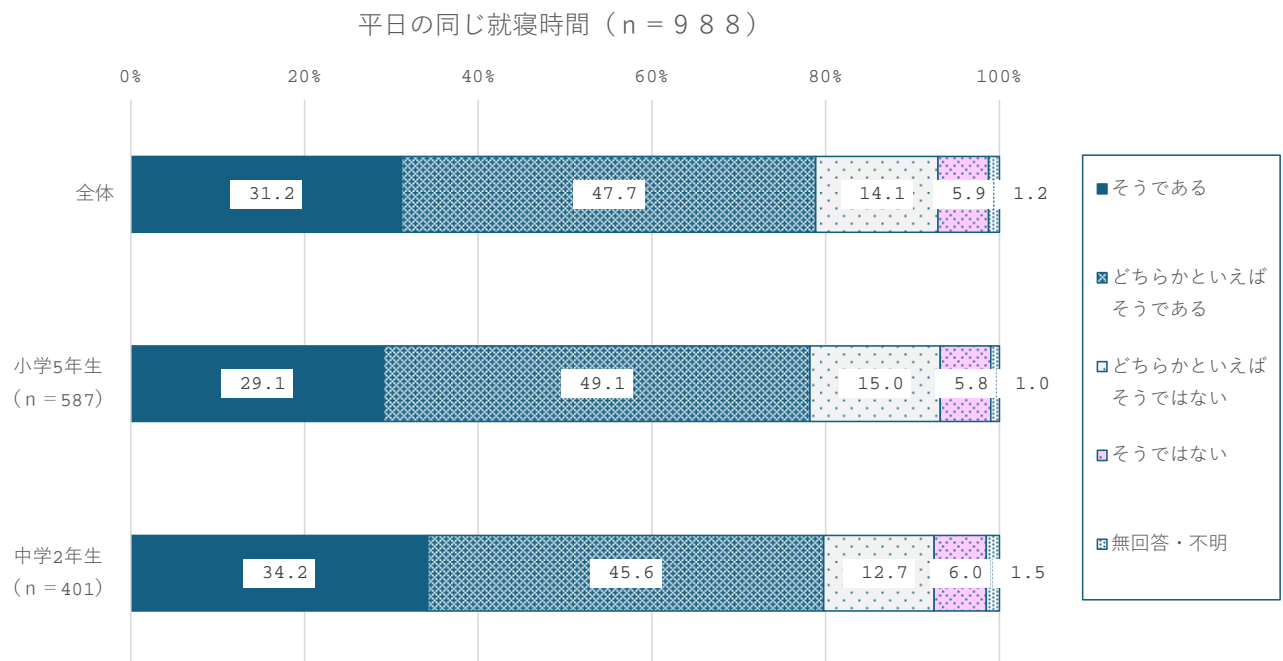
問 11 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるものの1つに○)

- 就寝時間については、全体では「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合は78.9%だった。

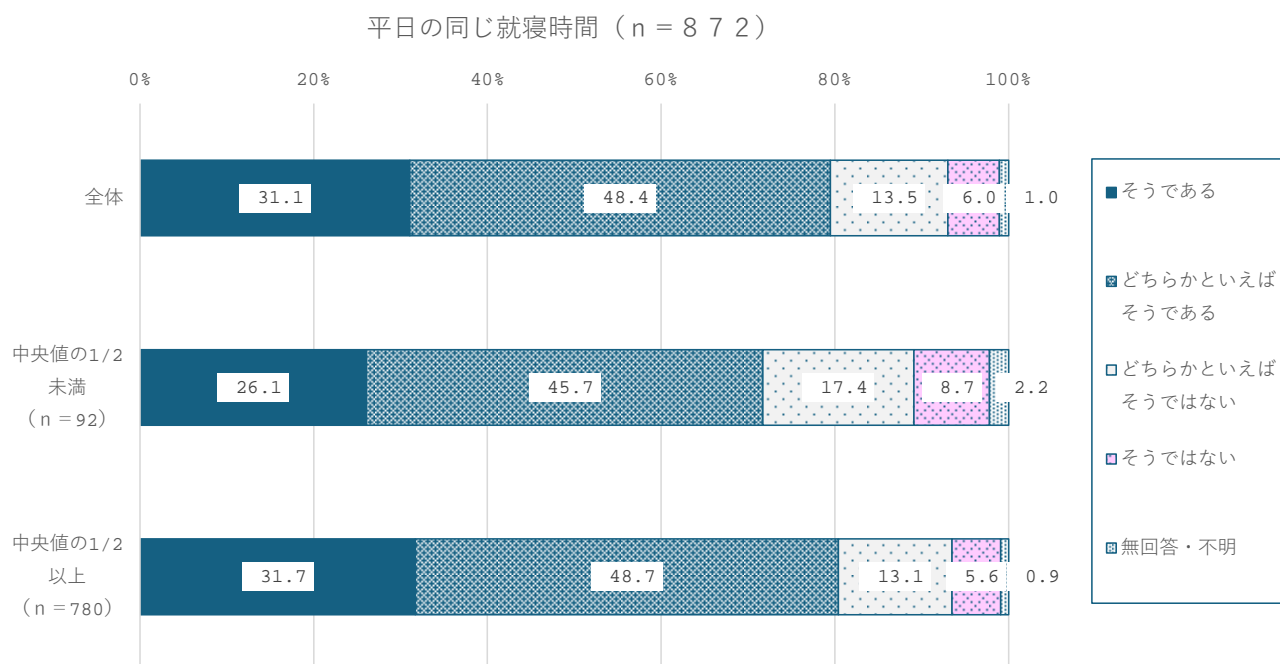
等価世帯収入別では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」をあわせた割合は「中央値の1/2以上」で71.8%、「中央値の1/2未満」では、80.4%と差がみられた。

世帯の状況別では、「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合は、「ひとり親世帯」で75.3%だった。

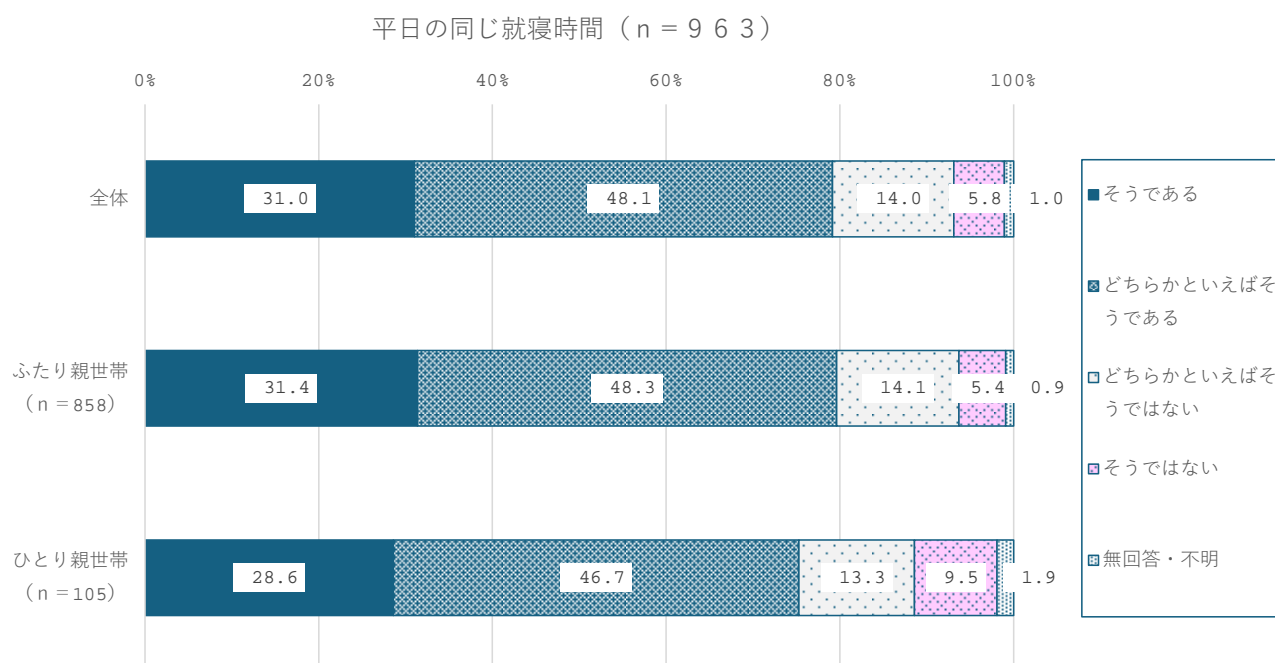
【全体（学年別）】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



(5) 相談できると思う相手

問12 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

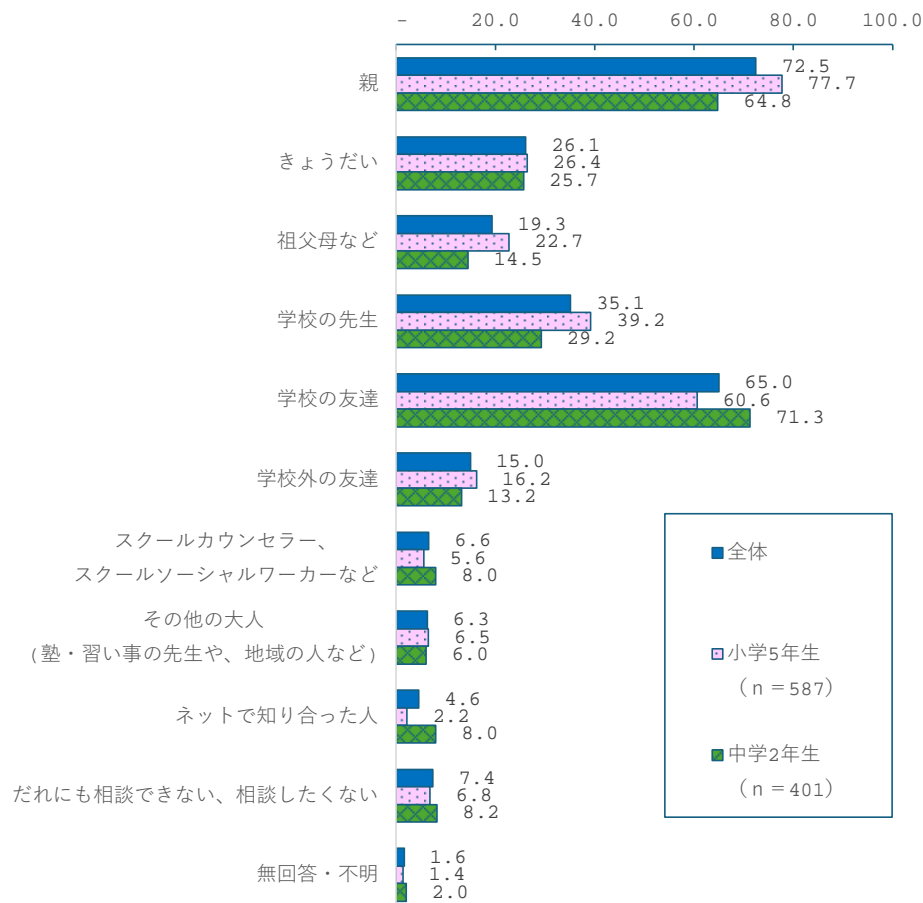
- 困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う相手について、全体では「親」が72.5%で最も高く、続いて「学校の友達」(65.0%)だった。小学5年生では「親」が77.7%と最も多く、続いて「学校の友達」(60.6%)だった。中学2年生では「学校の友達」が71.3%で最も高く、続いて「親」(64.8%)だった。小学生から中学生に成長する中で、相談相手が親から友達へと変化をしていると推定される。

等価世帯収入別では、「中央値の1/2未満」で「学校の先生」「学校外の友達」「その他の大人」「ネットで知り合った人」「だれにも相談できない、相談したくない」が「中央値の1/2以上」と比べ、多くなっていた。

世帯の状況別の「ひとり親世帯」では、「祖父母など」「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど」「その他の大人」「ネットで知り合った人」「誰にも相談できない、相談したくない」が「ふたり親世帯」よりも多い値となっている。

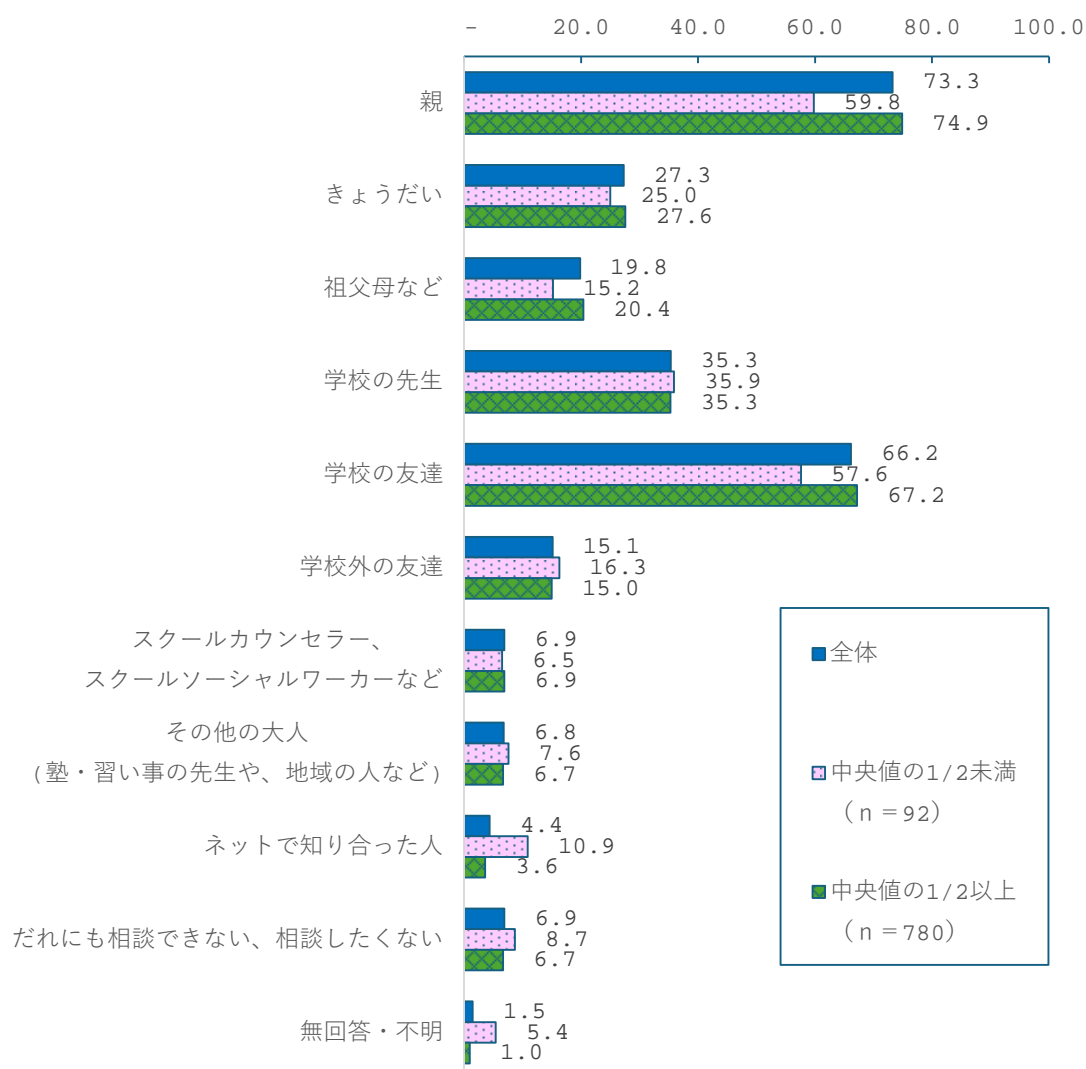
【全体(学年別)】

悩み事の相談先 (n = 988)



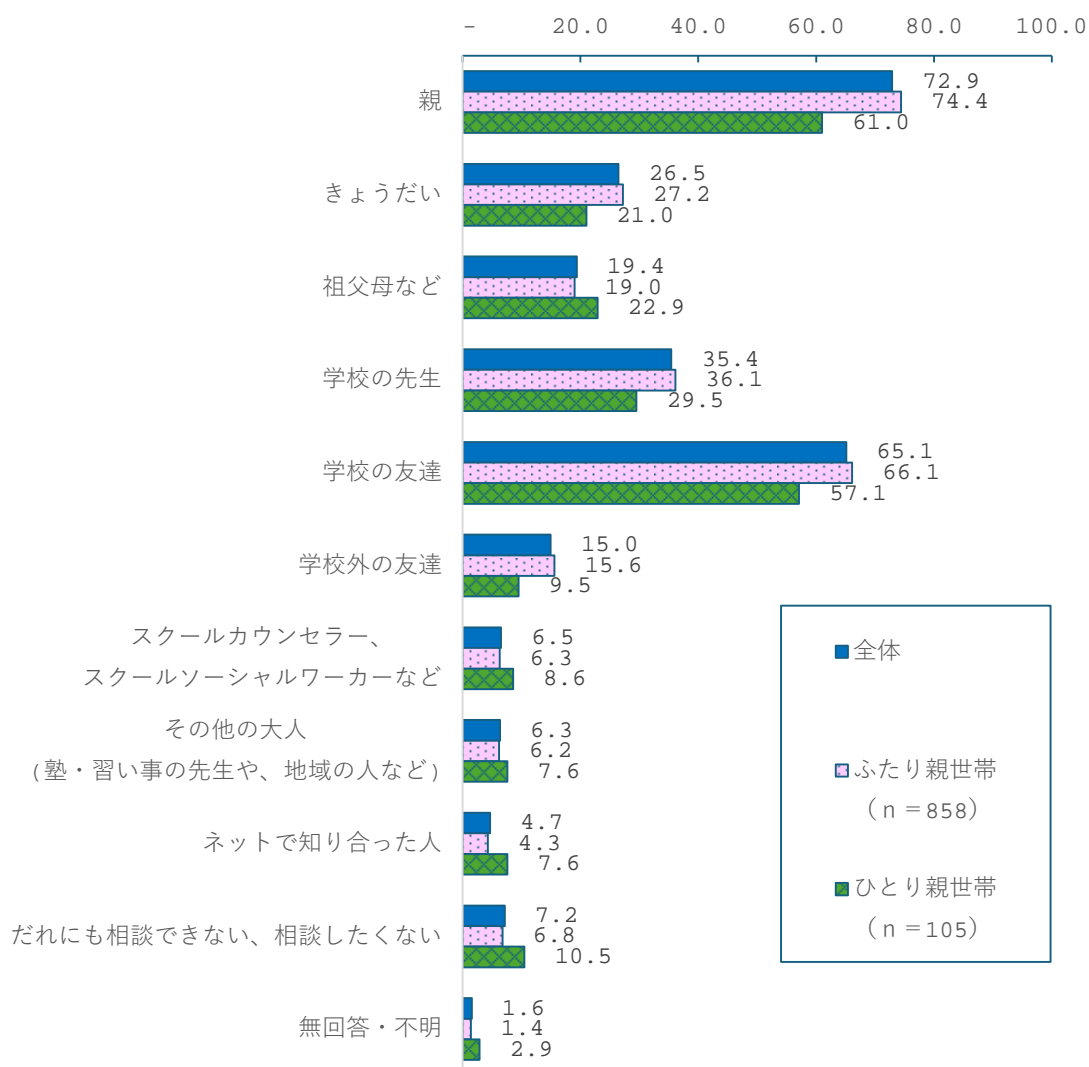
【等価世帯収入別】

悩み事の相談先（n = 872）



【世帯の状況別】

悩み事の相談先 (n = 963)

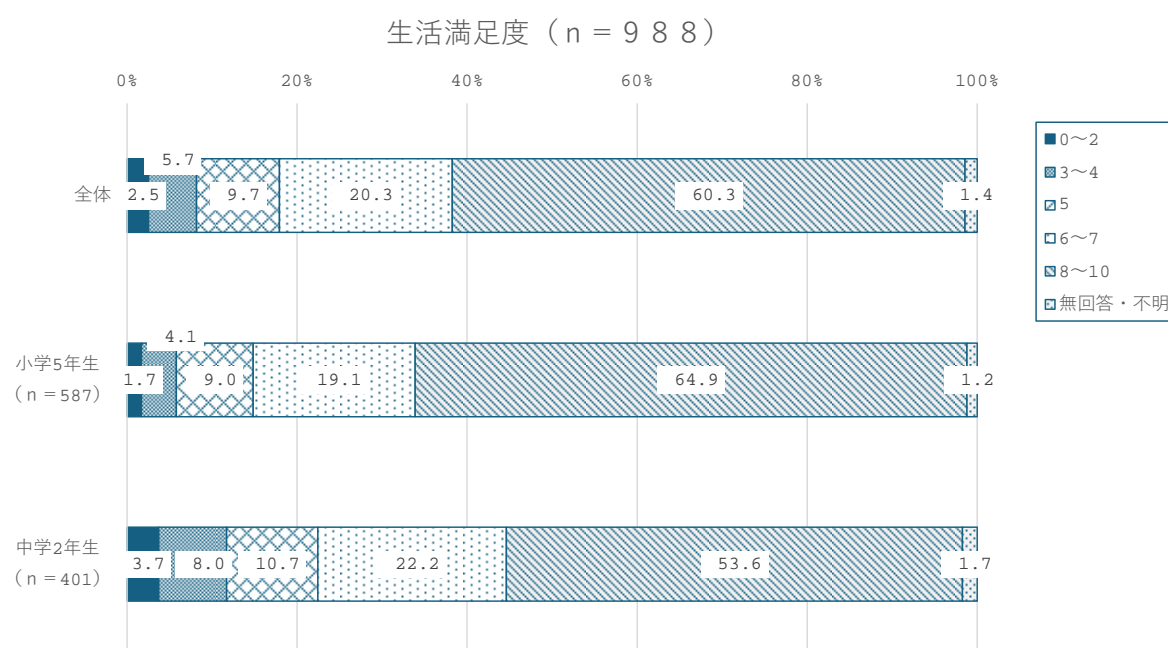


（6）生活満足度

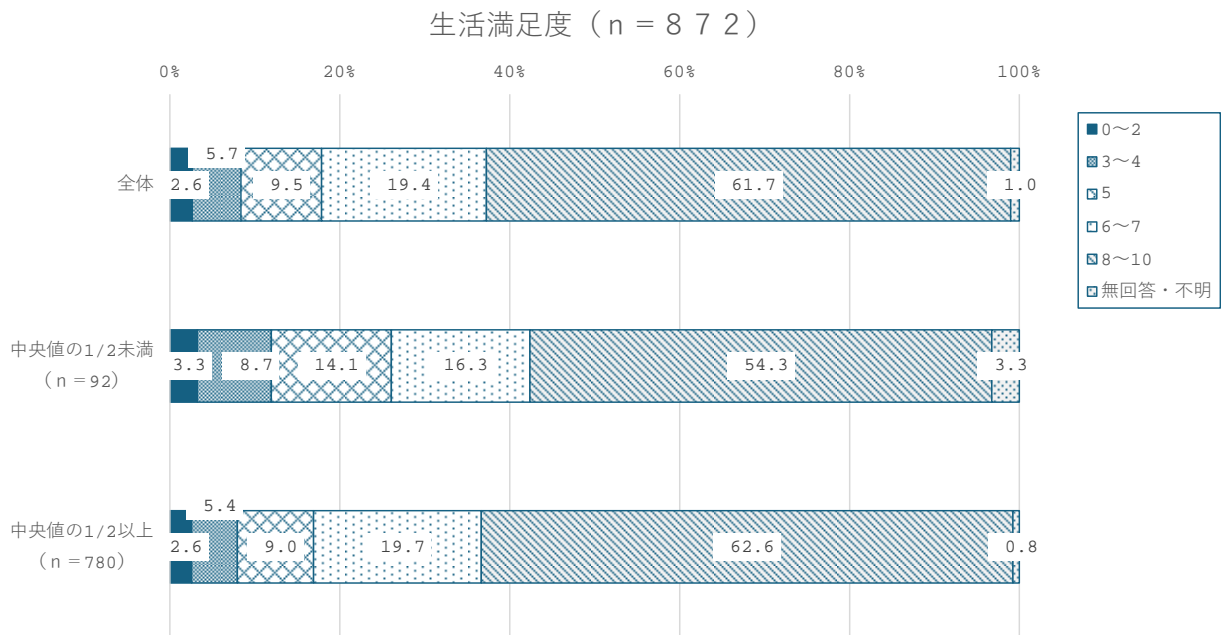
問13 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- 生活の満足度は全体で「8～10点」が60.3%と60%を超えて、最も多い割合となっていた。等価世帯収入別では、保護者の回答と同様に世帯収入が高い方が満足度も上がる結果となった。世帯の状況別では、「ふたり親世帯」で「8～10点」は61.2%となっており、「ひとり親世帯」では54.3%と「ふたり親世帯」の方が、割合が多い結果となった。

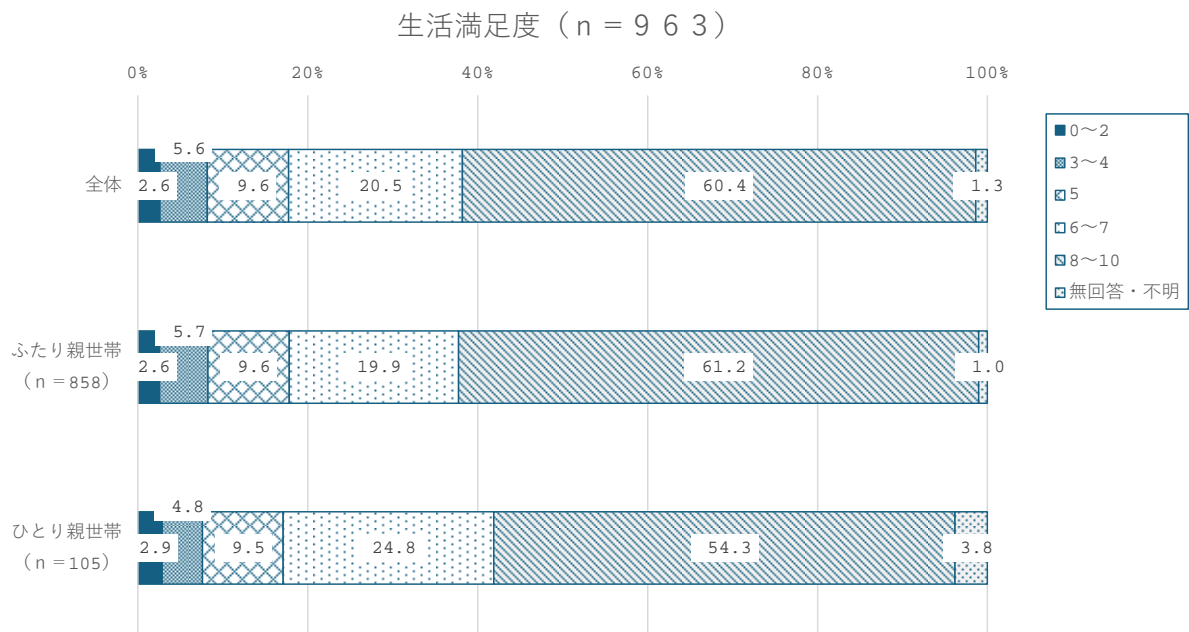
【全体（学年別）】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】

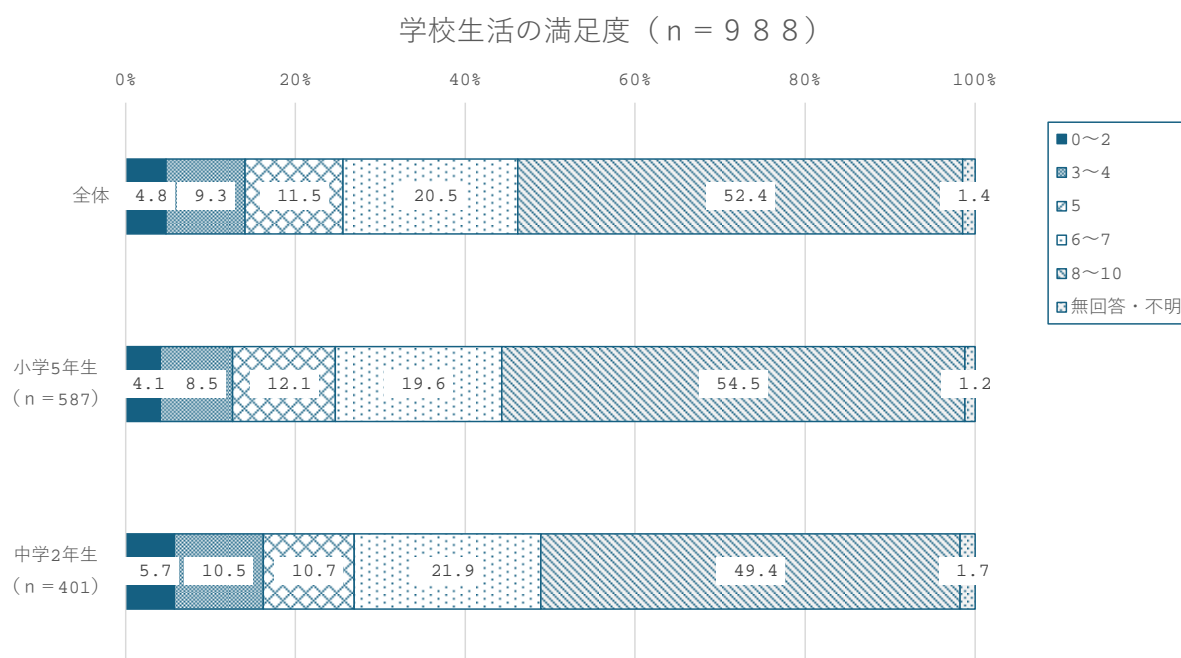


（7）学校生活の満足度

問13-1 あなたは最近の学校での生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

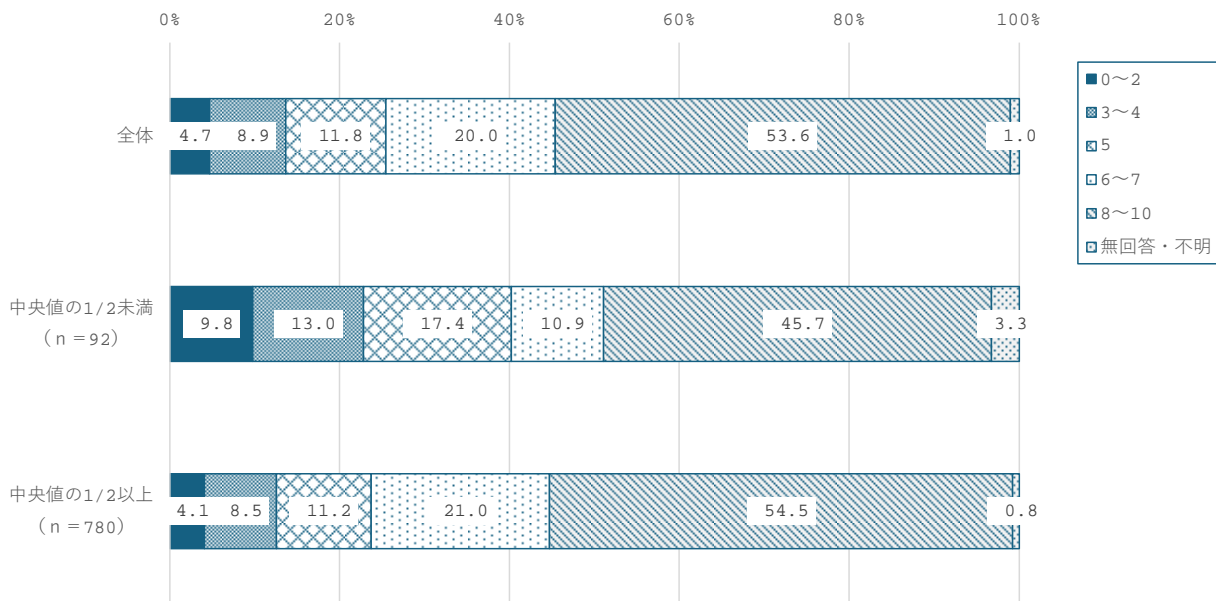
- 学校生活の満足度は全体で「8～10点」が52.4%と50%を超えて、最も多い割合となっていた。等価世帯収入別では、生活の満足度と同様に世帯収入が高い方が満足度も上がる結果となった。世帯の状況別では、「ふたり親世帯」で「8～10点」は54.2%となっており、「ひとり親世帯」では41.0%と「ひとり親世帯」の方が、低い結果となった。

【全体（学年別）】



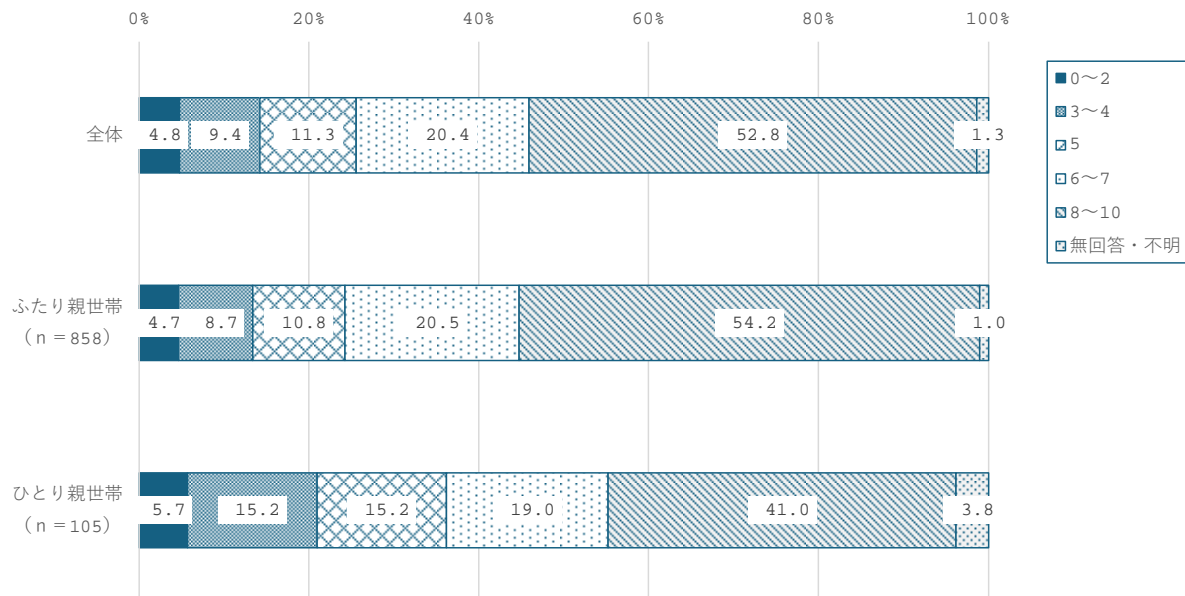
【等価世帯収入別】

学校生活の満足度 (n = 872)



【世帯の状況別】

学校生活の満足度 (n = 963)



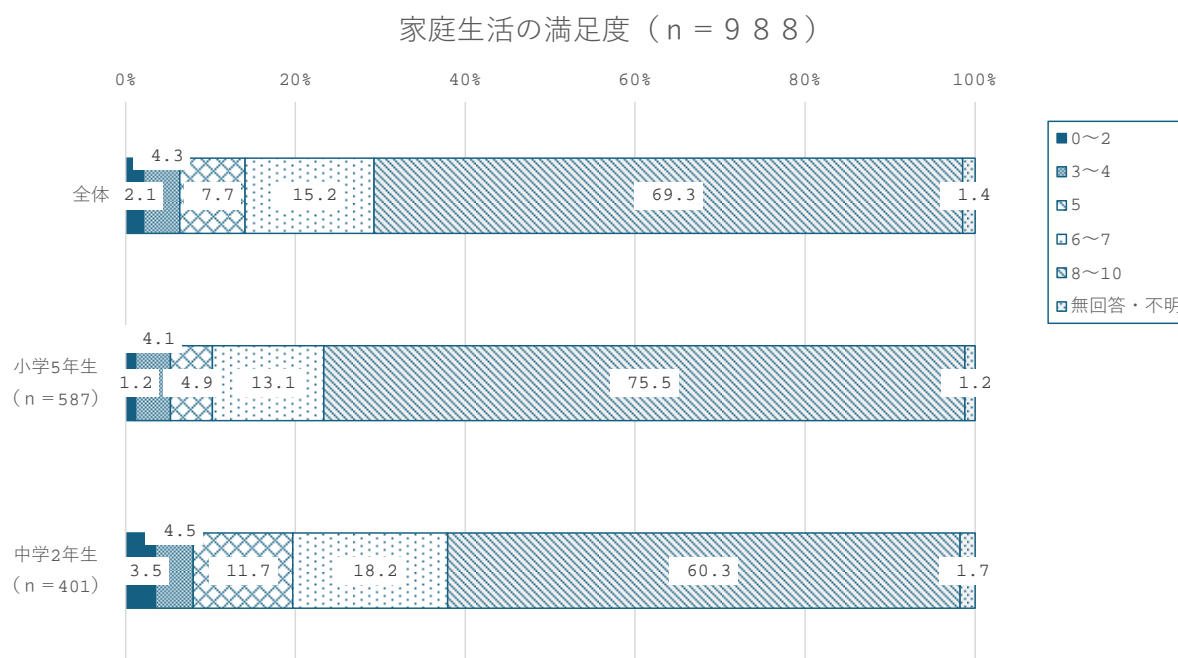
（８）家庭生活の満足度

問13-2 あなたは最近の家庭での生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- 家庭生活の満足度においては、全体で「8～10点」が69.3%であり、小学5年生では、「8～10点」が75.5%と、とても多い結果となった。

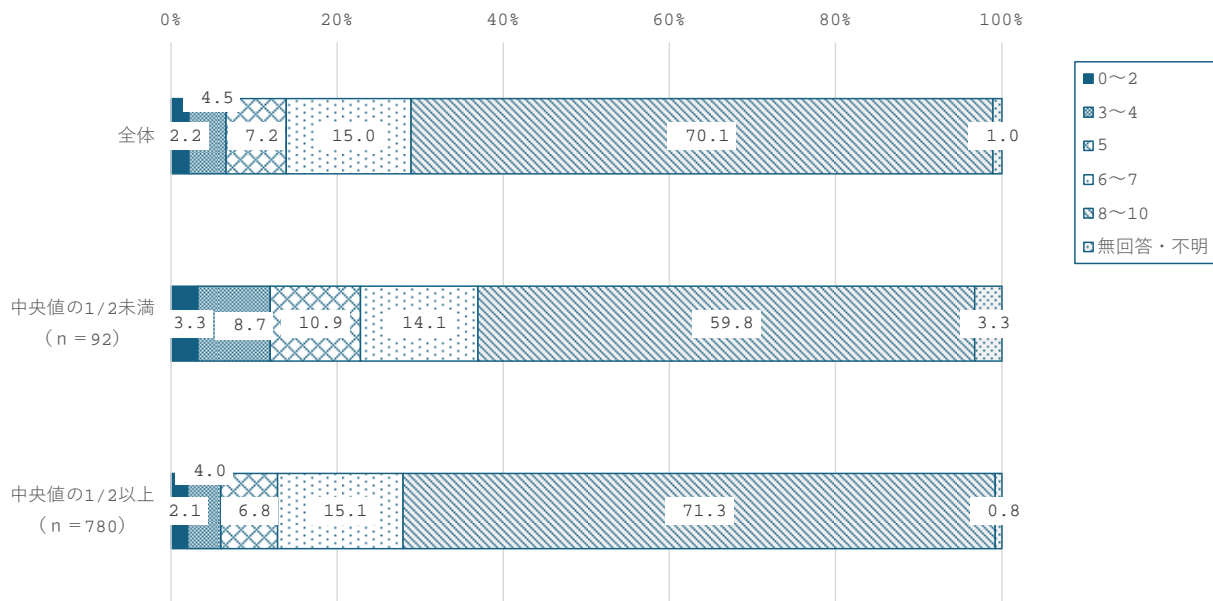
等価世帯収入別では、生活の満足度と同様に世帯収入が高い方が満足度も上がる結果となった。世帯の状況別の「ふたり親世帯」と「ひとり親世帯」のどちらにおいても、「6点以上」は80%以上と高い評価になった。

【全体（学年別）】



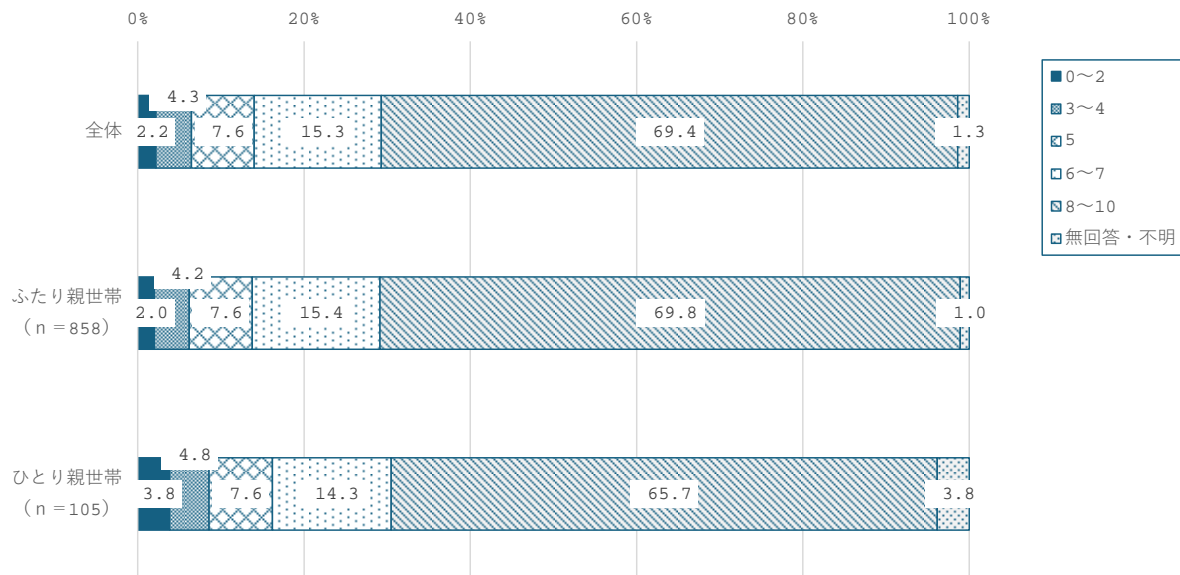
【等価世帯収入別】

家庭生活の満足度 (n = 872)



【世帯の状況別】

家庭生活の満足度 (n = 963)



（９）家族のことでの困りごとや悩みごと

問15 あなたは家族のことですべて困っていることや悩みごとがありますか。

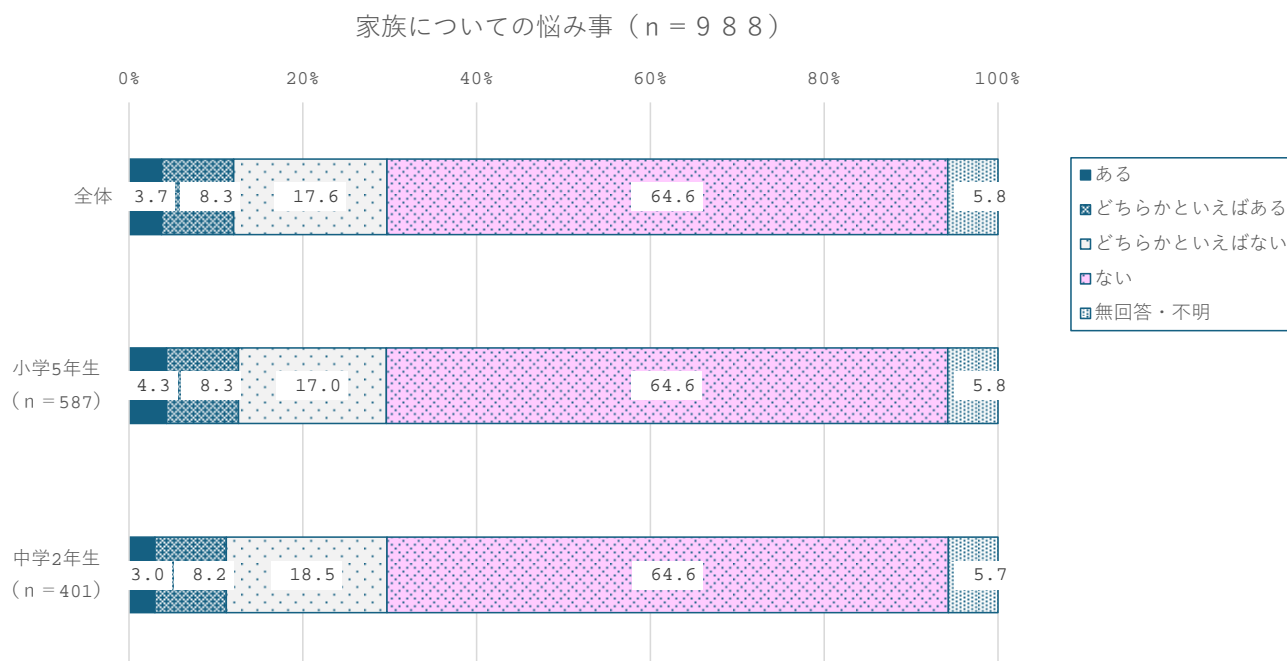
（あてはまるもの1つに○）

- 家族のことでの困りごとや悩みごとは、全体では、「ある」と「どちらかといえばある」を合わせて、12.0%だった。

等価世帯収入別では、「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた割合は「中央値の1/2未満」で14.1%、「中央値の1/2以上」で11.8%となった。

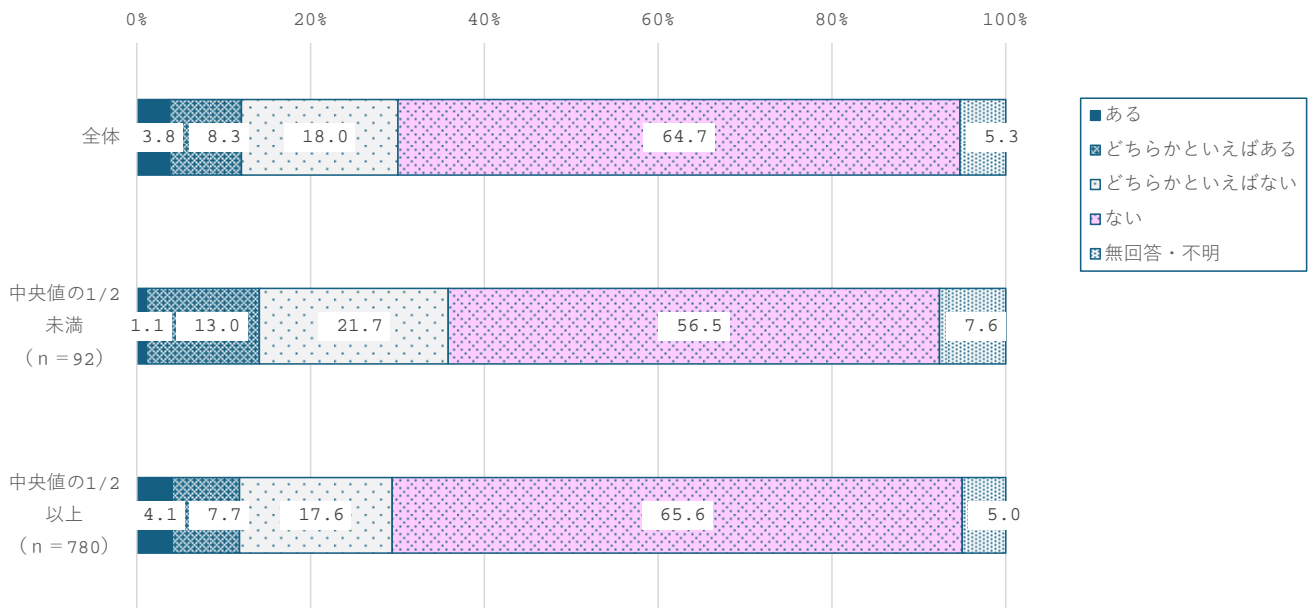
世帯の状況別では、「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた割合は「ひとり親世帯」で13.4%、「ふたり親世帯」で12.0%と「ひとり親世帯」が若干多い結果となった。

【全体（学年別）】



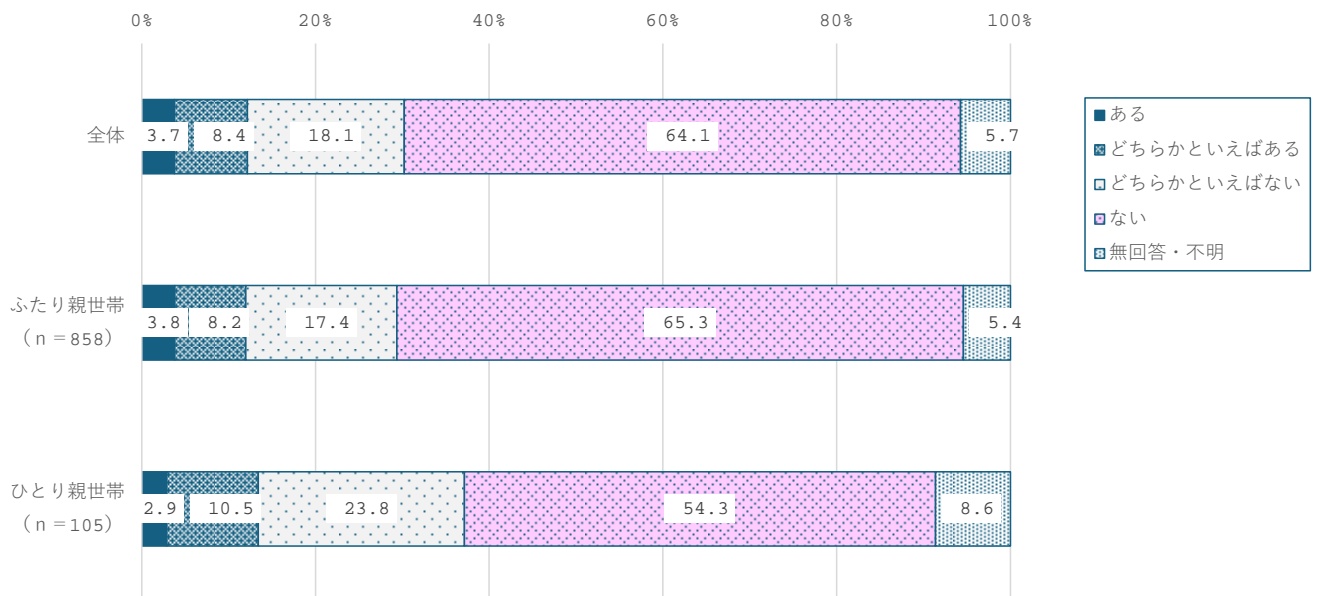
【等価世帯収入別】

家族についての悩み事 (n = 872)



【世帯の状況別】

家族についての悩み事 (n = 963)



5. 子どもの心理的な状況

「子供の心理的な状態」に関しては、内閣府の「令和3年 子供の生活状況調査の分析報告書」で行われた「強さと困難さアンケート（SDQ：Strengths and Difficulties Questionnaire）」の調査項目同様に、「情緒（不安や抑うつなど）」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための調査項目を設定し、調査を行っている。

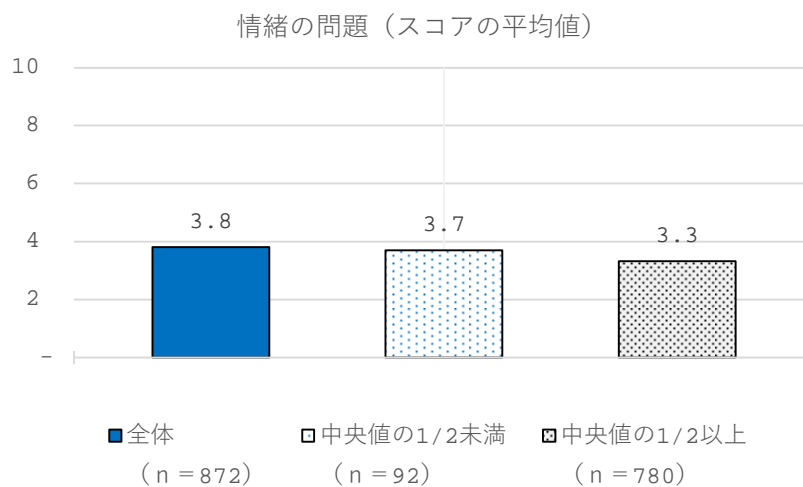
（1）情緒の問題

問14 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。（a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

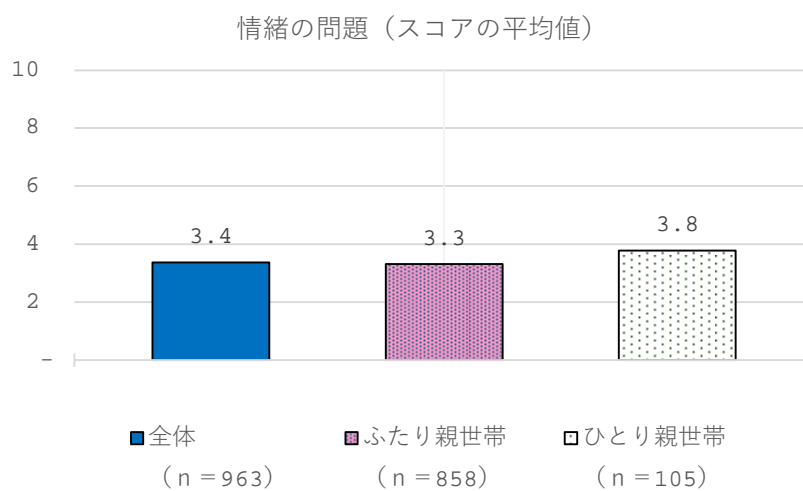
- b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

- 「情緒の問題」に関しては、5つの調査項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した。（「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点とした計10点満点。得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。
- 等価世帯収入別でみると、「情緒の問題」の平均値は、全体で3.8、「中央値の1/2未満」では3.7、「中央値の1/2以上」では3.3となっている。
世帯の状況別にみると、全体では3.4、「ふたり親世帯」で3.3、「ひとり親世帯」で3.8となっている。

【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



（2）仲間関係の問題

問14 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。（a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

i) 私は、同じぐらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。

l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。

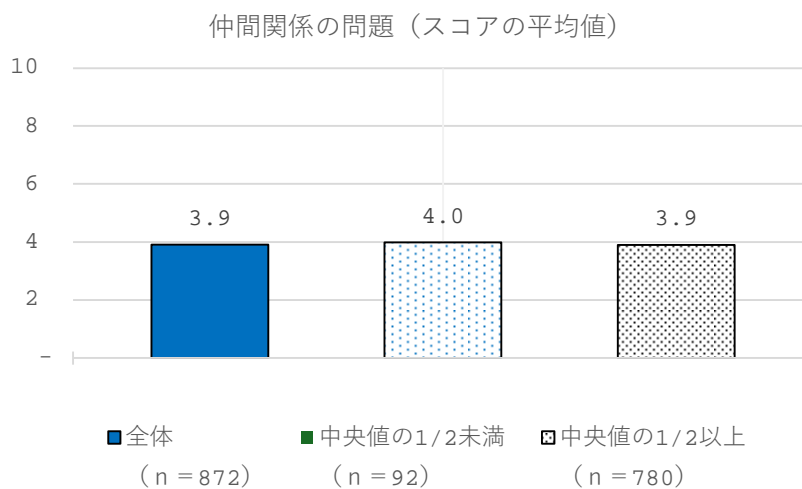
n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。

- 「仲間関係の問題」に関して、5つの調査項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した。（「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点とした計10点満点。得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

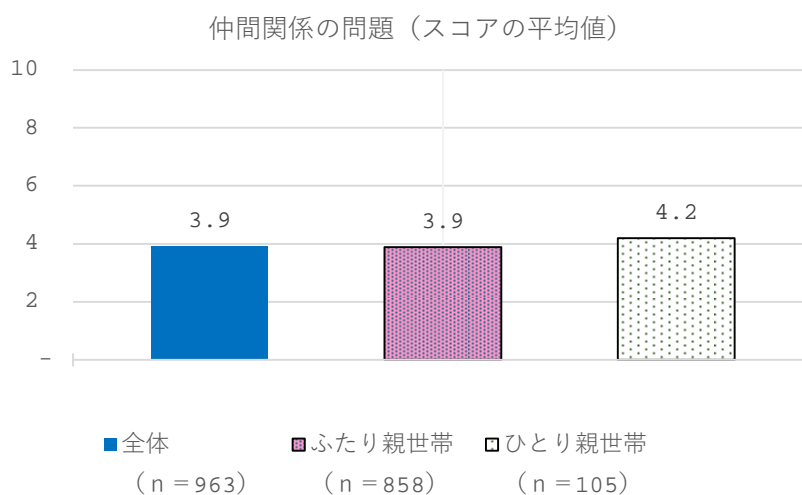
※「g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。」と「i. 私は、同じぐらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。」の項目は、逆転項目として点数を設定している。（「あてはまらない」を2点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を0点としている。）

- 等価世帯収入別において、「仲間関係の問題」の平均値は、全体で3.9、「中央値の1/2未満」では4.0、「中央値の1/2以上」では3.9となっている。
世帯の状況別にみると、全体では3.9、「ふたり親世帯」で3.9、「ひとり親世帯」で4.2となっている。

【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



（3）向社会性

問14 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。（a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。

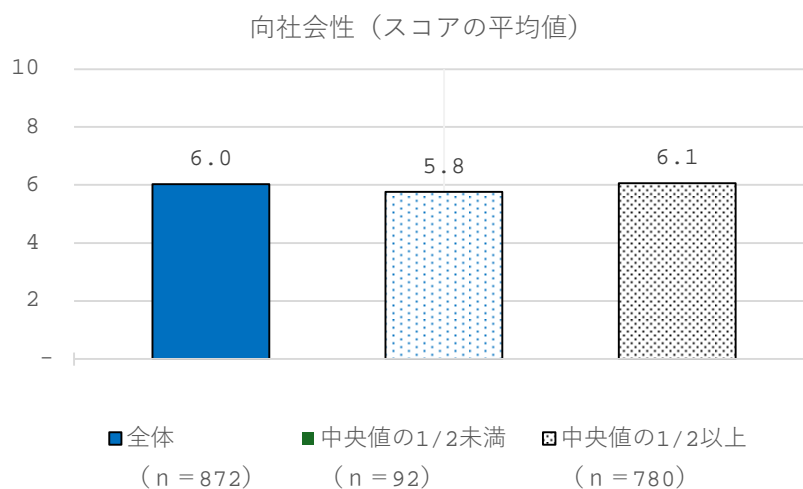
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

k) 私は、年下の子どもに対してやさしくしている。

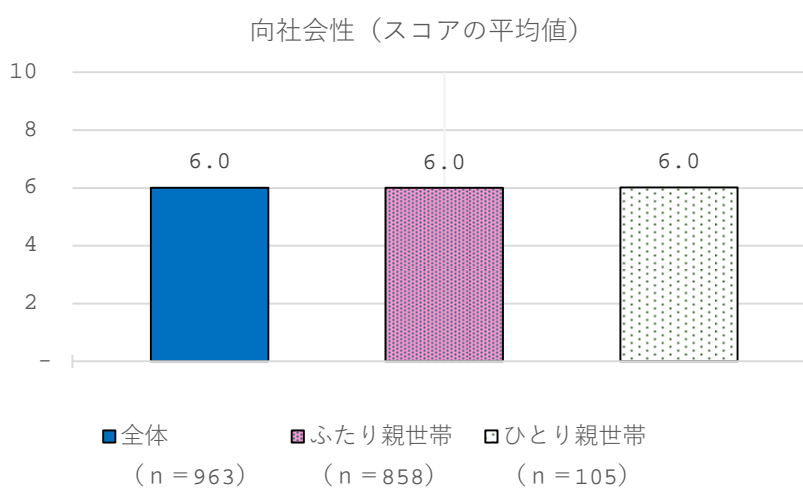
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子どもたちなど）。

- 「向社会性」に関しても、5つの調査項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した。（「あてはまらない」を0点、「まああてはまる」を1点、「あてはまる」を2点とした計10点満点。得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。
- 等価世帯収入別では、「向社会性」の平均値は、全体で6.0、「中央値の1/2未満」では5.8、「中央値の1/2以上」では6.1となっている。
世帯の状況別にみると、全体では6.0、「ふたり親世帯」で6.0、「ひとり親世帯」でも6.0となっている。

【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



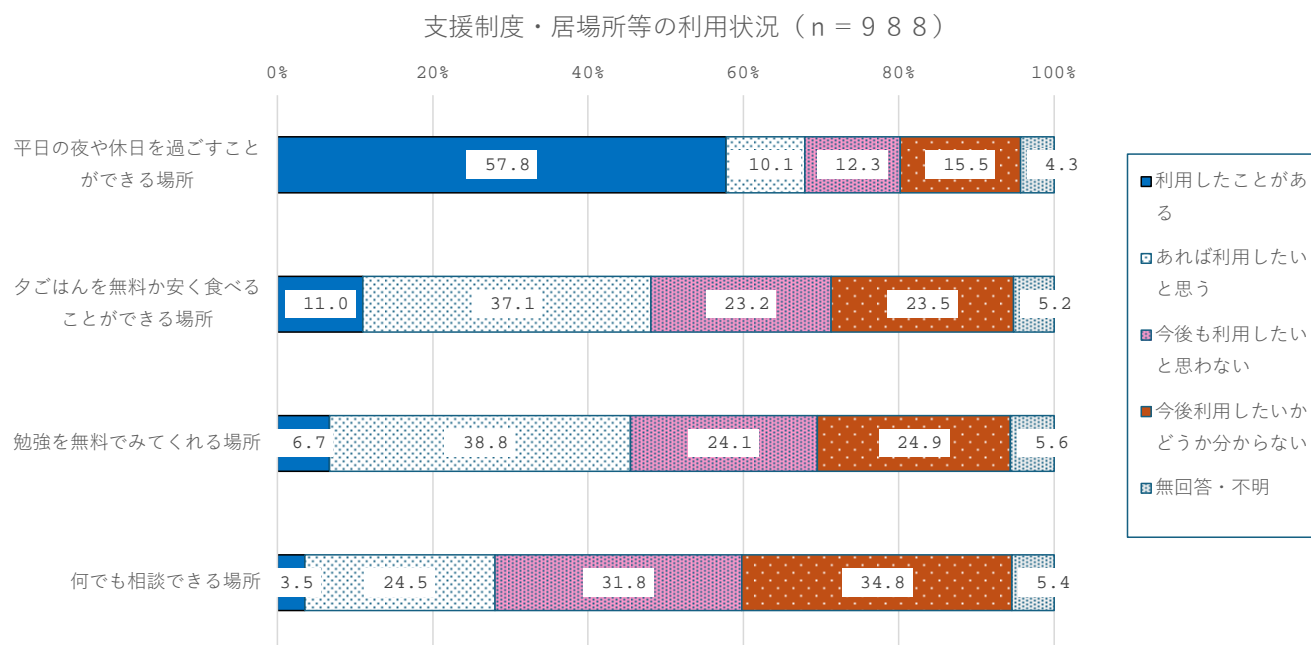
6. 支援制度の利用状況

（1）子どもの支援制度・居場所の利用状況

問16 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

- 子どもの支援制度や居場所の利用状況について、「利用したことがある」の割合は「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」が57.8%、「夕ごはんを無料で安く食べることができる場所」が11.0%、「勉強を無料でみてくれる場所」が6.7%、「何でも相談できる場所」が3.5%だった。また、「あれば利用したいと思う」を加えると、25%以上（4人に1人が利用したい）という結果となった。



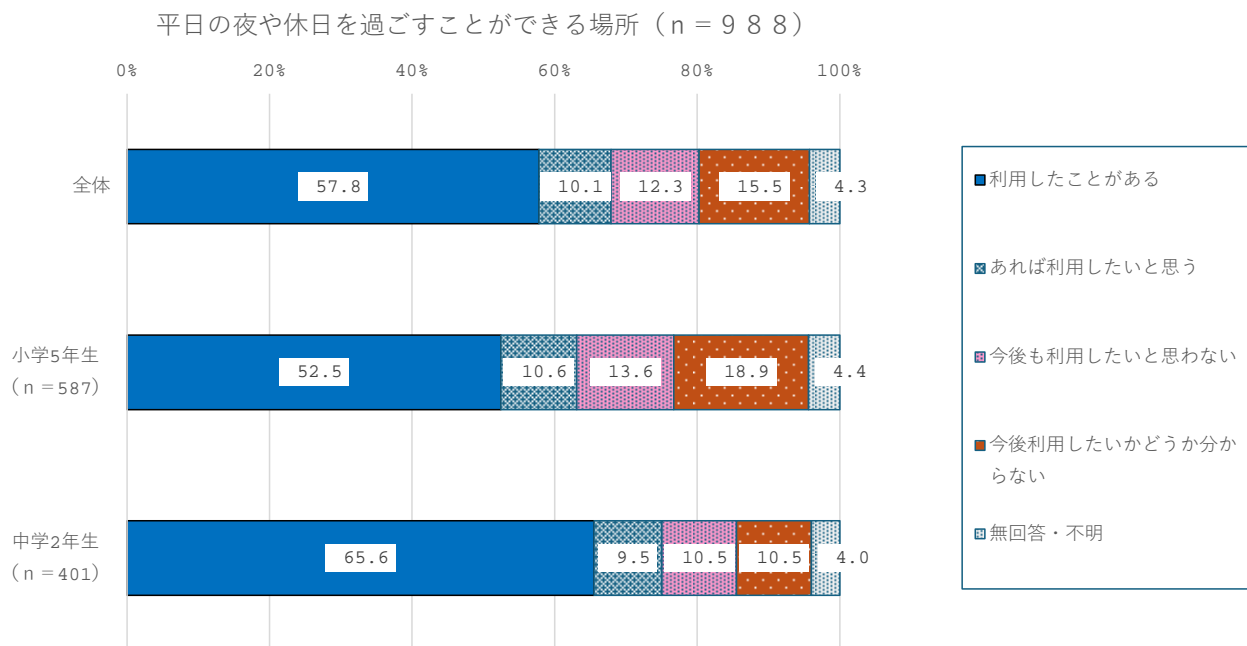
問16 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

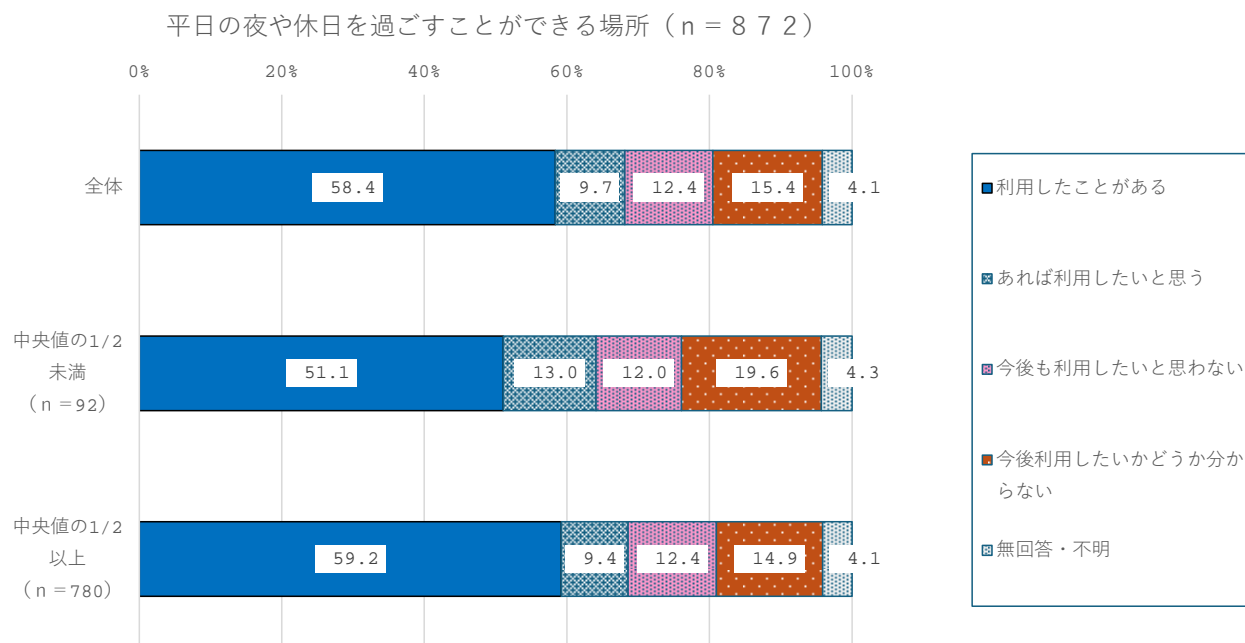
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所(塾・習い事、地域のスポーツクラブや文化クラブ、放課後児童クラブ(学童保育)や放課後等デイサービス、放課後子ども教室、児童館など)

- 平日の夜や休日を過ごすことができる場所については、全体で「利用したことがある」が57.8%と半数以上が利用したことがあるという結果となった。
等価世帯収入別では、世帯収入が高い方が「利用したことがある」の割合が多い結果となった。
世帯の状況別では、「ふたり親世帯」が58.2%と、「ひとり親世帯」(54.3%)よりも多い割合となった。

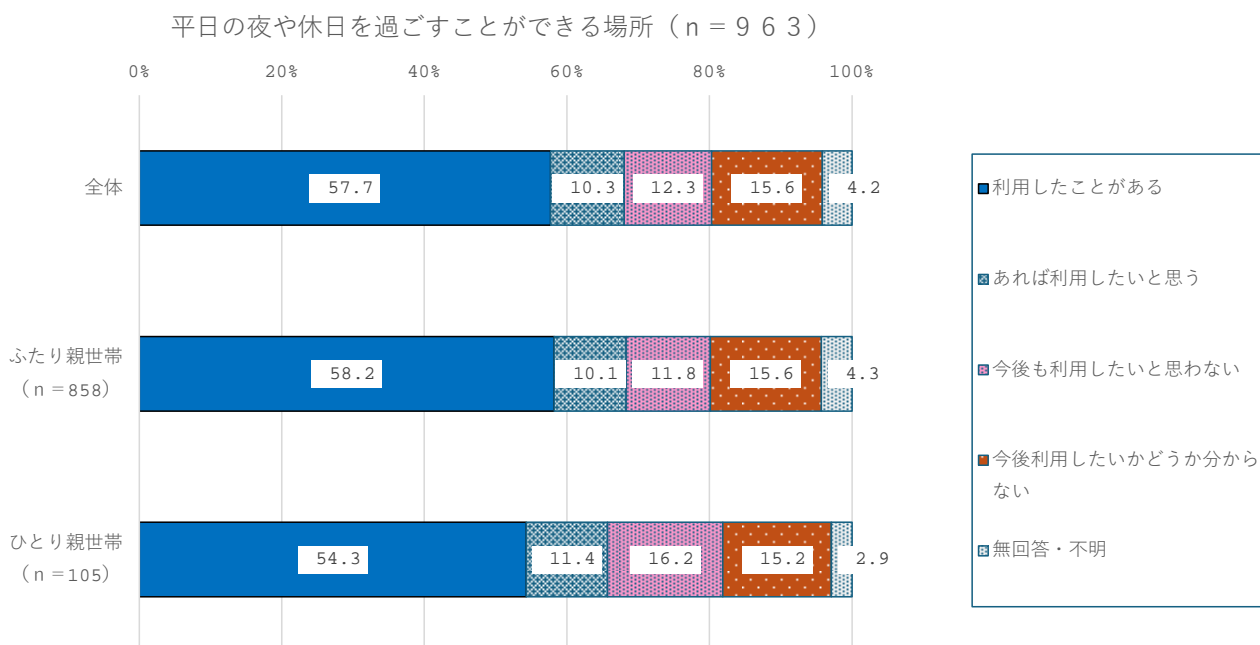
【全体(学年別)】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



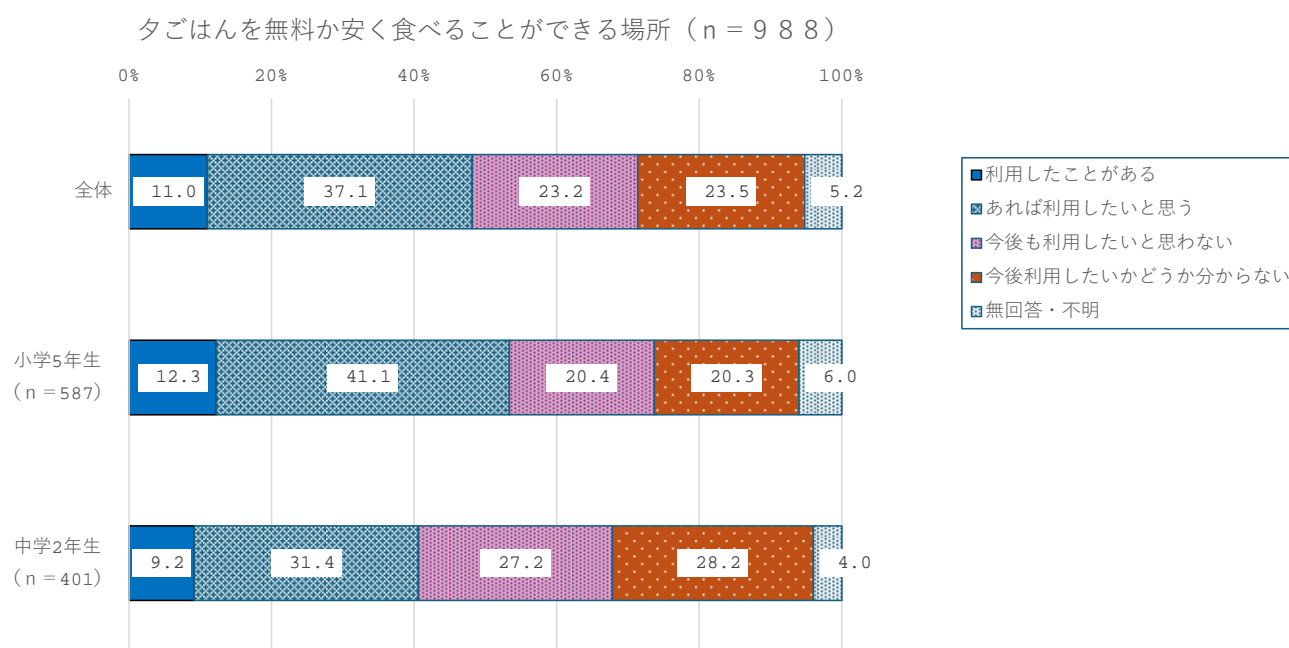
問16 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

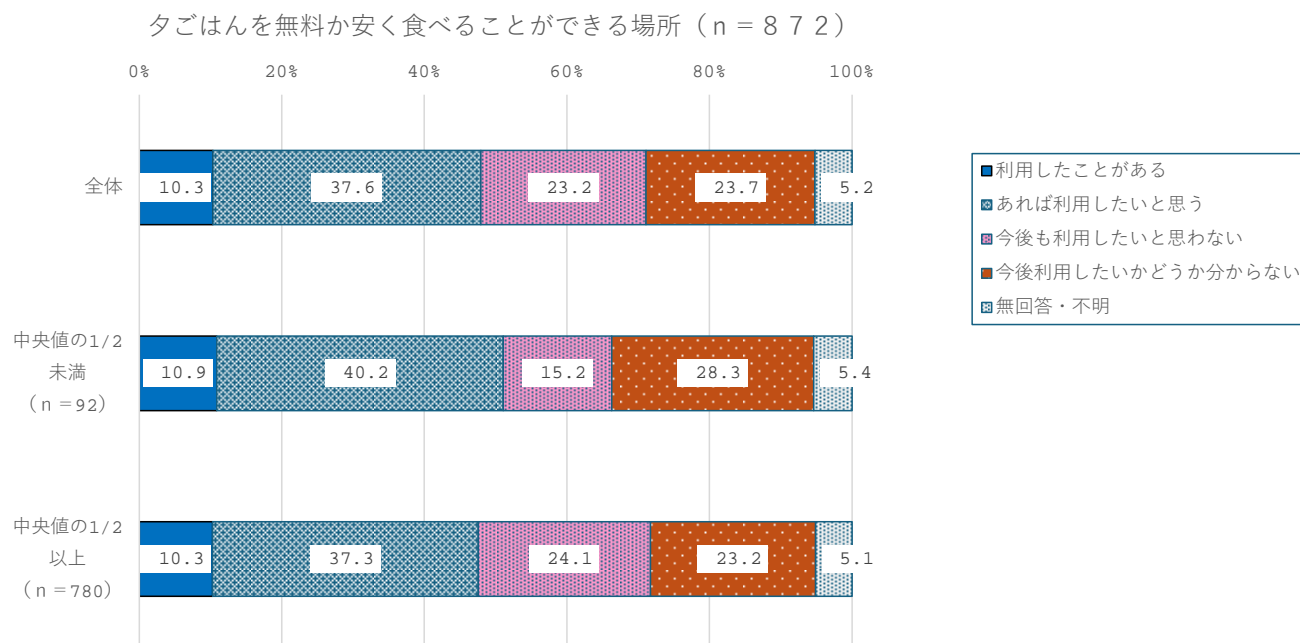
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (こども食堂など)

- タごはんを無料か安く食べることができる場所については、全体で「利用したことがある」が11.0%という結果となった。
等価世帯収入別では、「中央値の1/2未満」と「中央値の1/2以上」で「利用したことがある」はほぼ同じ割合だった。
世帯の状況別では、「ふたり親世帯」と「ひとり親世帯」で「利用したことがある」はほぼ同じ割合となった。

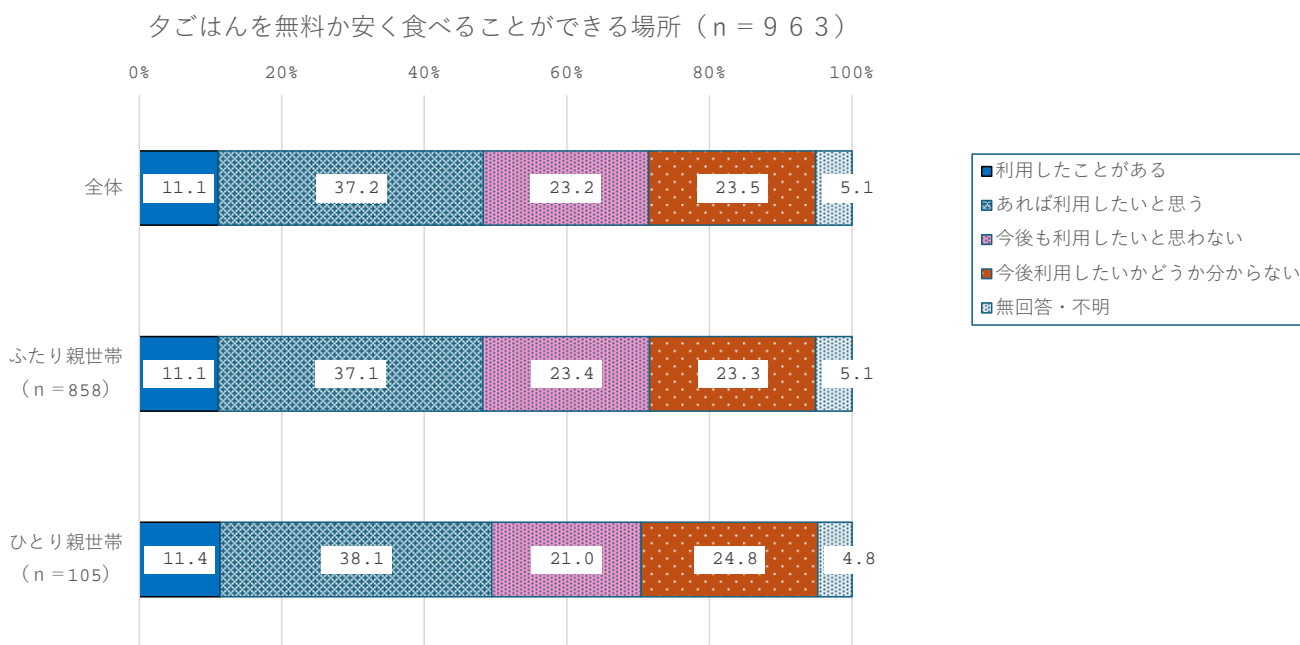
【全体 (学年別)】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



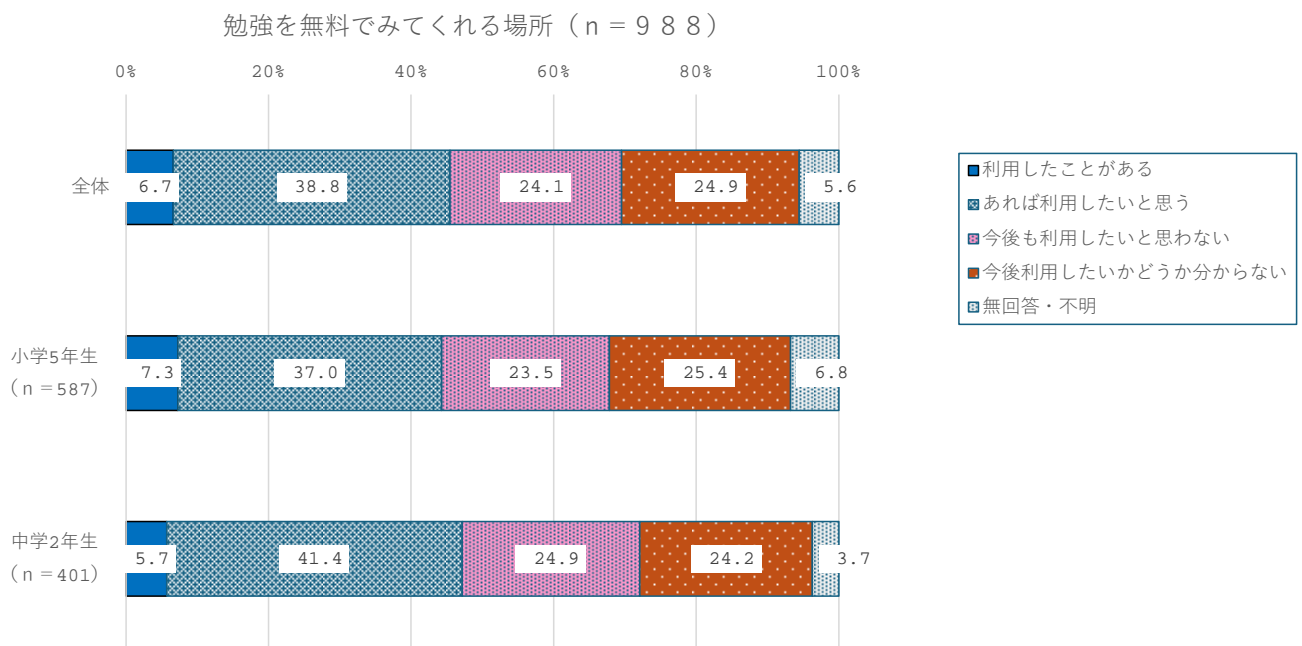
問16 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

c) 勉強を無料でみてくれる場所

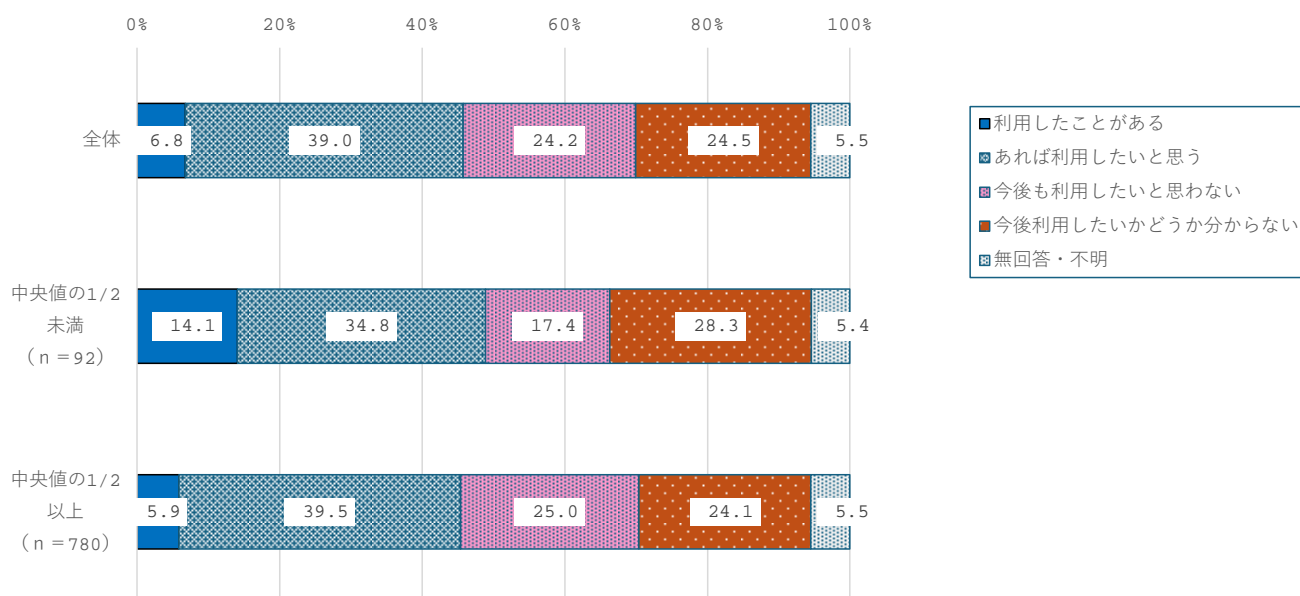
- 勉強を無料でみてくれる場所については、全体で「利用したことがある」は6.7%となった。「あれば利用したいと思う」に関しては、38.8%と多い結果となった。

【全体（学年別）】



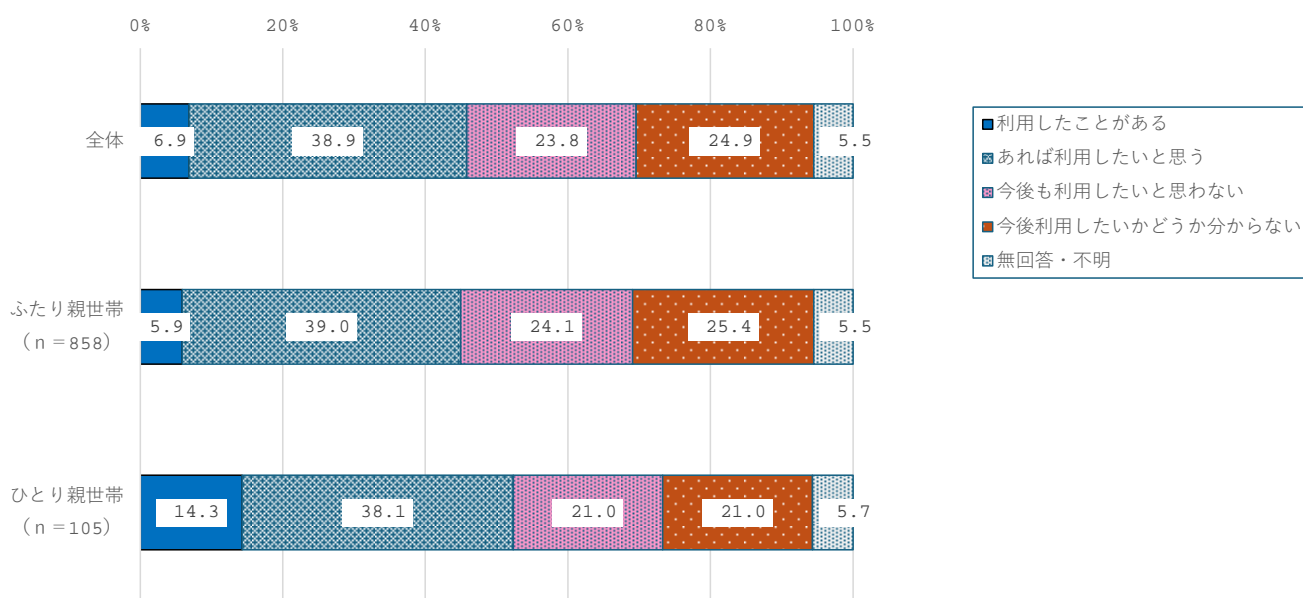
【等価世帯収入別】

勉強を無料でみてる場所（n = 872）



【世帯の状況別】

勉強を無料でみてる場所（n = 963）



問16 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

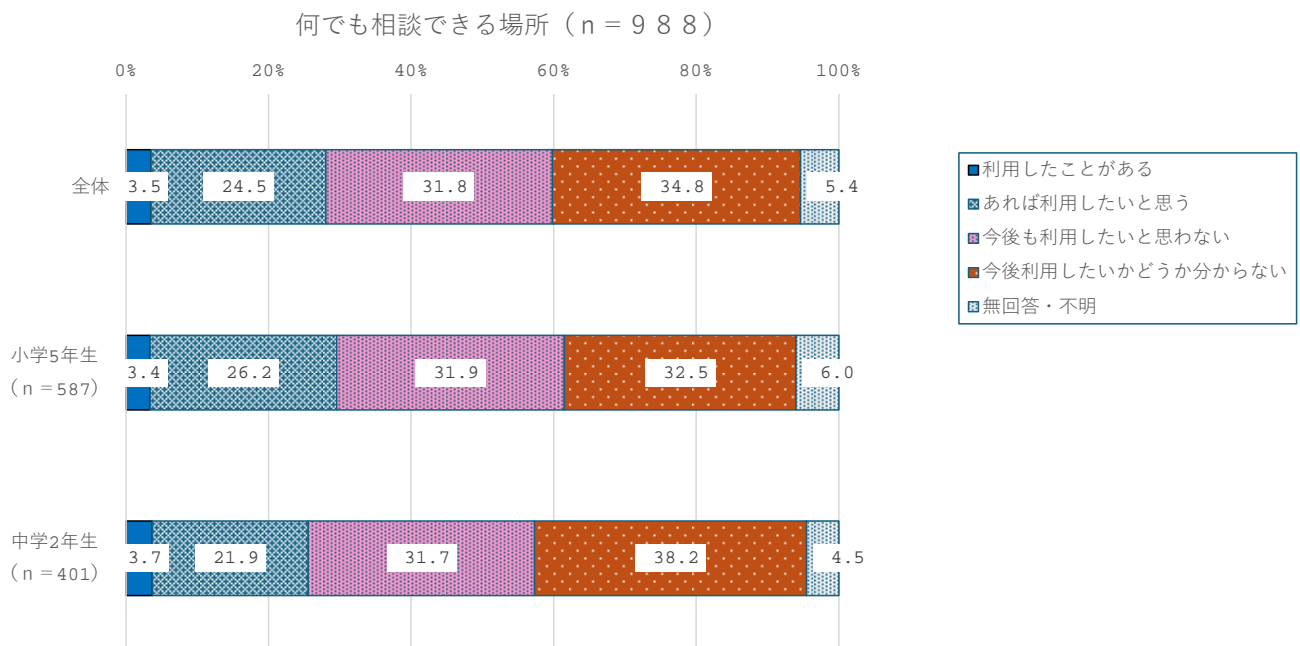
d) (家や学校以外で) なんでも相談できる場所 (電話やネットの相談も含む)

- 何でも相談できる場所は、全体では、「利用したことがある」は3.5%で、「あれば利用したいと思う」が24.5%だった。

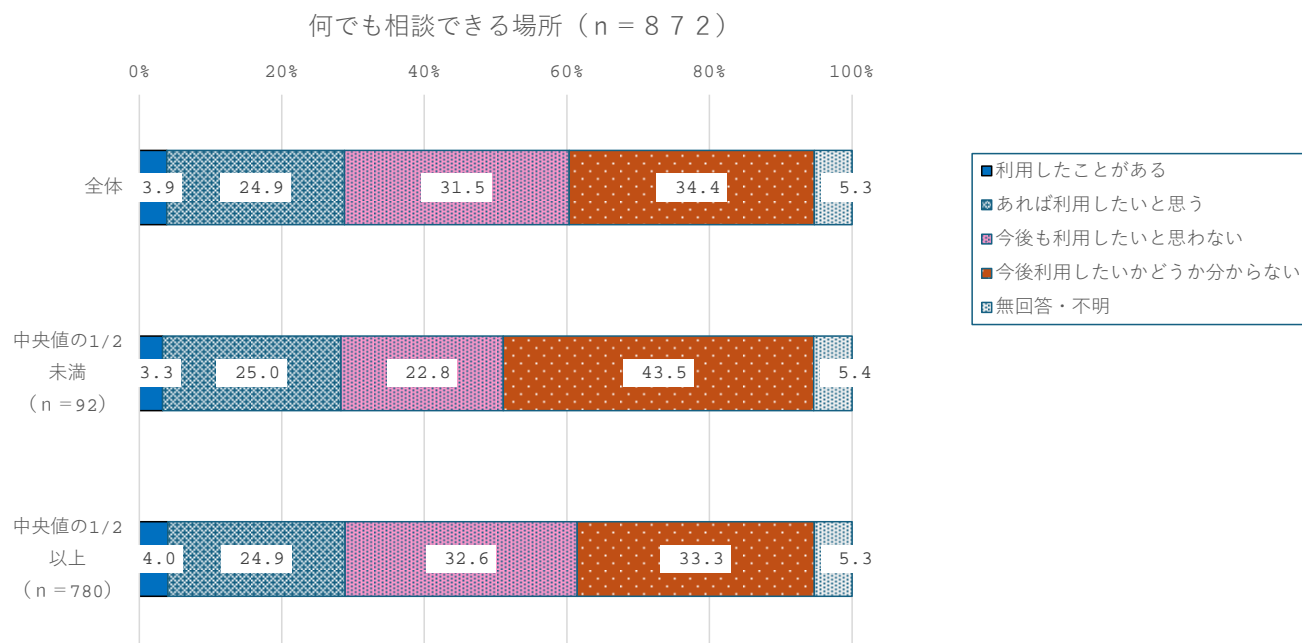
等価世帯収入別では、「利用したことがある」の割合は「中央値の1/2未満」で3.3%、「中央値の1/2以上」で4.0%だった。

世帯の状況別では、「ふたり親世帯」で3.3%、「ひとり親世帯」で6.7%となった。

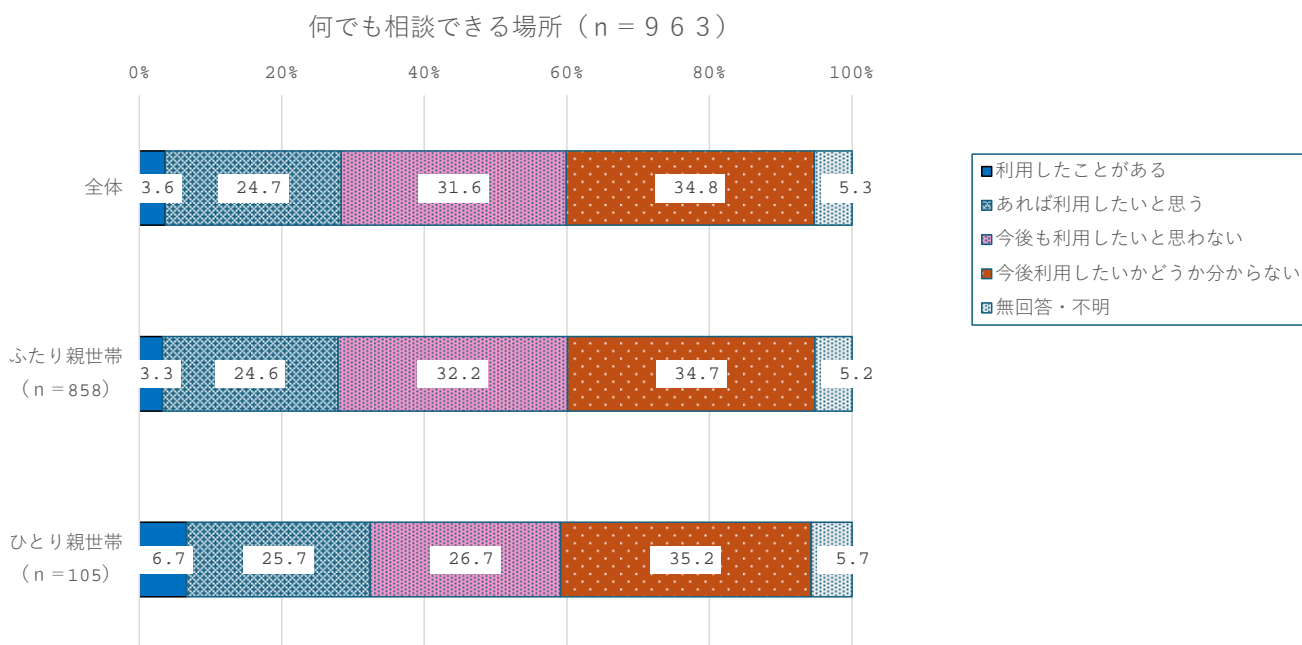
【全体 (学年別)】



【等価世帯収入別】



【世帯の状況別】



(2) 子どもの支援制度・居場所を利用したことによる変化

問17 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」を答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 支援制度や居場所を利用したことによる変化は、「友だちが増えた」が47.9%で最も多く、続いて「生活の中で楽しいことが増えた」(35.5%)、「勉強する時間が増えた」(29.4%)、「気軽に話せる大人が増えた」(28.4%)、「勉強がわかるようになった」(24.3%)の順となっていた。

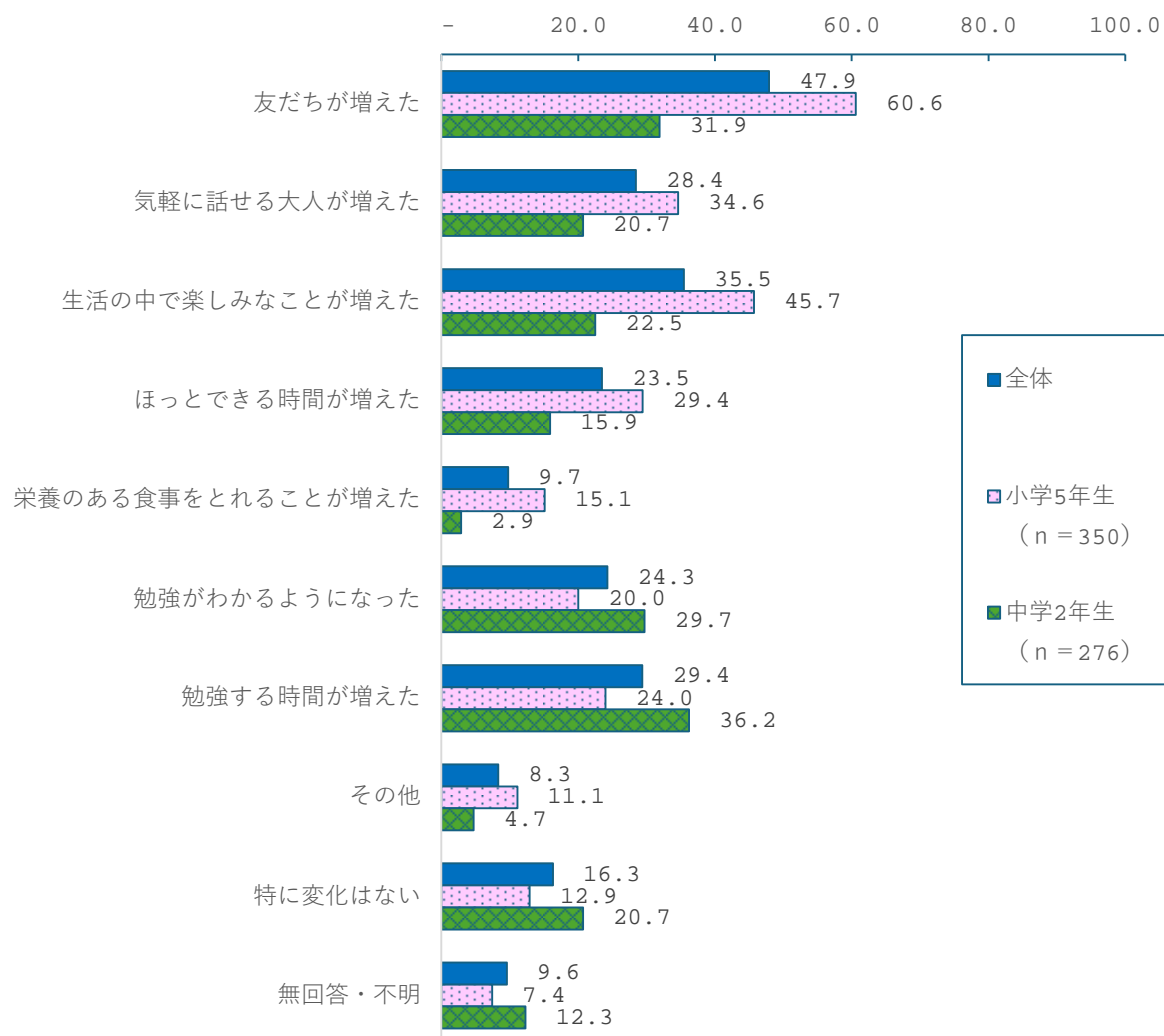
「勉強する時間が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」の効果が見受けられることから、支援制度や居場所を活用することで、勉強時間の増加や勉強の理解を深める場の提供に繋げることができる可能性があると考えられる。

等価世帯収入別では、「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しいことが増えた」、「勉強がわかるようになった」の項目で「中央値の1/2未満」の割合が「中央値の1/2以上」よりも多い結果となった。

世帯の状況別では、「友達が増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間が増えた」の項目で「ひとり親世帯」の割合が「ふたり親世帯」よりも多い結果となった。

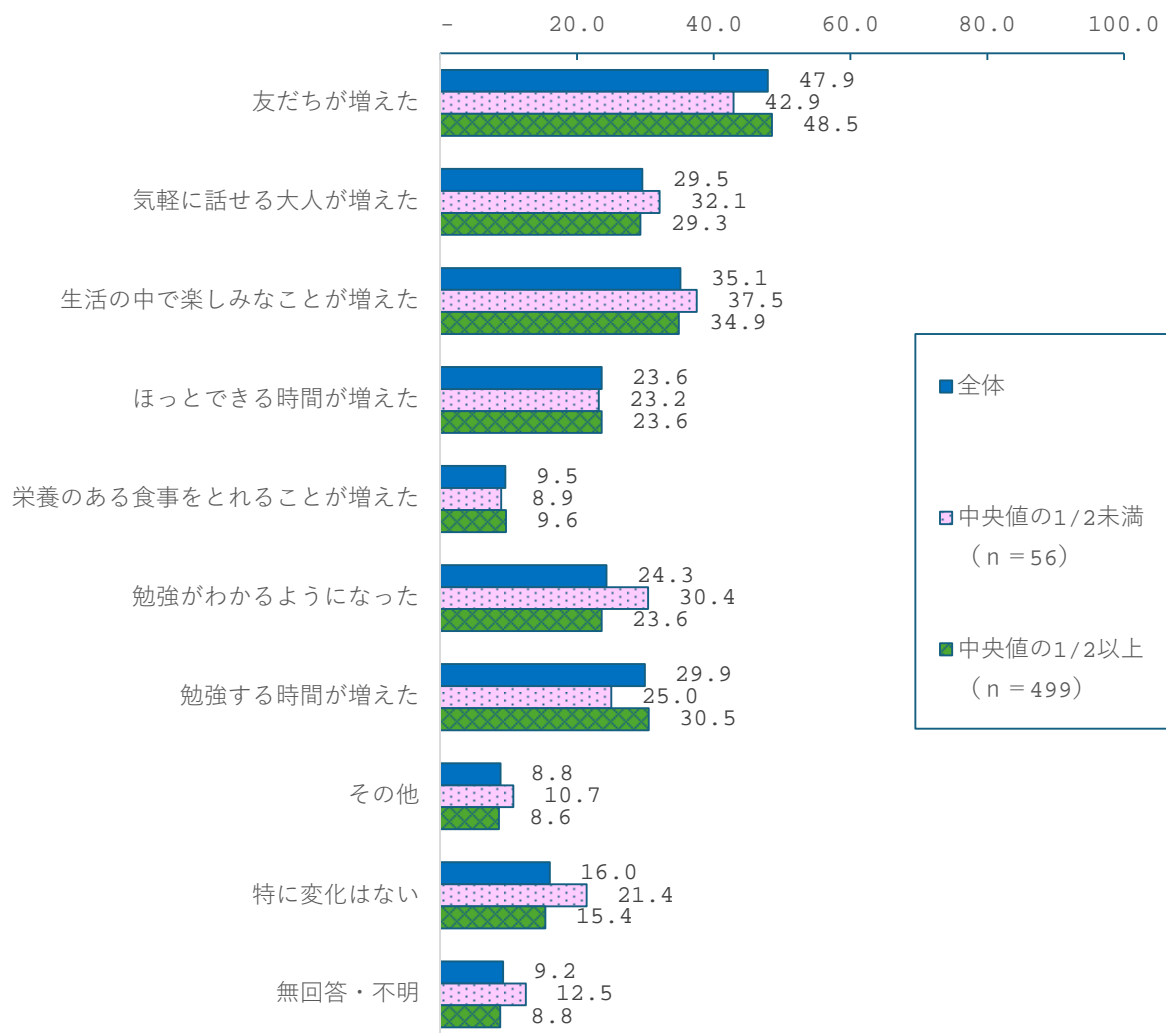
【全体（学年別）】

支援制度・居場所を利用した変化（n = 626）



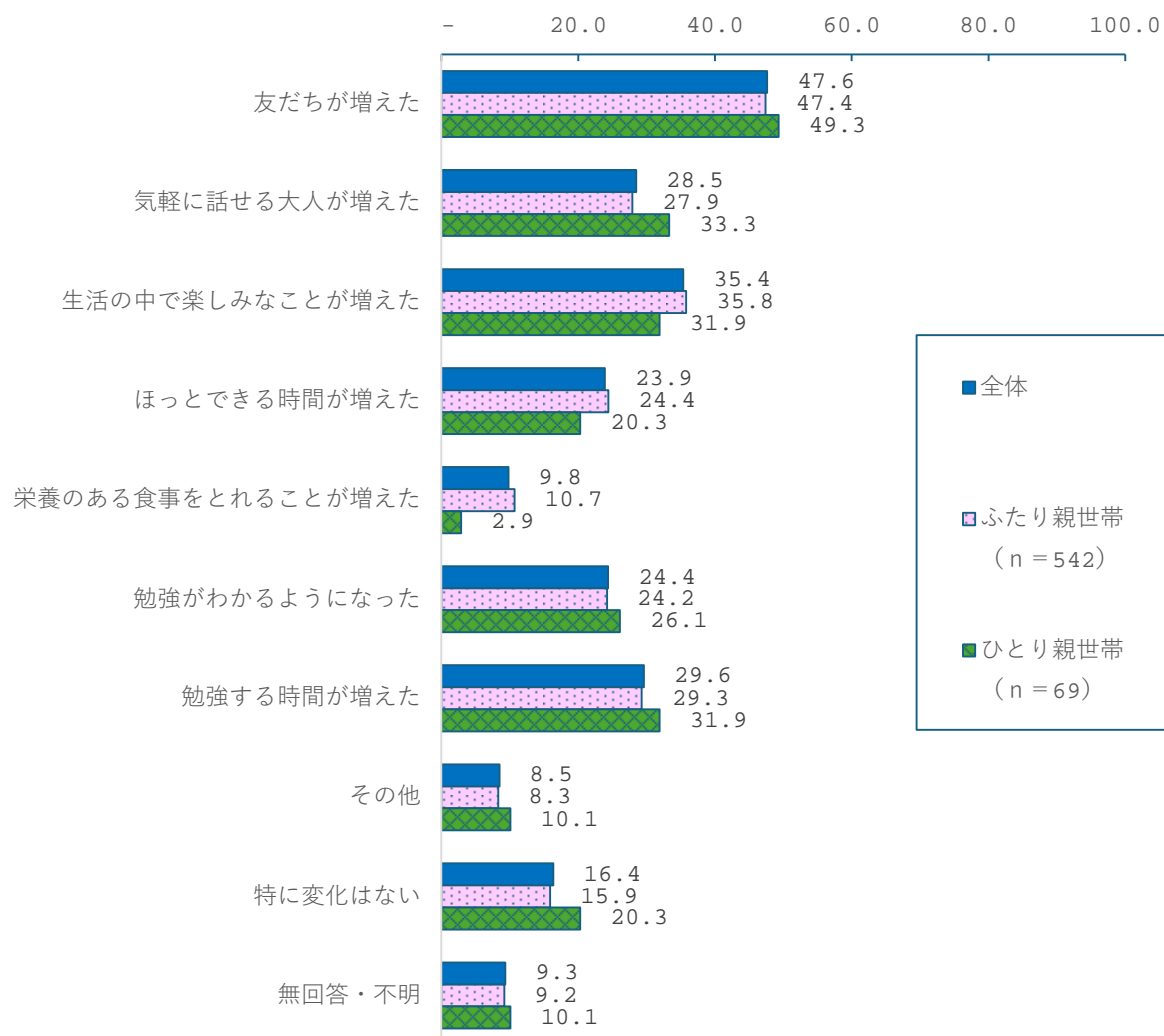
【等価世帯収入別】

支援制度・居場所を利用しての変化（n = 555）



【世帯の状況別】

支援制度・居場所を利用した変化（n = 611）



山口市子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書

令和6年3月

発 行 山口市

企画・編集 山口市こども未来課

〒753-8650 山口県山口市亀山町2番1号

TEL (083) 934-4138・(083) 934-2756

FAX (083) 934-4147
